

# 資料編 2000～2009年度



- 1 沿革 58
- 2 大学設置認可申請書抜粋 62
- 3 組織図 74
- 4 役職者・名誉教授・教員一覧 75
- 5 施設概要 79
- 6 学部 80
- 7 大学院 91
- 8 学術交流協定等 95
- 9 研究資金の獲得実績 96
- 10 特別講演会開催実績 97
- 11 公開講座開催実績 99
- 12 学会・研究会等の開催実績 101
- 13 本学を会場にした講演会等 105

## 1

## 開学までの歩み

(1976 年度～ 1999 年度)

| 年 度                | 月 日       | 事 項                                                            |
|--------------------|-----------|----------------------------------------------------------------|
| 1976 年度 (昭和 51 年度) | 11 月 12 日 | 国立函館大学誘致促進期成会が発足                                               |
| 1985 年度 (昭和 60 年度) | 5 月 15 日  | 国の国立大学・学部の新增設抑制方針を踏まえて、国立函館大学誘致促進期成会は北海道教育大学函館校の分離・独立を目指すことを決定 |
| 1994 年度 (平成 6 年度)  | ――        | 国立大学の誘致が難しいため、函館市は地域自らが主体的に構想した大学設置に取り組むことを決定                  |
|                    | 8 月 22 日  | 函館市高等教育懇話会を設置                                                  |
| 1995 年度 (平成 7 年度)  | 5 月 16 日  | 函館市高等教育懇話会から「高等教育機関の整備について」提言                                  |
|                    | 8 月 10 日  | 函館市大学設置検討委員会を設置                                                |
|                    | 1 月 25 日  | 函館市大学設置検討委員会から「函館市が主体となった大学設置について」報告                           |
| 1996 年度 (平成 8 年度)  | 4 月 1 日   | 函館市大学設置推進事務局を設置                                                |
|                    | 4 月 11 日  | 公立大学の平成 12 年 4 月開学を目指す「函館市大学設置基本構想案」を公表                        |
|                    | 9 月 6 日   | (仮称) 函館公立大学開学準備委員会および計画策定専門委員会を設置                              |
|                    | 10 月 15 日 | 大学の設置場所を函館市亀田中野町と公表                                            |
|                    | 11 月 21 日 | 基本構想案を「函館市大学設置基本構想」として決定                                       |
|                    | 11 月 29 日 | 自治省協議により、大学の設置主体を一部事務組合から広域連合とする方向で検討                          |
| 1997 年度 (平成 9 年度)  | 5 月 2 日   | 函館市、上磯町、大野町、七飯町、戸井町の 1 市 4 町は大学設置を目的とした「公立大学関係市町首長会議」を設置       |
|                    | 5 月 30 日  | (仮称) 函館公立大学基本計画案を公表                                            |
|                    | 10 月 31 日 | 1 市 4 町で北海道に函館圏公立大学広域連合設置許可申請書を提出                              |
|                    | 11 月 5 日  | 函館圏公立大学広域連合設置許可                                                |
|                    | 11 月 6 日  | 最初の広域連合長選挙                                                     |
|                    | 11 月 29 日 | 最初の広域連合議会を開催                                                   |
|                    |           | (仮称) 函館公立大学基本計画を決定                                             |
|                    | 2 月 1 日   | 大学名称を公募 (～ 3.31)                                               |
| 1998 年度 (平成 10 年度) | 5 月 29 日  | 公立大学函館・道南圏設置促進期成会の設立                                           |
|                    |           | 公立大学用地造成工事着工                                                   |
|                    | 6 月 11 日  | 大学名「公立はこだて未来大学」を公表                                             |
|                    | 10 月 3 日  | 公立大学校舎建築工事着工                                                   |
|                    | 11 月 2 日  | 公立大学等の学術研究活動等の支援や地域の学術・文化・産業の振興などを図るための財団法人南北海道学術振興財団が設立認可     |
|                    | 3 月 31 日  | 学長予定者公表 (伊東 敬祐 神戸大学名誉教授)                                       |
| 1999 年度 (平成 11 年度) | 4 月 30 日  | 文部省に大学設置認可申請書 (大学設置の趣旨等) を提出                                   |
|                    | 7 月 30 日  | 文部省に大学設置認可申請書 (教員個人調書等) を提出 (第 2 次申請)                          |
|                    | 10 月 12 日 | 文部省実地審査                                                        |
|                    | 11 月 4 日  | 大学のシンボルマークを発表                                                  |
|                    | 12 月 22 日 | 公立はこだて未来大学設置認可                                                 |
|                    | 1 月 23 日  | 第 1 回特別選抜 (推薦) 入試                                              |
|                    | 1 月 31 日  | 公立大学校舎建築工事竣工                                                   |
|                    | 2 月 15 日  | 第 1 回一般選抜前期日程入試 (試験会場: 函館, 札幌, 東京)                             |
|                    | 3 月 10 日  | 第 1 回一般選抜後期日程入試 (試験会場: 函館, 札幌, 東京)                             |
|                    | 3 月 21 日  | 大学事務局が新校舎で業務を開始                                                |
|                    | 3 月 28 日  | 教育振興基金を設置                                                      |

## 2

## 開学から法人化まで

(2000 年度～ 2007 年度)

| 年 度                | 月 日       | 事 項                                                                       |
|--------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 2000 年度 (平成 12 年度) | 4 月 1 日   | 公立はこだて未来大学開学                                                              |
|                    | 4 月 7 日   | 公立はこだて未来大学入学式                                                             |
|                    | 6 月 10 日  | 公立はこだて未来大学開学記念式典                                                          |
|                    | 7 月 15 日  | 情報ライブラリー, 体育館などの地域住民への開放を開始                                               |
|                    | 8 月 5 日   | オープンキャンパス                                                                 |
|                    | 8 月 19 日  | 公立はこだて未来大学後援会設立総会                                                         |
|                    | 10 月 8 日  | 第 1 回未来祭 (大学祭, ～ 9 日)                                                     |
|                    | 11 月 4 日  | 第 1 回 AO (アドミッションズ・オフィス) 入試 (～ 5 日)                                       |
|                    | 1 月 20 日  | 公立はこだて未来大学で初の大学入試センター試験 (～ 21 日)                                          |
|                    | 2 月 3 日   | マルチメディア大学 (マレーシア) と遠隔特別共同講義を実施                                            |
| 2001 年度 (平成 13 年度) | 5 月 18 日  | 校舎 (本部棟) が第 26 回北海道建築賞を受賞                                                 |
|                    | 6 月 15 日  | オンライン授業評価システムの運用を開始                                                       |
|                    | 7 月 26 日  | 函館駅前サテライトオフィスを開設                                                          |
|                    | 8 月 21 日  | 第 1 回編入学試験 (～ 22 日)                                                       |
|                    | 11 月 7 日  | 函館市内の大学等が研究成果の発表等を行う「函館アカデミックフォーラム」に参加 (～ 8 日)                            |
|                    | 2 月 7 日   | 校舎 (本部棟) が第 14 回北海道赤レンガ建築賞を受賞                                             |
| 2002 年度 (平成 14 年度) | 4 月 1 日   | プロジェクト学習を導入                                                               |
|                    | 5 月 30 日  | 校舎 (本部棟) が 2002 年日本建築学会賞 (作品) を受賞                                         |
|                    | 6 月 28 日  | 文部科学省に公立はこだて未来大学大学院設置認可申請書を提出                                             |
|                    | 8 月 4 日   | 3 年生による夏休み中のインターンシップが開始                                                   |
|                    | 10 月 15 日 | スタンフォード大 (アメリカ) 教員との交流会を開催                                                |
|                    | 11 月 15 日 | 校舎 (本部棟) が第 43 回 BCS 賞 (建築業協会賞) を受賞<br>「第 16 回北海道技術・ビジネス交流会」に初出展 (～ 16 日) |
|                    | 12 月 18 日 | 初の学内合同企業説明会 (～ 20 日)                                                      |
|                    | 12 月 19 日 | 公立はこだて未来大学大学院設置認可                                                         |
|                    | 1 月 10 日  | プロジェクト学習の初年度最終報告会                                                         |
|                    | 2 月 1 日   | 第 1 回大学院入試 (～ 2 日)                                                        |
|                    | 3 月 3 日   | 学内合同企業説明会 (～ 6 日)                                                         |
|                    | 3 月 31 日  | 自己点検・評価報告書 (平成 12 ～ 13 年度が対象) を作成                                         |
| 2003 年度 (平成 15 年度) | 4 月 1 日   | 公立はこだて未来大学大学院開設                                                           |
|                    | 4 月 4 日   | 公立はこだて未来大学・大学院入学式                                                         |
|                    | 6 月 5 日   | 函館エリアが文部科学省都市エリア産学官連携促進事業一般型に採択され, 公立はこだて未来大学も研究機関として参画                   |
|                    | 7 月 23 日  | I T 技術開発支援セミナー (函館市と共催)                                                   |
|                    | 8 月 29 日  | 函館市が「マリン・フロンティア科学技術研究特区」に認定され, 公立はこだて未来大学と北海道大学大学院水産科学研究院が特例措置の対象施設になる    |
|                    | 9 月 3 日   | 大学運営に学外の有識者の意見を反映させるため, 学長の諮問機関として「公立はこだて未来大学運営諮問会議」を設置し, 第 1 回会議を開催      |
|                    | 11 月 20 日 | 企業交流会 (札幌)                                                                |
|                    | 12 月 5 日  | 学長選挙について告示                                                                |
|                    | 12 月 8 日  | 学長候補者演説会 (～ 9 日)                                                          |
|                    | 12 月 15 日 | 初の卒業研究発表会 (～ 19 日)                                                        |
|                    | 12 月 19 日 | 学長選挙により中島秀之氏を次期学長に選出                                                      |
|                    | 2 月 25 日  | 一般選抜前期日程入試に大阪会場を新設                                                        |
|                    | 3 月 12 日  | 一般選抜後期日程入試に大阪会場を新設                                                        |

| 年 度                | 月 日       | 事 項                                                                                                          |
|--------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2004 年度 (平成 16 年度) | 3 月 22 日  | 公立はこだて未来大学卒業式 (第 1 期生の卒業)<br>公立はこだて未来大学同窓会設立総会                                                               |
|                    | 3 月 31 日  | 伊東敬祐学長が退任                                                                                                    |
|                    | 4 月 1 日   | 中島秀之・第 2 代学長が就任<br>共同研究センター開設                                                                                |
|                    | 5 月 7 日   | 研究棟建設工事着工                                                                                                    |
|                    | 6 月 19 日  | 公立はこだて未来大学と北海道大学水産学部による初の合同企業説明会                                                                             |
|                    | 9 月 1 日   | 教員研究情報誌を刊行                                                                                                   |
|                    | 10 月 7 日  | 函館市 I T ビジネス交流会を東京で開催 (函館市と共催)                                                                               |
|                    | 10 月 29 日 | 英文の大学案内「The Guide」を刊行                                                                                        |
|                    | 11 月 9 日  | 企業交流会 (東京)                                                                                                   |
|                    | 11 月 11 日 | 校舎 (本部棟) が第 9 回公共建築賞 (生活施設部門) 国土交通大臣表彰を受賞                                                                    |
|                    | 12 月 1 日  | 函館圏公立大学広域連合を構成する戸井町が函館市に編入合併                                                                                 |
|                    | 2 月 19 日  | 3 大学 (公立はこだて未来大学, 北海道大学, 北海道教育大学) 合同企業セミナー in はこだてを開催                                                        |
|                    | 2 月 22 日  | 共同研究センター設立記念講演会を開催                                                                                           |
|                    | 2 月 28 日  | 研究棟建設工事竣工                                                                                                    |
|                    | 3 月 18 日  | 学生・教員により広報冊子「THE NEWSLETTER」を刊行 (第 2 号から「STUDENT NEWSLETTER」として引き続き刊行)                                       |
| 2005 年度 (平成 17 年度) | 4 月 1 日   | 研究棟の供用開始<br>カリキュラムを大規模に改訂<br>函館東高等学校 (現市立函館高等学校) と教育の連携に関する協定を締結                                             |
|                    | 4 月 4 日   | 研究棟オープンセレモニー                                                                                                 |
|                    | 4 月 12 日  | 教育連携協定による函館東高校生の初講義                                                                                          |
|                    | 5 月 1 日   | 東京サテライトオフィス (秋葉原) を開設                                                                                        |
|                    | 6 月 9 日   | 愛知万博に NEC ソフトウェア北海道と共同開発したミュージカルロボットを出展 (～ 19 日)                                                             |
|                    | 7 月 31 日  | 自己点検・評価報告書 (平成 12 ～ 15 年度が対象) を作成                                                                            |
|                    | 10 月 3 日  | 平成 16 年度のプロジェクト学習 (大規模病院に於ける, 患者と病院とのコミュニケーションシステム) が平成 17 年度グッドデザイン賞を受賞                                     |
|                    | 10 月 25 日 | 第 2 回公立はこだて未来大学運営諮問会議                                                                                        |
|                    | 11 月 8 日  | 大学機関別認証評価訪問調査 (～ 10 日)                                                                                       |
|                    | 11 月 26 日 | 函館市内 8 高等教育機関による合同進学説明会に参加                                                                                   |
|                    | 2 月 1 日   | 函館圏公立大学広域連合を構成する上磯町と大野町が合併し, 北斗市が誕生                                                                          |
|                    | 2 月 6 日   | 函館市高等教育機関連携推進協議会が発足                                                                                          |
|                    | 2 月 20 日  | 広域連合議会で法人化の検討を表明                                                                                             |
|                    | 3 月 8 日   | プロジェクト学習成果発表会 in 秋葉原 (東京) を開催                                                                                |
|                    | 3 月 20 日  | 大学機関別認証評価の評価結果報告 (基準に適合)                                                                                     |
|                    | 3 月 29 日  | 函館工業高等専門学校と単位互換協定を締結                                                                                         |
|                    | 3 月 31 日  | 函館エリアが文部科学省都市エリア産学官連携促進事業発展型に採択され, 公立はこだて未来大学も研究機関として参画<br>公立はこだて未来大学出版会から「複雑系科学のすすめ」を刊行<br>函館駅前サテライトオフィスを閉所 |
| 2006 年度 (平成 18 年度) | 4 月 1 日   | 学内に法人化検討委員会を設置                                                                                               |
|                    | 4 月 23 日  | 第 1 回サイエンスカフェを開催                                                                                             |
|                    | 7 月 17 日  | 函館市高等教育機関連携推進協議会の「アカデミック・フライト in はこだて」に参加                                                                    |
|                    | 7 月 21 日  | 学内の意向として法人化へ移行する方針を決定                                                                                        |
|                    | 8 月 14 日  | プロジェクト学習が「特色ある大学教育支援プログラム」(文部科学省) に採択                                                                        |
|                    | 10 月 3 日  | 「CEATEC JAPAN 2006」に初出展 (～ 7 日)                                                                              |
|                    | 12 月 1 日  | 広域連合議会定例会で平成 20 年 4 月法人化を目指すことを表明                                                                            |

| 年 度                | 月 日      | 事 項                                                                 |
|--------------------|----------|---------------------------------------------------------------------|
| 2006 年度 (平成 18 年度) | 1 月 31 日 | プロジェクト学習成果発表会&企業交流会（東京）を開催                                          |
|                    | 2 月 2 日  | プロジェクト学習成果発表会&企業交流会（札幌）を開催                                          |
|                    | 3 月 28 日 | 自己点検・評価報告書（平成 16～17 年度が対象）を作成                                       |
| 2007 年度 (平成 19 年度) | 6 月 1 日  | 首都圏と函館圏との IT 企業による寄附講座「実践的 IT 人材育成講座」を開設                            |
|                    | 6 月 19 日 | 広域連合議会で法人の定款を議決                                                     |
|                    | 7 月 24 日 | 北海道に広域連合規約の変更を申請                                                    |
|                    | 8 月 26 日 | オープンキャンパス in 札幌を開催                                                  |
|                    | 9 月 5 日  | 広域連合規約の変更認可                                                         |
|                    | 9 月 12 日 | 「イノベーション・ジャパン 2007—大学見本市」に初出展（～14 日）                                |
|                    | 1 月 23 日 | 北海道に公立大学法人の設置を申請                                                    |
|                    | 2 月 1 日  | 文部科学省に大学設置者の変更を申請                                                   |
|                    | 2 月 22 日 | 広域連合議会で法人の中期目標を議決                                                   |
|                    | 3 月 3 日  | 公立大学法人の設置認可                                                         |
|                    |          | 大学設置者の変更認可                                                          |
|                    | 3 月 8 日  | 函館市高等教育機関連携推進協議会（平成 20 年 4 月からキャンパス・コンソーシアム函館に名称変更）で単位互換に関する包括協定を締結 |

## 3

法人化後  
(2008 年度～2009 年度)

| 年 度                | 月 日       | 事 項                                                                          |
|--------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 2008 年度 (平成 20 年度) | 4 月 1 日   | 公立大学法人の登記・設立、初代の理事長（学長）に中島秀之が就任<br>最初の役員会・経営審議会・教育研究審議会を開催<br>メタ学習センターを設置    |
|                    | 4 月 18 日  | 1・2 年生を対象にキャリアガイダンスを開始                                                       |
|                    | 6 月 10 日  | 独立行政法人科学技術振興機構（JST）地域科学技術理解増進活動推進事業「地域ネットワーク支援」に採択（提案機関：函館市、運営機関：公立はこだて未来大学） |
|                    | 8 月 1 日   | 情報ライブラリーを高校生に開放（～8 月 22 日）                                                   |
|                    | 8 月 19 日  | 函館市内の高等教育機関による「キャンパス都市函館構想」が文部科学省の戦略的大学連携支援事業に採択                             |
|                    | 9 月 21 日  | オープンキャンパス in 旭川を開催                                                           |
|                    | 9 月 28 日  | 入試解説&個別相談会 in 青森を開催                                                          |
|                    | 10 月 31 日 | 地域交流フォーラム「～研究発表会・産学官連携講演会～」(共同研究センター主催)を開催                                   |
|                    | 1 月 23 日  | 大学院生向けの合同企業説明会「技術フォーラム」を開催                                                   |
|                    | 2 月 10 日  | 情報デザインコースが五稜郭タワーで初の卒業制作展を開催（～11 日）                                           |
| 2009 年度 (平成 21 年度) | 4 月 1 日   | 事務局の再編（企画総務課、財務・研究支援課、教務課の 3 課体制）                                            |
|                    | 5 月 27 日  | NHK 大学セミナー「環境と産業」を開催                                                         |
|                    | 6 月 1 日   | 函館市、北斗市および七飯町の各教育委員会と小大連携協定を締結                                               |
|                    | 7 月 3 日   | 函館エリアが文部科学省知的クラスター創成事業（グローバル拠点育成型）に採択され、公立はこだて未来大学も研究機関として参画                 |
|                    | 8 月 4 日   | 教員免許状更新講習（～6 日）を開催                                                           |
|                    | 8 月 22 日  | 地域ネットワーク支援事業として「はこだて国際科学祭」（～30 日）を開催                                         |
|                    | 10 月 3 日  | 入試解説&個別相談会 in 八戸を開催                                                          |
|                    | 10 月 5 日  | 学術交流協定を締結している海外 6 大学とシンポジウムを開催                                               |
|                    | 10 月 11 日 | 未来祭にて OB・OG 座談会を開催（開学 10 年記念・未来祭共催）                                          |
|                    | 11 月 7 日  | キャンパス・コンソーシアム函館による合同研究発表会（HAKODATE アカデミックリンク 2009）に参加                        |
|                    | 1 月 27 日  | 北海道大学大学院情報科学研究科と特別研究学生交流協定を締結                                                |

公立はこだて未来大学設置認可申請書抜粋  
「大学等の設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類」

1999（平成 11）年 4 月 30 日

開学前年に旧文部省に提出された設置認可申請書より、  
本学の設置趣旨について記された部分をここに掲載します。

目 次

1 設置の趣旨

- （１）大学設置の趣旨
- （２）学部学科の設置の趣旨

2 設置を必要とする理由

- （１）システム情報科学部設置の必要性
- （２）複雑系科学科設置の必要性
- （３）情報アーキテクチャ学科設置の必要性
- （４）大学設置の経緯
- （５）就学機会の拡大
- （６）北海道の発展を支える基盤づくりへの貢献
- （７）地域活性化への貢献

3 抑制例外事項

4 教育目標及び教育課程編成の考え方

- （１）本学の教育理念
- （２）教養教育課程の教育目標及び教育課程編成の考え方
- （３）専門教育課程の教育目標及び教育課程編成の考え方

5 教育方法の特色

- （１）協調学習の推進
- （２）コミュニケーション能力の育成
- （３）学習を支援する諸方策

6 履修指導方法

- （１）履修指導の重視
- （２）履修モデル
- （３）成績評価基準の明確化

7 学生確保の見通し

- （１）システム情報科学部の学生確保の見通し
- （２）各学科ごとの学生確保の見通しの検討

8 卒業後の進路とその見通し

- （１）卒業後の進路
- （２）卒業後の進路の見通し



## 1

## 設置の趣旨

## (1) 大学設置の趣旨

我が国は、戦後二度にわたる石油危機や急激な円高などによる経済環境を取り巻く大きな変化を、産業構造の高度化、技術革新、知識集約などによって克服してきた。しかし、ここ数年、産業の空洞化や国際競争の激化など新たな課題を抱えている。

こうした状況の変化の陰には 1990 年代に米国で始まったインターネットやマルチメディアなどの情報技術の普及によってもたらされた、世界経済のグローバル化による影響が大きい。これらの変化に対応するためには情報インフラストラクチャーの整備が急務であるとともに、この領域における人材育成と基礎研究が必要とされ、現在の日本における高等教育機関における学生の教育や研究者による産業界への貢献については、社会からの強い要請がある。

函館は、鎖国時代の日本で、最も早く世界に港を開いた街の一つであり、進取の気風と教育文化への伝統的理解を持つ。世界との一体化がより一層強く求められる 21 世紀を迎えるにあたって、未来志向の開かれた大学をこの地に作り、新時代に呼応する人材の育成を図ることが設置の趣旨である。そのために、(1) 社会が求めている情報分野の教育研究を中心とし、(2) 社会、特に地域社会との交流を目指し、(3) 教育の理念として実体験を重視し、社会に貢献できる人材育成を目指し、(4) 国際競争力を持つ教育研究活動を目指す。

ここに、函館市および隣接する上磯町、大野町、七飯町、戸井町の1市4町によって、「函館圏公立大学広域連合」を設立し、複雑系科学科と情報アーキテクチャ学科から成るシステム情報科学部を持つ、「公立はこだて未来大学」を設置し、地域の就学機会の拡大、テクノポリス地域としての研究開発機能の強化、青函インターブロック交流圏の中核都市としての高次都市機能の充実などの課題に積極的に対応しつつ、地域からの学術研究の振興に寄与するものとする。

## (2) 学部学科の設置の趣旨

高度情報ネットワーク社会の実現とそれに伴う社会の複雑化は 21 世紀の社会の特徴であり、学術研究についても、学際化・総合化の必要性が説かれている。情報技術は高度に進展すると同時に、それを取り巻く環境はネットワーク化によって一層複雑化している。情報システムは全世界的に連結しており、かつ種々の新しいテクノロジーを吸収して加速度的に成長している。新しく設置するシステム情報科学部の中にはこのような情報ネットワーク社会の未来像に対処すべく、複雑系科学科と情報アーキテクチャ学科の2学科を置く。

複雑系科学科は、巨大化していく情報システムのもとでより複雑な様相を呈していく社会において、これまでの科学で説明できない複雑系の挙動の解明を図る視点、素養を持った人材

を養成するものである。

一方、「アーキテクチャ」とはシステムの構造をデザイン(設計)することであり、情報アーキテクチャは情報システムの骨格構造を指すが、この情報システムは産業システム、生活システム、環境システムなど、地球上の多様なシステムを内包しており、ますますシステムが自律化、巨大化しており、従来の学問体系では抱えきれなくなっている。そしてその中では、人間を中心とする視点が改めて問い直されている。そこで情報アーキテクチャ学科では、情報技術と人間社会におけるコミュニケーションの役割を十分理解した上で、電子メディアにおける表現力を身につけ、人間にとって有益な情報システムを構築できる人材(情報アーキテクト)を養成する。

## 2

## 設置を必要とする理由

## (1) システム情報科学部の設置の必要性

## ① コンピュータの発達及びネットワーク化の進展

コンピュータは、計算やデータ処理といった省力化、高度化といった機能を満たすものとして出現したが、情報技術の発達及び低価格化にともなって、自動車、電気製品、機械などの産業分野でも広く応用されるようになり、現在では通信分野、サービス業分野でも不可欠な技術となった。21 世紀の社会においては、このようなコンピュータの高性能化、ネットワーク・インフラストラクチャーの普及により、社会における諸現象の複雑化は一層進み、我々の社会構造の変革を余儀なくするものである。たとえば、為替や株式の売買はいまや実質上 24 時間休みなく取引を行う世界規模のシステムと考えられるが、インターネットに代表される通信システムからの情報によって、非常に複雑な挙動を示すものとなっている。このように、コンピュータネットワークの整備、実用化が急速に進んだ結果、社会の中での情報システムは加速度的に成長し、さらに複雑化の様相を呈している。このような社会では従来の学問体系では様々な現象を理解し、対応することが不可能になってきている。

## ② 求められる人材と新たな教育研究を行う学部の必要性

こうした社会の中で、情報を流通させるための様々な情報技術を用い人間の生活を豊かにしていくために、巨大化、複雑化していく情報社会においてこれまでの科学で説明できない複雑系の挙動の解明を総合的視野から分析する素養を身に付けた人材と、情報インフラストラクチャーに十分な理解をもち、情報の表現や流通についての知識や経験を持ち、人間を中心とする視点から情報システムを設計し実現(構築)できる人材が求められる。そこで、情報技術を用いて人間社会を取り巻く環境、その中で行われる情報コミュニケーションを総合システムとして把握する目的をもった情報科学の教育研究の場が大学に求められている。システム情報科学部は、このような要請に応えて設置するものである。

### ③学部学科の構成とその関連性

システム情報科学部は複雑系科学科と情報アーキテクチャ学科より構成されるが、ともに情報技術の発展が契機となって必要となってきた二つの学科の存在は、複雑系科学科が解明した社会に発信すべき内容を提供し、情報アーキテクチャ学科で社会に発信するためのコミュニケーションのツールや枠組みと表現技術を提供するという相補い合う立場として位置づけられる。また、情報アーキテクチャ学科で構築し、進化していく情報システムのもとで複雑化する事象は、複雑系科学科の研究の一対象となる。

そして、本学部においては、これら二学科の学生が実習等の共同作業を通じて、専門を異にするチームにおけるコミュニケーションの必要性和役割を理解するとともに、閉ざされがちな学校という社会から開かれた実社会への接点となることを意図している。このように、両者が一つの学部併存することで、互いの教育研究効果を高める関係にある。

### ④国の施策から見た必要性

システム情報科学部の設置は、次世代を担う高度な情報技術者のニーズの高まりに対応しており、国の科学技術の振興施策とも適合している。

文部省の「我が国の文教施策（平成9年度）」においては、情報に関する研究の推進、そのための人材養成（研究者、社会の専門人材）を求め、高等教育機関として、情報化社会を支える高度の情報技術者・研究者を養成する大学学部・研究科の一層の充実を求めている。通商産業省でも、「マルチメディアコンテンツ市場環境整備事業」、「先導的コンテンツ市場環境整備事業」等により、コンテンツを情報関連産業や地域の活性化の鍵を握るものとして、その制作の支援や制作環境の整備を通じ、コンテンツ関連産業の活性化を図る施策を打ち出している。また、科学技術庁の科学技術基本計画（平成8年7月閣議決定）において、地方公共団体が地域の特色ある科学技術活動の活性化を図るために自主的かつ個性的な取り組みを期待しつつ、国として、地域のこうした取り組みを積極的に支援し、優れた研究開発のための資源および能力を活用して、科学技術の振興を図るための施策を講ずるとして、地域からの科学技術の振興を期待している。

### ⑤地域発展への寄与からの可能性

システム情報科学部は、教育・研究において、情報を介しての人と人との交流、コミュニケーションを通じて、この分野での人材養成や関連産業の活性化に留まらず、地域社会の中にある大学として地域社会との共生進化に貢献していく。情報技術が高度化すればするほど、知識を活用して地域に貢献する姿勢が必要となっていくものであり、大学と地域社会のつながりにより、社会の情報ネットワーク化を推進する契機となることで、地域の活性化に結びつくことと期待される。

## (2) 複雑系科学科設置の必要性

### ①複雑系科学の必要性の増大

情報技術の進歩によって、複雑な自然現象、生命現象、社

会現象を計算機を利用して解析することが可能となった。一方で、現代社会そのものの情報化が進んで複雑さが増し、経済問題にせよ環境問題にせよ、従来の要素還元に基づく科学手法では社会を把握しきれなくなっており、複雑な諸現象を解析・予測し、社会の将来に寄与するための学問が必要となってきた。

文部省の「我が国の文教施策（平成9年度）」の中でも、情報科学系の今後の動向として、非線形システムやフラクタルを含む複雑系の研究が重要であるとし、さらに、長期的な展望として、人文・社会科学系までを含み、情報に関する学問の体系化を図る研究を推進することが重要な課題となっているとしている。

複雑系科学は、計算機を使う情報技術と、カオスおよびフラクタル理論を基盤とする数理学の理論とが融合して生まれた新しい総合科学であり、複雑という言葉が最もふさわしい生命と人間の科学的理解を目指す科学である。既に大学院のレベルでは、複雑系科学、複雑系工学、複雑系経済学などの名の専攻・講座の新設が最近なされているが、学部教育の段階では不足しており、本学科は学部教育の段階から複雑系科学の教育をする学科として、日本で初めて設置される学科である。

### ②学部教育からの必要性

このような総合的な教育は、専門分化の未だ進んでいない学部段階で早期から行うことが望ましい。複雑系科学科のアプローチは、多様なものの見方、多様な研究手法、高度な情報知識と技術を必要としており、総合的視点に基づく教育課程と豊かな情報環境とを持つシステム情報科学部の中で、その教育を行うことが理想である。

「我が国の文教施策」で展望されているように、21世紀の科学では、諸科学の総合化が更に進むであろう。社会は、理系と文系の両方のセンスと知識を持ち、総合的な視点での洞察力・判断力を持つ学生をより強く要請している。

複雑系の科学は、こうした学問の総合化の基盤となるべき科学であり、情報技術者と人間社会との関係を考える基盤となる科学である。また複雑系の概念は、現代という時代を見る社会的なものの見方になるまでに既に成長してきている。

このような社会的状況とニーズに応えるために、学部教育の段階から数理学と情報技術を基盤として、複雑系科学の視点を養い、広い視野を持つ総合科学の素養を身につけた学生を育成する学科の設置が必要である。

## (3) 情報アーキテクチャ学科設置の必要性

### ①情報に対するニーズの変化と新たな情報技術教育の必要性

社会の情報化は技術革新に留まることなく、情報を活用する人々の意識変化を伴ってきている。現実には起こっていることは、情報の送り手と受け手に応じて大量の情報のやりとりを行う必要が生じていること、そのため、人と人とのコミュニケーションを支援する技術が必要となり、その結果、専門的に情報を扱う人のみならず、一般の人にも汎用性の高い使い勝手の良い情報や、情報システム、そして情報を利用する環境（情報環境）を構築していくことがより一層求められてきている。さら



に、生産機械や情報サービスに高度な自律性、柔軟性を持たせることのできる知識処理は、21世紀における情報システム技術の利用においては、これまでもまして重要な役割を担うと考えられる。

したがって、これからの情報科学技術の発展の方向としては、技術の高度化と同時に、人にとって快適な情報環境を作り出すための人間科学的な視点、人間と機械との協調的動作の追求や人間の感性を重視する視点がなければならない。

今後社会に必要とされる情報技術者は、高度な技術や知識と共にこれらの視点を合わせ持つ者であり、このような人材を養成するためには、情報システム技術を人間社会の中で有効に利用するという視点から教育研究を行う環境が求められている。

本情報アーキテクチャ学科は、コンピュータ技術を用いて新しいメディアを提供する情報手段の構築者（情報アーキテクト）となれるような人材を育成するものである。

## ②情報アーキテクチャ学科の教育研究の方向性（目標）

最近急速に生活の中に取り込まれている、人と人を結ぶツールとしてのコンピュータ利用を前提としたとき、「コンピュータを用いて効果的な表現をするための研究」、「コンピュータを効率よく利用するための使い勝手の研究」、あるいは「人と人とのコミュニケーションにおいてはたすツールの役割についての研究」は重要な分野として位置づけることができる。これらは、計算機科学、デザイン学、認知科学、あるいは社会学などの分野でも横断的に研究の対象とされてきたが、すでにそれらの分野における融合的な研究が行われている（注：情報処理学会「インタラクション'99」）。これらの情報科学分野での動きは、産業界における製品に対する、「使いやすさ」、「美しさ」などへの関心の高まりに由来する。従来、各種の部門においてなされてきたデザインが、優れた才能を持つ個人の感性や芸術性、言い換えれば、いわゆる勘や経験に頼る部分が多かった。これらの領域に対して、情報化が進む現在「磨かれた感性と人間や情報機器に対する科学的な知識に基づくデザイン」、「情報化社会の中で広範な利用を促す汎用・普及型デザイン」での解決が求められるようになったといえる。

情報アーキテクチャ学科では、情報伝達手段としてのコンピュータの理解、自由にそれを使いこなすために必要なコンピュータサイエンスの基礎、さらに急速に発達しているコンピュータ上での表現技術の基礎知識をもとに、個々の学生の適性や興味に応じて身につけた技術を社会の中で位置づけるため、情報システム技術、デザイン技術、認知科学、知識処理あるいはロボティクスなどの分野の知識を身につけ、人間を中心とした視点から情報環境を構築する人材育成の必要性に応えるものである。

## （4）大学設置の経緯

函館・道南圏においては、独立した国立大学の設置を目指し、昭和51年から、複数の学部を有する「国立函館大学」の実現を、昭和60年からは、北海道教育大学函館校の大学機能を母体とし、同校の分離・独立を目標とした運動を継続してきたが、

その実現が極めて厳しい状況にあった。しかし、当地域においては、就学機会の拡大はもとより、経済・産業・文化の振興などに大きな役割を果たす大学への期待は強く、新たな大学設置に対する地域の要望が極めて高まっていた。

このため、平成6年に地域自らが主体的に構想した大学設置に取り組むこととした。

地域の高等教育機関整備のあり方を検討するため設置した「函館市高等教育懇話会」（資料1）からも、高等教育機関の整備は早急に取り組むべき課題であり、地域の要望も高まっていることから、新たな大学の設置を積極的に図っていくべきとの提言があった。

さらに、設置形態や分野を検討するため設置した「函館市大学設置検討委員会」（資料2）からは、公立方式で情報系の分野が適当との報告があった。

これらを受けて、平成8年に本大学の平成12年4月開学に向けて取り組むこととし、平成9年11月には、大学の設置運営主体となる「函館圏公立大学広域連合」（資料3）を設立し、また、平成10年2月には大学名称を公募し、6月には情報科学分野の最先端を担い常に先を見つめる大学であるとして、「公立はこだて未来大学」（資料4、5）とすることに決定した。さらに、6月には大学用地の造成に、10月には建物の工事に着手した。

一方、地域においても、5月に「公立大学函館・道南圏設置促進期成会」（資料6）が設立されるなど、公立大学設立に対する大きな期待が寄せられている。

## （5）就学機会の拡大

### ①大学立地の地域的偏在の改善

北海道は、国土の5分の1を超える面積を持ち、東北6県をも上回り、南端の函館から、北端の稚内や東端の根室までの距離が700kmを超える広大な圏域であり、東京から大阪までの距離550kmを凌ぐものである。

しかし、北海道における大学の立地は道央圏に集中しており、函館から道央圏の中心である札幌までの約300kmという距離は、通常の都府県でいえば、県外への進学を意味するものであり、道内各圏域の高等教育機会の均等化を図り、函館・道南圏の不十分な高等教育機関の整備拡充を進め、道内の大学立地の地域的偏在を改善する必要がある。

### ②大学・短大収容率の拡大

18歳人口に対する大学・短大の収容率は、函館・道南圏においては、平成10年度で17.3%（大学は13.3%）と全国平均の48.2%（大学は36.4%）、北海道平均の36.1%（大学は25.1%）を大きく下回っており、さらに、長万部町にある東京理科大学（1年次課程のみ）を除くと、函館・道南圏の収容率は13.7%（大学は9.7%）とさらに低くなるものであり、進学者の約83%が他地域に進学せざるを得ない状況の大きな要因となっていることから、収容率の格差を是正する必要がある（資料7、8）。一方、平成10年度に実施した進学需要調査では、高校卒業後に4年制大学に進学を希望する者が有効回答数の約7割おり、4年制大学に対する強い進学意向も示されている（資料13）こと

から、地域の就学機会の増大に対する要請は強い。

### ③専門分野の偏りの是正

函館・道南圏の大学専門分野構成は、北海道大学水産学部、北海道教育大学函館校、函館大学商学部の3分野（東京理科大学基礎工学部は1年次課程のみのため除く。）であり（資料9）、農学系、教育系は全国水準を上回っているものの、社会科学系は全国水準の3分の1であり、さらに、進学の一歩の高理工学系の分野は未整備の状況にある。

このように、専門分野が偏っており、大学進学者の多くが他地域に流出する大きな要因となっていることから、専門分野の偏りを是正するとともに、高度情報化社会に対応するため、情報科学系分野の整備が必要である（資料10）。実際、平成10年度に実施した進学需要調査では、「工学」「理学」「情報科学」を第1または第2希望の進学分野とした者の比率が高く、同分野への関心が強いことも報告されている（資料14）。

### （6）北海道の発展を支える基盤づくりへの貢献

第3次北海道長期計画（1998年～2007年）において、21世紀にふさわしい創造性あふれる北海道をつくりあげていくために、時代の潮流や北海道の特性を踏まえた発展の基礎づくりのテーマとして、「人材育成」、「科学技術の創造」、「情報通信の高度化」を大きく取り上げ、「地域が主体となった大学新設への支援」、「理工系大学や大学院の整備」、「国際化・情報化、科学技術の進展など社会の変化に対応する教育の充実」、「産学官共同研究の推進」、「情報化に対応した産業づくり」を主な施策として打ち出している。

本大学の設置は、こうしたテーマに積極的に対応するものであり、北海道における先進的な学術研究基盤となるものである。

### （7）地域活性化への貢献

#### ①高次都市機能の強化

函館市は、隣接する上磯町、大野町、七飯町と国のテクノポリス地域や拠点都市地域の指定を受け、道立工業技術センター、函館市産業支援センターを建設し、地域の主体性と創意工夫による産業構造や技術水準の高度化に努めている。

札幌圏と仙台圏に次ぐ北の第3の新たな経済文化圏である青函インターブロック交流圏が、今後一層の発展を遂げ、国土の均衡ある発展に資するためには、その中核都市である函館市における産業・流通機能の集積や高度化、研究開発、情報発信、国際交流など高次都市機能の強化、さらなる産業構造・技術の高度化が重要であり、高次都市機能の中核となり、急速に進歩する情報技術による新たな情報環境の創出に寄与する教育研究基盤として本大学の設置が求められている。

#### ②若者の定着による地域の活性化

地域の活力を導き出す原動力は「人」であり、特に、活気のある地域社会を形成するうえで、若者の持つ活力が及ぼす影響は極めて大きなものがある。

函館市をはじめ、多くの道南圏の町村では人口が年々減少しているが、これは、多くの若者が進学などにより他地域に流出していることが要因の一つであることから、本大学の設置は、地域を担う活力ある若者の定着により、様々な地域の取り組みへの積極的な参加などによる若さあふれる地域の活性化に大きく貢献するものである。

### ③生涯学習への対応

近年、自由時間の増大や高度化、高齢化、国際化、情報化などの社会情勢の進展にともない、生涯学習への意欲が高まってきたおり、多様な学習機会に接し、自己啓発や新たな知識・技術の修得など学習意欲を満たせる場の拡大が求められている。

こうした生涯学習意欲の高まりやニーズに対応するため、リカレント教育、公開講座の実施、施設の開放、知識・技術の提供など、広く地域に開かれた生涯学習拠点の整備が重要となっている。本大学の設置は、ソフト、ハード両面にわたって、生涯学習を推進するための大きな役割を有しており、地域の知的・文化的な新たな交流拠点となるものである。

## 3

### 抑制例外事項

本大学は、「平成12年度以降の大学設置に関する審査の取扱方針」と以下の点で該当する。

#### ①取扱方針 二 1（1）ア に該当する。

「ア 看護職員の養成に資するもの及び情報、社会福祉、医療技術、先端科学技術など特別の人材養成に係るもので、我が国全体として特に必要と認められるもの」

システム情報科学部情報アーキテクチャ学科の養成する人材は、情報技術者の養成であり、この事項に該当する。

#### ②取扱方針 二 1（1）イ に該当する。

「イ 特別の社会要請又は教育研究上の要請に応えて新しい分野を開拓するもので、その成果に十分に見通しが得られるものであること」

システム情報科学部複雑系科学科は学段落階では我が国初の学科であり、教育研究上の要請に応えて新しい分野を開拓するものである。

#### ③取扱方針 二 1（1）キ に該当する。

「キ 申請大学が立地する地域における収容力が社会的要請に比して著しく低く、当該地域に設置することが必要と認められるもの」

北海道は6つの圏域に分けられるが、本地域を含む道南圏の収容力（18歳人口に対する大学・短大の入学人数）は、17.3%となっており、地域における社会的要請に比して著しく少なく、当該地域に設置することが望まれる。

## 4

教育目標及び  
教育課題編成の考え方

## (1) 本学の教育理念

広い知識に基づく総合的判断力と、豊かな感性に基づく高い創造性を養い、実践的学習とコミュニケーション能力に重きを置いて、共同体としての社会と深く関わり、高度情報社会の中でその発展に貢献できる人材を養成する。

本大学は、学校教育法に定める「大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用能力を展開させることを目的とする。」を具現化し、本学の教育理念を達成するための教育課程を大きく「教養教育課程」と「専門教育課程」に分け、両者の有機的連携を図り、深い知性と高い専門的能力を身につけさせる教育を行う。

## (2) 教養教育課程の教育目標及び教育課題編成の考え方

様々な学問分野の知識をそれぞれの分野に分断された知識として受け取るのではなく、目的に向けて必要な知識を統合していく過程を実践して学ぶことによって、広い視野と理解力、問題探究能力・行動力を身につけ、さらに、社会を構成する一員としての自覚と問題意識を引き出すことを目的として、教養教育課程を編成する。

## ①教養基礎科目群

「人間の形成」、「社会への参加」、「科学技術と環境の理解」、「健康の保持」の4つの柱によって編成され、判断力・理解力の基礎となる幅広い教養と将来の自律的諸活動への導きとなる専門的知識の習得や、心身の健康の保持・増進を図ることを目的とする。

また、これらの科目は4年間にわたり、どの学年でも履修できるものとし、卒業に必要な単位数は、それぞれの区分の最低必要単位数を満たしたうえで合計 24 単位とする。

## ア 人間の形成

大学教育においては高度な専門知識や能力の修得を目的とするばかりではなく、人間形成の場として、豊かな人間性や瑞々しい感性を涵養していくことが重要であり、科学技術が特段の進歩をする中にあっては、人間性や倫理性の向上のための科学技術のあり方を常に考えていく姿勢が肝要である。それゆえ、今後の科学技術教育にあっては、科学技術的知識習得の前提として、「人間とは何か」への問いかけの重要性を理解することが不可欠であり、「人間の形成」というテーマで科目を配置する。

## イ 社会への参加

社会の構成員として、社会的、経済的、政治的な諸問題

を正しく認識するとともに、自律的に社会に参加していくための素養が必要である。したがって、社会において自らの役割を積極的に見出す姿勢を身につけるため、「社会への参加」というテーマで科目を配置する。とりわけ、これからは本学で学んだ学生も、将来的に情報通信技術を活かして自律的生活と事業とを営んでいくための基礎的知識として、起業企画に関する知識や視点を身につけるための科目を配置する。

## ウ 科学技術と環境の理解

科学技術は、人間の精神生活や社会構造のあり方と深く結びついている。科学技術を理解し、生活と事業に積極的に活用していくためには、人類史的な観点から科学・技術の成り立ちや社会的・思想的背景との関係を学び、「人間」のための科学技術の自覚的な担い手としての意識を涵養する必要がある。それには、自然科学の基礎や自然科学発展の歴史・背景を十分に理解することが必要である。このため、「科学技術と環境」というテーマで科目を配置する。

## エ 健康の保持

生涯を通じて健康な生活を送るためには自己管理による心身の健康づくりが必要であることを認識するとともに、周囲の人間の健康にも配慮できるようになることを主眼として、「余暇と健康」を配置する。

## ②コミュニケーション科目群

情報化社会において社会的な諸活動を円滑に行うために、情報の収集、論点のまとめとその効果的な印象づけや内容の相手への的確な伝達の必要性、英語による情報の収集や情報発信の必要性、情報機器による表現ツールを媒介しての効果的なコミュニケーションの必要性が高まっている。

本学ではコミュニケーションを言語による対話のみに限定するのではなく、言語を含めたさまざまなメディアを通じた価値ある内容の相互伝達ととらえ、英語を含めてこれらを総合的なコミュニケーション能力の修得を目的としたコミュニケーション科目群に「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」を配置して必修とする。

「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」では、英語を用いて、より多様化したコミュニケーションに対応する能力を養成する。こうした運用能力は、従来までの受け身的な「英語を英語として（他の事柄と切り離して）教える」教育よりも、英語を実際に「ある目的を持って使う」ことによって修得する方針である。具体的には、授業では主に課題を与え、これをもとに英語により課題へのアプローチ（情報収集、制作、表現、発表）を行い、その学習過程で、英語による総合的なコミュニケーション能力の指導が行われると共に、高度化したコミュニケーションツールを利用する技術を体験的に身に付けることを目指す。

## (3) 専門教育課程の教育目標及び教育課題編成の考え方

複雑系科学科の教育目標は、複雑系科学の理論を理解し、複雑な現象を分析、予測する手法を身につけ、学際的な問題を広い視野で考える姿勢を身につけることである。



情報アーキテクチャ学科の教育目標は、情報システム技術を用いて人間社会の中で有効に活用するための知識と技術を身につけることである。

複雑系科学と情報アーキテクチャ学科では、上記の教育目標を実現するために、専門教育の教育課程を学部共通基礎科目群と学科専門科目群によって編成し、その構成を下記のようにした。(資料 11)

### ① 複雑系科学の専門教育課程

#### i 学部共通科目群

システム情報科学部複雑系科学科、情報アーキテクチャ学科の学生が共通に履修する科目群であり、目的別に以下のように大別できる。

- 本学が目指す教育、研究の理念や内容について紹介し、学生がその後何を学ぶか明確な指針を持つことができるような科目として「システム情報科学概論」を配置する。
- 早い時期からコンピュータの特性を理解した上でその効果的な利用法を意識させる科目として「情報機器概論」や、コンピュータサイエンスの専門教育への導入として基礎力を身に付けるための「プログラミング言語論」、「プログラミング演習」等を配置する。
- 専門知識を身に付ける上で基礎となる数学に関して、「線形代数学」、「確率論・統計学」等の科目を配置する。
- 専門知識を持った技術者として他分野の専門家と協働し、広い視野を持って、複雑化した問題の解決を通して社会に貢献していく姿勢を身につけるためには、自らの専門分野を学ぶと同時に相手の専門分野を理解する必要があるため、先の「システム情報科学概論」に加えて「複雑系入門」、「情報アーキテクチャ入門」を共通の必修科目として1年次に配置する。
- 両学科の学生が互いに学んだ専門知識を基に、協働で課題の解決にあたることを目的とした「システム情報科学実習Ⅰ」、「システム情報科学実習Ⅱ」を共通の必修科目として3年次に配置する。

#### ii 複雑系科学専門科目群

複雑系科学の学生が履修する専門科目であり演習を通して実践的な教育を目指す。

- 複雑系科学に必要なコンピュータを用いたシミュレーション、分析、統計処理などの数理的手法を身につけ、複雑系理論を理解するための基礎となる数理科目を配置する。
- 実際に計算機にアクセスしながら複雑系科学を体験し、複雑系科学特有の解析の手法を学ぶ科目である「複雑系科学演習Ⅰ」、「複雑系科学演習Ⅱ」を配置し、コンピュータ計算についての理解と複雑系科学の解析技法修得のための基礎

を築く。

- 複雑系科学の基礎を理解するため、「カオス理論基礎、応用」「フラクタル理論基礎、応用」等複雑系理論の核となる科目を配置する。
- 現実の複雑な現象を対象とすることを目的に、演習を通して複雑系特有のモデル化、予測化、制御法について学び、それまで学んだ複雑系科学の知識や手法に広がりを持たせ、関心を深めるための特論科目を配置する。
- 卒業研究は、学生が単独あるいは共同で問題解決型の課題研究を行う。

#### iii 複雑系科学の卒業後の進路と履修モデル

卒業後の進路を大きく2つに分け、学生個々の多様な問題意識に基づき自主的かつ体系的な学習指導を促進していくために、履修モデルを以下のように設定する(資料 12)。

- ◆ モデルA：生物の発生・進化や脳神経などの生命現象、地球環境などの自然現象に複雑系を応用しようとする履修モデル。卒業後の進路としては、情報産業、製造業や公的機関の研究・開発部門が考えられる。
- ◆ モデルB：複雑系の視点・基礎知識を基に民間企業、公的機関で活躍しようとする者のための履修モデル。卒業後の進路としては、企業や公的機関等の情報関連の研究・企画部門、シンクタンク等の調査・研究機関が考えられる。

### ② 情報アーキテクチャ学科の専門教育課程

#### i 学部共通科目群

システム情報科学部複雑系科学科、情報アーキテクチャ学科の学生が共通に履修する科目群であり、目的別に以下のように大別できる。

- 本学が目指す教育、研究の理念や内容について紹介し、学生がその後何を学ぶか明確な指針を持つことができるような科目として「システム情報科学概論」を配置する。
- 早い時期からコンピュータの特性を理解した上でその効果的な利用法を意識させる科目として「情報機器概論」や、コンピュータサイエンスの専門教育への導入として基礎力を身に付けるための「プログラミング言語論」、「プログラミング演習」等を配置する。
- 専門知識を身に付ける上で基礎となる数学に関して、「線形代数学」、「確率論・統計学」等の科目を配置する。
- 専門知識を持った技術者として他分野の専門家と協働し、広い視野を持って、複雑化した問題の解決を通して社会に貢献していく姿勢を身につけるためには、自らの専門分野を学ぶと同時に相手の専門分野を理解する必要があるため、

先の「システム情報科学概論」に加えて「複雑系入門」、「情報アーキテクチャ入門」を共通の必修科目として1年次に配置する。

- 両学科の学生が互いに学んだ専門知識を基に、協働で課題の解決にあたることを目的とした「システム情報科学実習Ⅰ」、「システム情報科学実習Ⅱ」を共通の必修科目として3年次に配置する。

## ii 情報アーキテクチャ学科の専門科目群

情報アーキテクチャ学科の学生が履修する専門科目であり、演習を通じて実践的な教育を目指す。

- 情報アーキテクチャ学科の中核であるコンピュータと情報システム技術を理解するための基礎となる科目を配置する。
- 学んだ知識を活用することでコンピュータのハードウェアとソフトウェアの理解を深め、応用への足がかりを得ることを目標として「情報アーキテクチャ演習Ⅰ」、「情報アーキテクチャ演習Ⅱ」を配置する。
- 情報システム技術を人間社会との関連でとらえる視点を形成するための基礎となる科目として、「認知心理学」、「ヒューマンインタフェース」等を配置する。
- 情報システムのメディアとしての特性をとらえ、その表現について考察し、表現技術の基礎を身につけるための科目を配置する。
- 人間を中心とした視点からコンピュータの知識や技術を統合化して社会に貢献しうる情報システムを構築することを目標に、コンピュータによる情報伝達の仕組みや情報表現について、実際の制作を通して体験的に技術を身につけ、それまで学んだ知識や技術に広がりを持たせ、さらに関心を深めることを目的とする。インターネットに代表される高度ネットワーク社会における情報システムを考察するためには、「ソフトウェア方法論」や「通信ネットワーク理論」等を配置する。また、情報システムの構築に知的システムを応用させ、人間と協調する知識処理やその作業環境を考察するための「並列分散処理」や「分散協調システム」等を配置する。さらに、人にとっての快適性を考慮したメディアシステムを表現者の立場から考察するための「情報デザインⅠ、Ⅱ」や「ユーザ・センタード・デザイン」等を配置する。
- 卒業研究は、学生が単独あるいは共同で問題解決型の課題研究を行う。

## iii 情報アーキテクチャ学科の卒業後の進路と履修モデル

卒業後の進路を大きく3つに分け、学生個々の多様な問題意識に基づき自主的かつ体系的な学習指導を促進していくために、履修モデルを以下のように設定する（資料12）。

- ◆ モデルA：ロボティクス等の知的システムの構築を主眼とす

る履修モデル。卒業後の進路としては、企業、公的機関の情報技術の研究・開発部門が考えられる。

- ◆ モデルB：情報システムに関連した情報技術の修得を主眼とする履修モデル。卒業後の進路としては、情報機器関連の製造業、通信事業・情報サービス産業、企業・官公庁の情報管理部門などが考えられる。

- ◆ モデルC：デザインとユーザインタフェースの技術修得を主眼とする履修モデル。卒業後の進路としては、企業・官公庁の広報部門におけるマルチメディアコンテンツの作成、製造業における製品評価、工業デザインなどが考えられる。

# 5

## 教育方法の特色

### （1）協調学習の推進

「学習」を個人的な「知識獲得の行為」のみにとどまるものではなく、共同体との社会的関わりや相互作用の中から生じる過程であるとして、「学習」意欲を高め、知識を有効に利用できる協調学習を推進するために以下のような方策を導入する。

#### ①演習の重視 (Learning by doing)

演習科目において主体的に問題解決に取り組むことによって、これまでに得た知識を、体験を基にした利用できる知識・能力として身につけ、さらに実際の新しい状況に対して自分の知識を適用させていく能力を身につけることを目標とする。

#### ②プロジェクト制学習 (Project based learning)

「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」、「システム情報科学実習Ⅰ、Ⅱ」、「卒業研究」等においては、いくつかの分野を統合した課題を扱うプロジェクトを単位とした学習を行う。このプロジェクト学習のデザインの背景には、人間は自分の生活あるいは社会的活動として意味のある活動の中でより多くを学ぶという事実がある。課題を解決するために、資料を検索したり、実験を行ったり、モデルを作ったり、シミュレーションを行ったりアイデアを創作したりという活動に従事しながら、複数分野の知識を収斂させる総合的な思考力及び課題解決のための実践力を養成する。

#### ③ティームティーチング

演習科目を中心に、複数の教員を配置し、共同できめの細かい教育を行う。また「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」、「システム情報科学実習Ⅰ、Ⅱ」等においては、専門分野の異なる又は指導に対する視点の異なる複数の教員が共同で教育にあたり、教員同士・教員と学生のコミュニケーションを促進することで、



課題を多視点的にとらえ、学生の視野をひろげ、総合的思考力の養成を目指す。

### (2) コミュニケーション能力の育成

コミュニケーションを言語による対話のみに限定するのではなく、言語を含めたさまざまなメディアを通じた価値ある内容の相互伝達にとらえ、自らの考えや知識、成果を効果的に伝えることのできるコミュニケーション能力を育成するために以下のような方策を導入する。

#### ①コミュニケーションの重視

4年間の教育を通じて科学者としてのアイデンティティを高め、コミュニケーションの重要性を伝え、コミュニケーションスキルの向上を支援するために、「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」を中心におく。さらに、専門科目においても適宜学生による発表、教員との対話等を取り入れ、4年間を通じてコミュニケーション能力の向上をはかることを目指す。

#### ②ディスカッションの重視

演習科目における協調的学習を進める上で、学生同士、教員と学生、教員同士のディスカッションを重視する。

#### ③プレゼンテーション能力の育成

「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」において各種メディアを利用したプレゼンテーション技術を学ぶ。専門演習科目における中間発表・最終発表を通じてこの能力を高め、卒業研究の成果の発表へ結びつける。また展示・発表場所として学内にミュージアム・スペースを設け、学内のみならず地域社会に向けて共同でプレゼンテーション・展示を実践する機会を設ける。

### (3) 学習を支援する諸方策

#### ①オリエンテーションの重視

「システム情報科学概論」において、本学で学ぶ学生に、大学教育の理念や目標、カリキュラム構成のねらいや各専門分野の関連、本学部の教育研究のねらいを伝える。また「複雑系科学入門」「情報アーキテクチャ入門」ではより具体的な専門科目についてカリキュラム全体からみたねらいや位置づけ、学問分野の動向等を紹介し、学生が自分の将来像を描く手掛かりを与え、学習の動機づけや指針となることを目指す。

#### ②授業設計と学習指導の充実

授業科目における教育目標を明確にし、さらに毎時間における授業内容や方法、教材についてあらかじめ計画を立て、学生の学習の指針となるよう有効なシラバスを充実させる。さらに、準備学習の指示や学習効果を高めるような補助教材や参考資料の紹介など、授業時間外での学生の自主的な学習を支援する。

#### ③学習環境の整備

学生の自主的な学習を支援するため、ネットワーク上でシラバスや大学の教育研究に関する情報の公開を行い、学内ではコンピュータ教室の他、講義室には学生1人ずつの情報コンセントを設置し、また共有の学習スペースであるスタジオをはじめ、図書室や体育館にまでさまざまな場所からネットワークにアクセスできる情報環境を整備する。スタジオの他にもプレゼンテーションスペース、ミュージアム等を設け、学内活動を公開することで学生の好奇心を刺激し、自主的に参加できる環境を整備する。

#### ④セメスター制(学期制)の導入

学期完結型のセメスター制を導入することにより、学生にとっても学期ごとに学習目標を明確にすることができ、少数科目を集中して教育することによって学習効果を高めることができる。また、学生、教員にとってさまざまな海外交流の推進をはかることができるという利点も持つ。

#### ⑤グループによる学習活動の実施

1年次から始まる「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」やいくつかの演習科目、「システム情報科学実習Ⅰ、Ⅱ」等においては学生の問題意識と問題へのアプローチの仕方を尊重するためクラス内を少人数のグループに分け、複数の教員、助手やティーチングアシスタントが指導にあたり、個々の問題意識やテーマ設定に柔軟に対応できる少人数による教育を行う。

## 6

### 履修指導方法

システム情報科学部では、様々な学問分野の知識をそれぞれの分野に分断された知識として受け取るのではなく、目的に向けて必要な知識を統合していく過程を実践して学ぶことを目指している。そのため、学生の履修指導について、学生個々の多様な問題意識に基づきつつそれぞれの学習目的を明確にし、自主的かつ体系的な学習指導を促進していくために、履修指導について以下の点で配慮している。

#### (1) 履修指導の重視

学生の学習目標の明確化、学習計画の確立の支援と過剰な履修負担を防止するために、少人数単位のアドバイザー制度を実施する。また、各教員にはオフィスアワーを義務づけきめこまかな履修指導を行う責任体制を整備する。なお、シラバスの整備等、教員間の連携を強化し学習支援体制の確立を図る。

#### (2) 履修モデル

学生個々の多様な問題意識に基づき、自主的かつ体系的な学習指導を促進していくために学生の履修選択の重要な参考資料として、複雑系科学科、情報アーキテクチャ学科とも履修モデルを設定する(資料12)。

### （３）成績評価基準の明確化

学生が、明確な基準による成績評価を受けることで、客観的な到達レベルを知ると同時に、自己の学習過程を振り返り、何を学んだか、学びのプロセスは適切であったかを検討して、その成果を位置づけ、以後の学習目標・計画策定にフィードバックしていくことが必要である。

本学では、成績評価基準・方法を明確にした上で、客観的な到達度の指標としてGPA (Grade Point Average) 制度を導入する。さらに学習過程の把握のためのポートフォリオ制作を通じて、学生の学習目的の明確化や学習意欲の増進をはかり、教員にとっては教育方法・効果を振り返り、教育の充実や確

な学習指導に寄与するものとする。

① GPA (Grade Point Average) 制度

学生個々の学習到達度の評価方法としてGPA制度を導入する。この評価方法により、各セメスターごとの短期的な学生の学習状況を把握することができ、履修指導をより充実させることができる。

## ②ポートフォリオ制作

学生による学習過程とその成果把握の方法として、学生個人のポートフォリオ制作を行う。

ポートフォリオは自己の学習過程の全記録であり、卒業までに何を学び、どのようなプロジェクトに関わり、どのような専門知識を身につけその文化的背景を学んだか、という過程を入学時から卒業まで蓄積するものである。これにより、学生は自己の学習過程を振り返り成果を把握することができ、教員は学生の評価や指導の資料とすることができる。

## 7 学生確保の見通し

(1) システム情報科学部の学生確保の見通し

公立はこでて未来大学が開学した場合の学生確保の見通しを得るため、北海道内と青森県内の一部の高校 55 校に在学する 2 年生（1 校当たり約 80 人）を対象に進路意向調査を実施し、3,740 人から回答を得た。

この進路意向調査と北海道内の18歳人口および大学志願率を基に進学需要の推計を行った結果、開学予定の平成12年におけるシステム情報科学部に対する進学需要は、北海道内だけでも1,818人の進学需要が見込まれ(入学定員に対して約7.5倍)、その後も毎年1,600人を超える進学希望者が見込まれる状況にある。

さらに、青森県内（主に青森市内）の高校生からも北海道内と同様の進学需要があることや、他都府県からの進学希望者を考慮すると、充分学生確保は可能であると考えられる。（資料13、14）

●結果 北海道内からの公立はこだて未来大学への進学希望者推計値

(単位：人)

|               | 開学年度     |          |          | 完成年度     |          |          |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
|               | 平成 12 年度 | 平成 13 年度 | 平成 14 年度 | 平成 15 年度 | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 |
| 北海道 18 歳人口    | 69,452   | 70,460   | 69,045   | 67,235   | 63,948   | 61,908   |
| 平成 10 年度大学志願率 | 34.9%    |          |          |          |          |          |
| 道内大学進学者数予測    | 24,239   | 24,591   | 24,097   | 23,465   | 22,318   | 21,606   |
| 当大学への進学希望比率   | 7.5%     |          |          |          |          |          |
| 進学希望者数推計値     | 1,818    | 1,844    | 1,807    | 1,760    | 1,674    | 1,620    |

## ●推計方法

北海道及び青森市内の 55 校の高校 2 年生を対象に、当大学への北海道内からの進学希望等のアンケート調査を実施し、その回答をもとに下記のように進学需要を推計した。

推計対象地域：北海道内に立地する高校 50 校（回答 48 校）

① 進学対象人口：北海道内の各年度の 18 歳人口を文部省学校基本調査報告書より抽出。

② 大学志願率：平成 10 年度の大学志願率を適用した（北海道）

③ 本学への進学希望比率：高校生へのアンケート調査結果で、本学に関心がある者のうち、「ぜひ進学を希望する」「一応進学を考える」と回答した者を対象とした。

④ 推計式：

$$\text{進学希望者} = \text{進学対象人口} \times \text{大学志願率} \times \text{本学への進学希望比率}$$

(平成12年度予測値) (①で算出) (平成10年度値) (アンケート調査による)

$$\text{大学志願率} = \frac{\text{大学志願者数(北海道)}}{\text{18歳人口(北海道)}}$$

### ●公立はこだて未来大学への進学希望比率

|                |                                                                                        |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 進学希望比率<br>7.5% | 北海道内に立地する高校の回答者数 3,384 人のうち、本学に関心があると回答し、且つ、「ぜひ進学したい（87 人）」+「一応進学を考える（167 人）」と回答した者の比率 |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|

（参考）公立はこだて未来大学への進学希望比率（青森）

|                |                                                                    |
|----------------|--------------------------------------------------------------------|
| 進学希望比率<br>6.9% | 青森市内に立地する高校の回答者数 363 人のうち、「ぜひ進学したい（9 人）」+「一応進学を考える（16 人）」と回答した者の比率 |
|----------------|--------------------------------------------------------------------|

### （2）各学科ごとの学生確保の見通しの検討

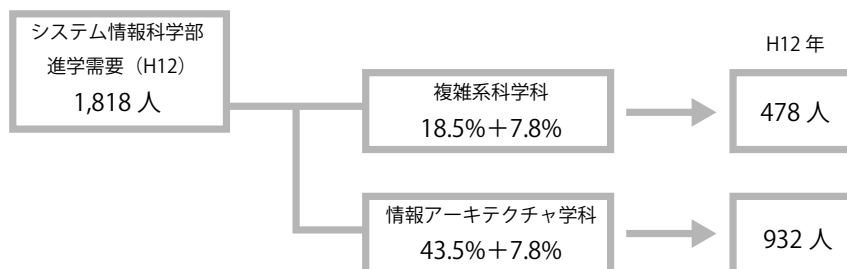
公立はこだて未来大学のシステム情報科学部に進学を希望する者のうち、複雑系科学科、情報アーキテクチャ学科に進学を希望する者の数を、上記進学需要をもとに検討した。この調査では、本学への進学に前向きな者のうち複雑系科学科を希望する者が 18.5%、情報アーキテクチャ学科を希望する者が 43.5%であった。また、どちらにも興味がある者が 15.5%おり、このうち約半数（7.8%）ずつが各学科を希望すると仮定すると、平成 12 年において、複雑系科学科が 478 人（入学定員の約 6 倍）、情報アーキテクチャ学科が 932 人（入学定員の約 6 倍）の進学希望者があることになり、学科ごとに見ても学生確保は可能である。

### ●希望する学科

| 希望する学科      | 比率（%） |
|-------------|-------|
| 複雑系科学科      | 18.5  |
| 情報アーキテクチャ学科 | 43.5  |
| どちらにも興味がある  | 15.5  |
| まだわからない     | 18.1  |
| その他・無回答     | 4.4   |

N=658

### ●各学科ごとの学生確保の見通し



（注）N= 本学に関心があると回答、且つ「ぜひ進学したい」+「一応進学を考えている」+「進学を検討したい」と回答した者を対象

## 8

### 卒業後の進路とその見通し

#### （1）卒業後の進路

卒業後の進路として、複雑系科学科及び情報アーキテクチャ学科ともに、情報関連の職種への就職及び大学院進学が想定される。

想定される就職先を学科別にみると、複雑系科学科では、情報産業、製造業や公的機関の研究・開発部門、コンサルタント会社や企業、公的機関の情報関連部門の研究・企画部門、シンクタンク等の調査・研究機関が考えられる。

情報アーキテクチャ学科では、ソフトウェアハウスやシステム

ハウス、情報機器関連の製造業の設計・開発部門、企業の情報システム開発・設計部門、通信事業におけるメディアシステムの企画・開発、情報サービス産業や公的機関における情報システム開発企画・設計・管理、流通業や運輸業におけるネットワークシステムの設計・管理、企業や公的機関の広報部門やエンターテインメント業界等におけるマルチメディアコンテンツの企画・開発、企業や公的機関の研究部門等、情報関連の多彩な就職先が考えられる。

#### （2）卒業後の進路の見通し

平成 10 年に実施した進学意向調査によると、本学への進学に前向きな高校生のうち、卒業後に大学院等進学を希望して

いる者も約2割程度いるが、就職を希望する者が約6割と多い（資料 15）。就職先のイメージは、公務員に対する希望は根強いが、コンピュータシステムの開発、ソフトウェア開発、ゲーム開発・制作等への就職を希望する者が最も多くなっている（資料 16）。また、調査研究機関等、情報や情報技術を基に調査・分析を行う分野への進路希望者も一定程度はおり、進学希望者の多くは卒業後は情報系の技術を活かした分野への就職を希望しているものといえる。

卒業後の就職先については、情報関連産業分野の動向が卒業後の進路の受け皿の目安となるが、現在当該分野の成長は継続していることから、本学の卒業生に対するニーズは高いものと考えられる。

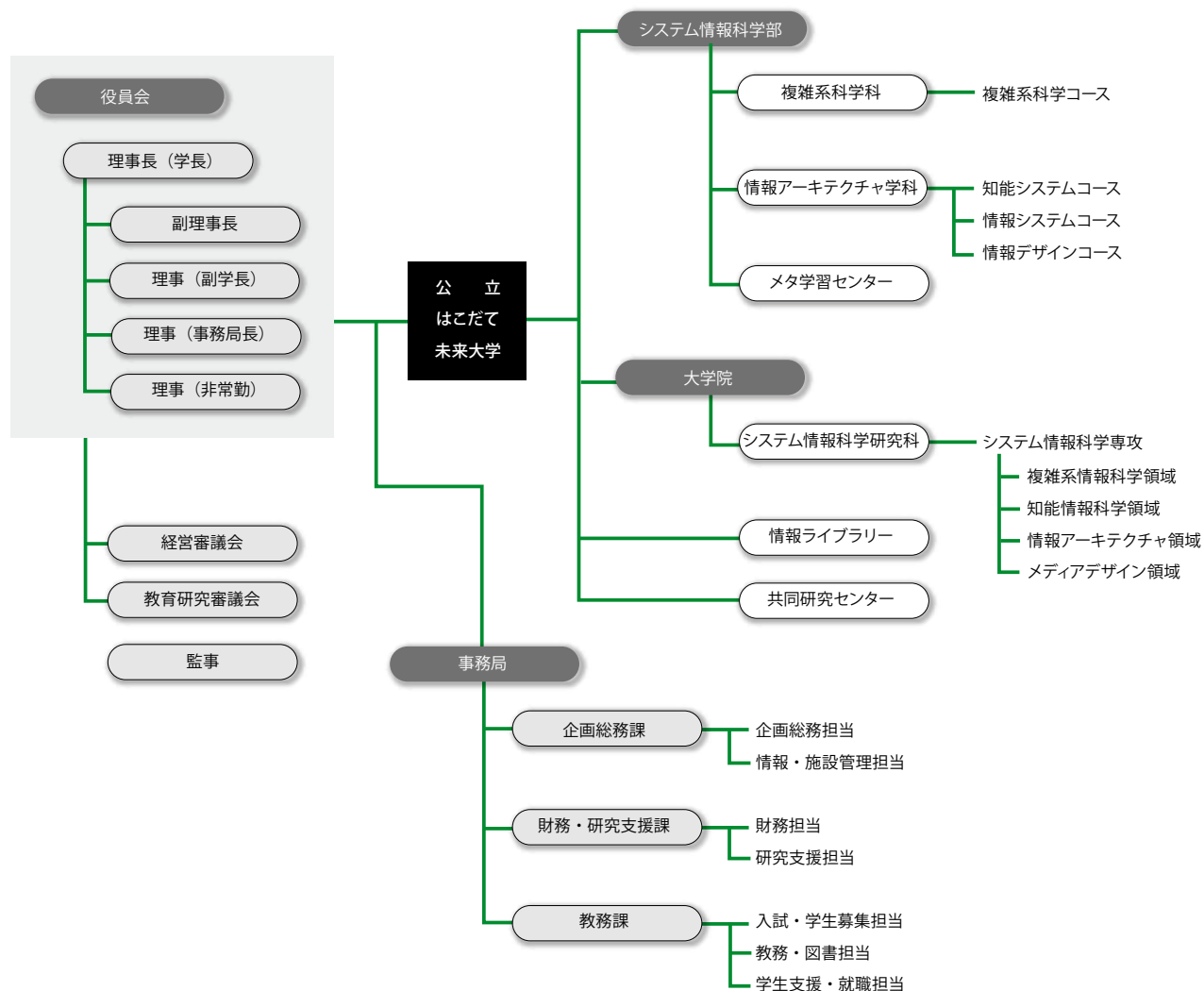
実際、全国的な情報サービス業の事業所数・従業員数は安定的な伸び（資料 17）を示しているし、コンピュータハード分野が成熟してきている一方で、新たにコンピュータの特にソフト関連の市場は急成長している（資料 18）。その中でも特にインターネットやゲーム等のコンテンツ開発の普及（資料 20、21）が顕著で、同分野の知識・技術を持つ人材ニーズが今後一層高まることが明らかである。

この傾向は、北海道内の企業からの情報処理技術者に対するニーズを見ても明らかである。例えば、企業における平成 10 年度の情報処理技術者の求人（北海道 IJU 情報センター調べ、平成 10 年 6 月現在）は、実務経験保有を条件にしない企業の求人に限定しても約 500 人程度あり、情報技術を身に付けた学生に対しては、他の業種と比べて求人機会が豊富である。これに、本学を卒業後に公務員や公的研究機関、大学院等への進学者等を考慮したり、また、他公立大学の在校生の出身地域が多様であり、卒業後も他府県へ就職している者も一定程度いることから（資料 22）、本学の卒業生についても卒業後の進路は確保されるものと考えられる。

※文中に出てくる資料 1～22 の掲載は省略しました。



組織図（2009年4月1日現在）



## 組織の変遷

- 2003年4月1日 大学院を設置
- 2004年4月1日 共同研究センターを設置  
共同研究センター担当参事3級を配置（～2009年3月31日）
- 2006年4月1日 法人化担当参事3級を配置（～2008年3月31日）
- 2008年4月1日 公立大学法人公立はこだて未来大学を設立  
メタ学習センターを設置
- 2009年4月1日 事務局を再編：2課体制（総務課、教務課）→3課体制（企画総務課、財務・研究支援課、教務課）

## 教職員数の推移

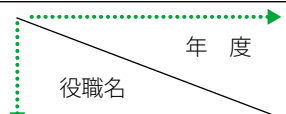
（単位：人）

| 区 分          | 教員<br>（うち外国人数） | 事務局 |      |      |  | 計  |
|--------------|----------------|-----|------|------|--|----|
|              |                | 職員  | 嘱託職員 | 臨時職員 |  |    |
| 2000（平成12）年度 | 46(6)          | 21  | 6    | 6    |  | 33 |
| 2001（平成13）年度 | 53(8)          | 21  | 6    | 6    |  | 33 |
| 2002（平成14）年度 | 62(8)          | 24  | 6    | 9    |  | 39 |
| 2003（平成15）年度 | 64(8)          | 24  | 7    | 9    |  | 40 |
| 2004（平成16）年度 | 61(7)          | 25  | 8    | 11   |  | 44 |
| 2005（平成17）年度 | 69(9)          | 25  | 10   | 12   |  | 47 |
| 2006（平成18）年度 | 69(9)          | 25  | 10   | 12   |  | 47 |
| 2007（平成19）年度 | 70(11)         | 25  | 10   | 14   |  | 49 |
| 2008（平成20）年度 | 63(10)         | 22  | 16   | 5    |  | 43 |
| 2009（平成21）年度 | 69(12)         | 21  | 17   | 5    |  | 43 |

※各年度5月1日現在

※2008年度（法人化）以降は、職員の欄には法人役員である事務局長を含む人数を、嘱託職員の欄には普通契約職員・短時間契約職員の人数を、臨時職員の欄には臨時契約職員の人数を記載している

## (1) 役職者一覧

|  |              | 2000<br>(平成12)<br>年度 | 2001<br>(平成13)<br>年度 | 2002<br>(平成14)<br>年度     | 2003<br>(平成15)<br>年度 | 2004<br>(平成16)<br>年度 | 2005<br>(平成17)<br>年度 | 2006<br>(平成18)<br>年度 | 2007<br>(平成19)<br>年度 | 2008<br>(平成20)<br>年度 | 2009<br>(平成21)<br>年度 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 法人<br>役員                                                                          | 理事長          | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 中島 秀之                |                      |
|                                                                                   | 副理事長         | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 岩田 州夫                |                      |
|                                                                                   | 理事           | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 小西 修                 |                      |
|                                                                                   | 理事           | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 西濱 晴二                |                      |
|                                                                                   | 理事 (非常勤)     | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 益田 隆司                |                      |
| 学長                                                                                |              |                      | 伊東 敬祐                |                          |                      |                      | 中島 秀之                |                      |                      | 中島 秀之                |                      |
| 副学長                                                                               |              | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 小西 修                 |                      |
| 部<br>局<br>長                                                                       | 複雑系科学科長      | 上田 暁亮                |                      | 塚原 保夫                    |                      | 小西 修                 |                      | 上野 嘉夫                |                      | 上野 嘉夫                |                      |
|                                                                                   | 情報アーキテクチャ学科長 |                      | 宮本 衛市                |                          |                      | 大澤 英一                |                      | 高橋 修                 |                      | 高橋 修                 |                      |
|                                                                                   | 研究科長         | .....                | .....                | .....                    | 川嶋 稔夫                |                      | 大澤 英一                |                      | 三木 信弘                | 三木 信弘                |                      |
|                                                                                   | 情報ライブラリー長    | 宮本 衛市                |                      | 塚原 保夫                    |                      | 大澤 英一                |                      | 上野 嘉夫                |                      | 美馬 のゆり               |                      |
|                                                                                   | 共同研究センター長    |                      |                      |                          |                      | 長野 章                 |                      | 鈴木 恵二                |                      | 三上 貞芳                |                      |
|                                                                                   | メタ学習センター長    | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 美馬 のゆり               |                      |
| 事<br>務<br>局                                                                       | 事務局長         |                      | 佐藤 弘明                |                          |                      | 田島 基義                |                      | 西濱 晴二                |                      | 西濱 晴二                |                      |
|                                                                                   | 企画総務課長       | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 鶴喰 誠                 |
|                                                                                   | 総務課長         | 辻 廣則                 |                      | ※異動日は2001年12月25日<br>毛内 晃 |                      | 妹尾 正白                |                      | 川浪 幸一                |                      | 岡崎 広久                |                      |
|                                                                                   | 参事3級         | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | 岡崎 広久                |                      | .....                | .....                |
|                                                                                   | 財務・研究支援課長    | .....                | .....                | .....                    | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | .....                | 和久井 直哉               |
|                                                                                   | 教務課長         |                      | 中原 憲                 |                          | 妹尾 正白                |                      | 松塚 康輔                |                      |                      | 松塚 康輔                |                      |
|                                                                                   | 共同研究センター参事   | .....                | .....                | .....                    | .....                | 備前 悟                 |                      | 山崎 信幸                |                      | 和久井 直哉               | .....                |

## (2) 名誉教授一覧

| 授与年月日          | 氏 名    | 専門分野                    | 採用年月日          | 退職年月日           | 備 考  |
|----------------|--------|-------------------------|----------------|-----------------|------|
| 2007 年 4 月 1 日 | 伊東 敬祐  | 非線形科学                   | 2000 年 4 月 1 日 | 2004 年 3 月 31 日 | 初代学長 |
| 2007 年 4 月 1 日 | 塚原 保夫  | 情報生物学、脳科学、<br>時間生物学     | 2000 年 4 月 2 日 | 2007 年 3 月 31 日 | 元学科長 |
| 2007 年 4 月 1 日 | 八木 大彦  | ヒューマン・インター<br>フェース・デザイン | 2000 年 4 月 1 日 | 2007 年 3 月 31 日 |      |
| 2008 年 4 月 1 日 | 上見 練太郎 | 偏微分方程式論                 | 2001 年 4 月 2 日 | 2008 年 3 月 31 日 |      |

## (3) 教員一覧

| 氏 名         | 所属 | 職 名     | 採用年月日           | 在 | 籍 | 年 | 度 | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 |
|-------------|----|---------|-----------------|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 中島 秀之       |    | 理事長・学長  | 2004 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 岩田 州夫       | M  | 副理事長・教授 | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 小西 修        | C  | 副学長・教授  | 2002 年 4 月 2 日  |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 小野 瞭        | C  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| ウラジミール リャボフ | C  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 高橋 信行       | C  | 教授      | 2002 年 4 月 1 日  |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 齊藤 郁夫       | C  | 教授      | 2002 年 10 月 1 日 |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 上野 嘉夫       | C  | 教授      | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 村重 淳        | C  | 教授      | 2007 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  |
| 櫻沢 繁        | C  | 准教授     | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 川越 敏司       | C  | 准教授     | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 川口 聡        | C  | 准教授     | 2002 年 4 月 1 日  |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 齊藤 朝輝       | C  | 准教授     | 2002 年 4 月 1 日  |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 高村 博之       | C  | 准教授     | 2003 年 9 月 1 日  |   |   |   | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 由良 文孝       | C  | 准教授     | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| ホセ ナチエル     | C  | 准教授     | 2007 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  |
| 佐藤 直行       | C  | 准教授     | 2009 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  |
| 沼田 寛        | C  | 講師      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 宮本 衛市       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 三木 信弘       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 川嶋 稔夫       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 三上 貞芳       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 大澤 英一       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 松原 仁        | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 山本 敏雄       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 岡本 誠        | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 柳 英克        | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 木村 健一       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 美馬のゆり       | M  | 教授      | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 鈴木 克也       | M  | 教授      | 2001 年 4 月 1 日  |   | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| イアン フランク    | M  | 教授      | 2001 年 4 月 1 日  |   | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 三浦 守        | M  | 教授      | 2001 年 4 月 2 日  |   | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 佐藤 仁樹       | M  | 教授      | 2002 年 10 月 1 日 |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 長野 章        | M  | 教授      | 2003 年 5 月 1 日  |   |   |   | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| マルコム フィールド  | M  | 教授      | 2003 年 10 月 1 日 |   |   |   | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 高橋 修        | M  | 教授      | 2004 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |

| 氏 名          | 所属 | 職 名   | 採用年月日           | 在 | 籍 | 年 | 度 | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 |
|--------------|----|-------|-----------------|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 寺沢 秀雄        | M  | 教授    | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 高木 剛         | M  | 教授    | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 片桐 恭弘        | M  | 教授    | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| マイケル ヴァランス   | M  | 教授    | 2005 年 10 月 1 日 |   |   |   |   |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 美馬 義亮        | M  | 准教授   | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 長崎 健         | M  | 准教授   | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 鈴木 昭二        | M  | 准教授   | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 伊藤 精英        | M  | 准教授   | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 戸田 真志        | M  | 准教授   | 2001 年 4 月 1 日  |   | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 新美 礼彦        | M  | 准教授   | 2002 年 4 月 1 日  |   |   | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 加藤 浩仁        | M  | 准教授   | 2003 年 4 月 1 日  |   |   |   | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 迎山 和司        | M  | 准教授   | 2003 年 4 月 1 日  |   |   |   | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 花田 光彦        | M  | 准教授   | 2004 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| デーヴィット ライト   | M  | 准教授   | 2004 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 和田 雅昭        | M  | 准教授   | 2005 年 1 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| ビトヨ ハルトノ     | M  | 准教授   | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 奥野 拓         | M  | 准教授   | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| プルースベンスチュアート | M  | 准教授   | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 南部 美砂子       | M  | 准教授   | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 中田 隆行        | M  | 准教授   | 2007 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  |
| 藤田 篤         | M  | 准教授   | 2009 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  |
| アンドリュー ジョンソン | M  | 准教授   | 2009 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  |
| リアン W ラムゼイ   | M  | 講師    | 2000 年 4 月 1 日  | ● | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 伊藤 恵         | M  | 講師    | 2001 年 4 月 1 日  |   | ● | ● | ● | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 姜 南圭         | M  | 講師    | 2007 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  |
| ドミニク C バゲンダ  | M  | 特任講師  | 2009 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  |
| 松山 克胤        | M  | 助教    | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 光藤 雄一        | M  | 助教    | 2005 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 白勢 政明        | M  | 助教    | 2008 年 9 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  | ●  |
| 寺沢 憲吾        | M  | 助教    | 2009 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  |
| 白石 陽         | M  | 助教    | 2009 年 4 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  |
| 田柳 恵美子       | R  | 特任准教授 | 2008 年 5 月 1 日  |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    | ●  | ●  |

※所属 C：複雑系科学科  
M：情報アーキテクチャ学科  
R：共同研究センター

※職名 2010 年 3 月 31 日現在



## (4) 退職教員一覧

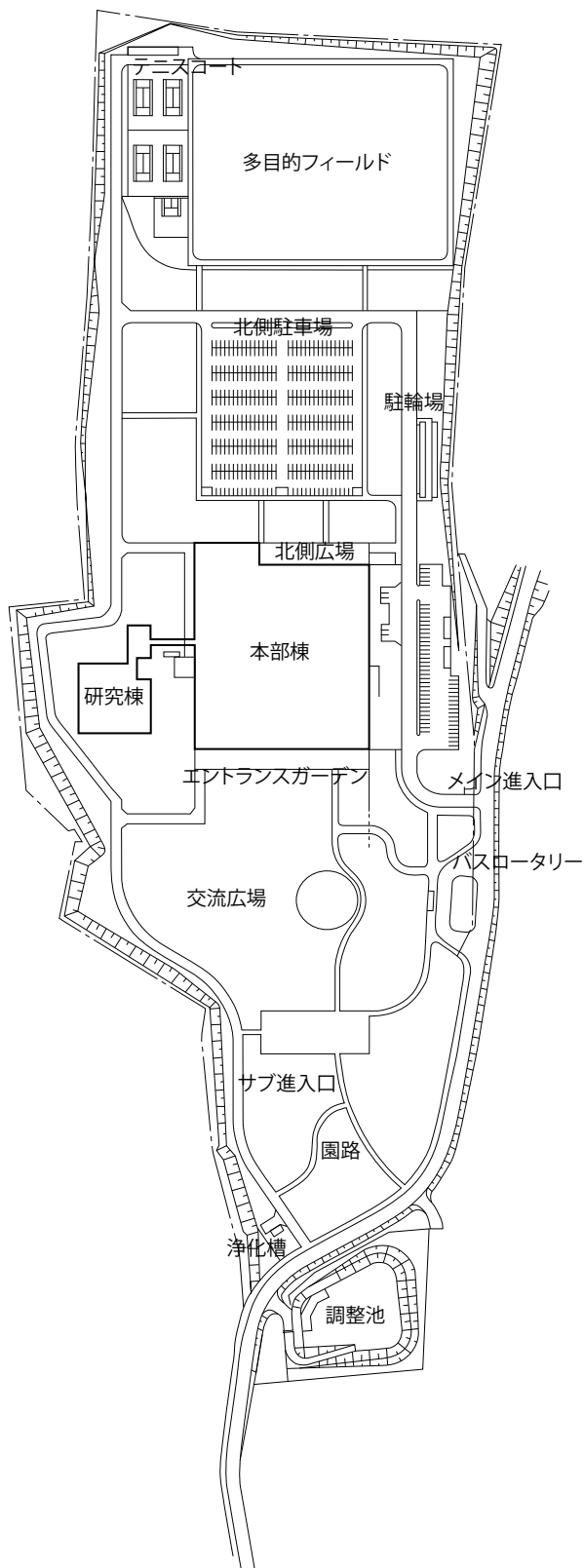
| 氏 名         | 所属 | 職 名 | 退職年月日            | 在<br>00 | 籍<br>01 | 年<br>02 | 度<br>03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 |
|-------------|----|-----|------------------|---------|---------|---------|---------|----|----|----|----|----|----|
| 伊東 敬祐       |    | 学長  | 2004 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 塚原 保夫       | C  | 教授  | 2007 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  |    |    |    |
| 上田 皖亮       | C  | 教授  | 2007 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  |    |    |    |
| 上見 練太郎      | C  | 教授  | 2008 年 3 月 31 日  |         | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| 高安 美佐子      | C  | 助教授 | 2004 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 小西 啓治       | C  | 助教授 | 2006 年 3 月 31 日  |         |         | ●       | ●       | ●  | ●  |    |    |    |    |
| 長谷川 義孝      | C  | 講師  | 2002 年 8 月 31 日  |         |         | ●       |         |    |    |    |    |    |    |
| 篠原 修二       | C  | 助手  | 2001 年 3 月 31 日  | ●       |         |         |         |    |    |    |    |    |    |
| 森山 徹        | C  | 助教  | 2007 年 10 月 15 日 | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| 元池 育子       | C  | 助教  | 2008 年 3 月 31 日  |         |         | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| 前川 禎男       | M  | 教授  | 2004 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 宮西 洋太郎      | M  | 教授  | 2004 年 8 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  |    |    |    |    |    |
| ヒレル ワイントラップ | M  | 教授  | 2005 年 5 月 15 日  |         | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  |    |    |    |    |
| ロバート セベリィ   | M  | 教授  | 2005 年 11 月 30 日 | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  |    |    |    |    |
| 積山 薫        | M  | 教授  | 2006 年 9 月 30 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  |    |    |    |
| 八木 大彦       | M  | 教授  | 2007 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  |    |    |    |
| 鈴木 恵二       | M  | 教授  | 2008 年 3 月 15 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| 小野 哲雄       | M  | 教授  | 2009 年 9 月 30 日  |         | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |
| 松原 知代子      | M  | 助教授 | 2003 年 3 月 31 日  |         | ●       | ●       |         |    |    |    |    |    |    |
| ローレンス デイビス  | M  | 助教授 | 2003 年 7 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 山崎 晶子       | M  | 准教授 | 2008 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| チャールズ ウィズ   | M  | 准教授 | 2008 年 3 月 31 日  |         |         |         |         |    | ●  | ●  | ●  |    |    |
| マヤ ジンジャーリー  | M  | 講師  | 2003 年 9 月 30 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 秋田 純一       | M  | 講師  | 2004 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 石井 宏一       | M  | 講師  | 2004 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 刑部 育子       | M  | 講師  | 2004 年 9 月 30 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  |    |    |    |    |
| 伊藤(横山)美紀    | M  | 講師  | 2008 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| 吉川 英一       | M  | 助手  | 2002 年 3 月 31 日  | ●       | ●       |         |         |    |    |    |    |    |    |
| 田中 完爾       | M  | 助手  | 2002 年 7 月 31 日  | ●       | ●       | ●       |         |    |    |    |    |    |    |
| 呉 起東        | M  | 助手  | 2004 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       |    |    |    |    |    |    |
| 西野 由希子      | M  | 助手  | 2005 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  |    |    |    |    |    |
| 林 康子        | M  | 助手  | 2005 年 3 月 31 日  | ●       | ●       | ●       | ●       | ●  |    |    |    |    |    |
| 小松 孝徳       | M  | 助教  | 2007 年 10 月 31 日 |         |         |         | ●       | ●  | ●  | ●  | ●  |    |    |
| 岸本 章宏       | M  | 助教  | 2009 年 3 月 31 日  |         |         |         |         |    | ●  | ●  | ●  | ●  |    |

※所属 C：複雑系科学科

※職名 退職時の職名

M：情報アーキテクチャ学科

## 公立はこだて未来大学施設概要



## 1 土地

所在地：函館市亀田中野町 116 番地 2

敷地面積：155,023.75㎡

内訳／多目的フィールド・テニスコート，駐車場，本部棟，研究棟，交流広場等

## 2 建物

## ① 本部棟

・建築面積：13,287.03㎡

・延床面積：26,839.55㎡

・構造：プレキャストコンクリート造 5 階建

・設置費：約 140 億円

内訳／建物・用地造成工事約 111 億円

設備・図書約 15 億円

用地取得等約 14 億円

## ② 研究棟

・建築面積：3,162.23㎡

・延床面積：4,383.51㎡

・構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 2 階建

・設置費：約 15 億円

内訳／建物・外構工事約 10 億円

設備約 5 億円

## (1) 入学志願者数・受験者数・合格者数・入学者数の推移

| 年度           | 入試  | 学部<br>学科 | 定員<br>[A] | 志願者<br>[B] | 受験者<br>[C] | 合格者<br>[D] | 入学者 | 倍率<br>[B/A] | 競争率<br>[C/D] |
|--------------|-----|----------|-----------|------------|------------|------------|-----|-------------|--------------|
| 2000 (平成 12) | 推 薦 | 複雑       | 24        | 26         | 26         | 21         | 21  | 1.1         | 1.2          |
|              |     | 情ア       | 48        | 62         | 62         | 51         | 51  | 1.3         | 1.2          |
|              |     | 計        | 72        | 88         | 88         | 72         | 72  | 1.2         | 1.2          |
|              | 前 期 | 複雑       | 40        | 355        | 345        | 82         | 45  | 8.9         | 4.2          |
|              |     | 情ア       | 80        | 1,145      | 1,095      | 163        | 90  | 14.3        | 6.7          |
|              |     | 計        | 120       | 1,500      | 1,440      | 245        | 135 | 12.5        | 5.9          |
|              | 後 期 | 複雑       | 16        | 146        | 127        | 23         | 16  | 9.1         | 5.5          |
|              |     | 情ア       | 32        | 386        | 313        | 38         | 28  | 12.1        | 8.2          |
|              |     | 計        | 48        | 532        | 440        | 61         | 44  | 11.1        | 7.2          |
|              | 合 計 |          | 240       | 2,120      | 1,968      | 378        | 251 | 8.8         | 5.2          |
| 2001 (平成 13) | A O | 複雑       | 4         | 12         | 12         | 4          | 4   | 3.0         | 3.0          |
|              |     | 情ア       | 8         | 38         | 38         | 9          | 9   | 4.8         | 4.2          |
|              |     | 計        | 12        | 50         | 50         | 13         | 13  | 4.2         | 3.8          |
|              | 推 薦 | 複雑       | 20        | 14         | 14         | 14         | 14  | 0.7         | 1.0          |
|              |     | 情ア       | 40        | 58         | 58         | 40         | 40  | 1.5         | 1.5          |
|              |     | 計        | 60        | 72         | 72         | 54         | 54  | 1.2         | 1.3          |
|              | 前 期 | 複雑       | 40        | 169        | 154        | 54         | 44  | 4.2         | 2.9          |
|              |     | 情ア       | 80        | 298        | 279        | 96         | 89  | 3.7         | 2.9          |
|              |     | 計        | 120       | 467        | 433        | 150        | 133 | 3.9         | 2.9          |
|              | 後 期 | 複雑       | 16        | 143        | 70         | 26         | 20  | 8.9         | 2.7          |
|              |     | 情ア       | 32        | 236        | 121        | 32         | 29  | 7.4         | 3.8          |
|              |     | 計        | 48        | 379        | 191        | 58         | 49  | 7.9         | 3.3          |
|              | 合 計 |          | 240       | 968        | 746        | 275        | 249 | 4.0         | 2.7          |
| 2002 (平成 14) | A O | 複雑       | 4         | 13         | 13         | 4          | 4   | 3.3         | 3.3          |
|              |     | 情ア       | 8         | 46         | 46         | 9          | 9   | 5.8         | 5.1          |
|              |     | 計        | 12        | 59         | 59         | 13         | 13  | 4.9         | 4.5          |
|              | 推 薦 | 複雑       | 16        | 27         | 27         | 18         | 18  | 1.7         | 1.5          |
|              |     | 情ア       | 32        | 85         | 85         | 35         | 35  | 2.7         | 2.4          |
|              |     | 計        | 48        | 112        | 112        | 53         | 53  | 2.3         | 2.1          |
|              | 前 期 | 複雑       | 45        | 193        | 184        | 54         | 50  | 4.3         | 3.4          |
|              |     | 情ア       | 90        | 281        | 267        | 105        | 97  | 3.1         | 2.5          |
|              |     | 計        | 135       | 474        | 451        | 159        | 147 | 3.5         | 2.8          |
|              | 後 期 | 複雑       | 15        | 194        | 108        | 15         | 14  | 12.9        | 7.2          |
|              |     | 情ア       | 30        | 237        | 121        | 30         | 26  | 7.9         | 4.0          |
|              |     | 計        | 45        | 431        | 229        | 45         | 40  | 9.6         | 5.1          |
|              | 合 計 |          | 240       | 1,076      | 851        | 270        | 253 | 4.5         | 3.2          |
| 2003 (平成 15) | A O | 複雑       | 4         | 6          | 6          | 4          | 4   | 1.5         | 1.5          |
|              |     | 情ア       | 8         | 38         | 38         | 8          | 8   | 4.8         | 4.8          |
|              |     | 計        | 12        | 44         | 44         | 12         | 12  | 3.7         | 3.7          |
|              | 推 薦 | 複雑       | 16        | 25         | 25         | 18         | 18  | 1.6         | 1.4          |
|              |     | 情ア       | 32        | 68         | 68         | 35         | 35  | 2.1         | 1.9          |
|              |     | 計        | 48        | 93         | 93         | 53         | 53  | 1.9         | 1.8          |
|              | 前 期 | 複雑       | 45        | 140        | 137        | 51         | 46  | 3.1         | 2.7          |
|              |     | 情ア       | 90        | 289        | 273        | 102        | 96  | 3.2         | 2.7          |
|              |     | 計        | 135       | 429        | 410        | 153        | 142 | 3.2         | 2.7          |
|              | 後 期 | 複雑       | 15        | 132        | 59         | 18         | 16  | 8.8         | 3.3          |
|              |     | 情ア       | 30        | 229        | 122        | 32         | 29  | 7.6         | 3.8          |
|              |     | 計        | 45        | 361        | 181        | 50         | 45  | 8.0         | 3.6          |
|              | 合 計 |          | 240       | 927        | 728        | 268        | 252 | 3.9         | 2.7          |

| 年度           | 入試  | 学部<br>学科 | 定員<br>[A] | 志願者<br>[B] | 受験者<br>[C] | 合格者<br>[D] | 入学者 | 倍率<br>[B/A] | 競争率<br>[C/D] |
|--------------|-----|----------|-----------|------------|------------|------------|-----|-------------|--------------|
| 2004 (平成 16) | A O | 複雑       | 4         | 11         | 11         | 4          | 4   | 2.8         | 2.8          |
|              |     | 情ア       | 8         | 32         | 32         | 8          | 8   | 4.0         | 4.0          |
|              |     | 計        | 12        | 43         | 43         | 12         | 12  | 3.6         | 3.6          |
|              | 推 薦 | 複雑       | 16        | 18         | 18         | 10         | 10  | 1.1         | 1.8          |
|              |     | 情ア       | 32        | 57         | 57         | 32         | 32  | 1.8         | 1.8          |
|              |     | 計        | 48        | 75         | 75         | 42         | 42  | 1.6         | 1.8          |
|              | 前 期 | 複雑       | 45        | 116        | 109        | 56         | 50  | 2.6         | 1.9          |
|              |     | 情ア       | 90        | 309        | 280        | 96         | 86  | 3.4         | 2.9          |
|              |     | 計        | 135       | 425        | 389        | 152        | 136 | 3.1         | 2.6          |
|              | 後 期 | 複雑       | 15        | 145        | 60         | 23         | 16  | 9.7         | 2.6          |
|              |     | 情ア       | 30        | 273        | 125        | 50         | 46  | 9.1         | 2.5          |
|              |     | 計        | 45        | 418        | 185        | 73         | 62  | 9.3         | 2.5          |
|              | 合 計 |          | 240       | 961        | 692        | 279        | 252 | 4.0         | 2.5          |
| 2005 (平成 17) | A O | 複雑       | 4         | 6          | 6          | 2          | 2   | 1.5         | 3.0          |
|              |     | 情ア       | 8         | 37         | 37         | 11         | 11  | 4.6         | 3.4          |
|              |     | 計        | 12        | 43         | 43         | 13         | 13  | 3.6         | 3.3          |
|              | 推 薦 | 複雑       | 16        | 7          | 7          | 6          | 6   | 0.4         | 1.2          |
|              |     | 情ア       | 32        | 75         | 74         | 37         | 37  | 2.3         | 2.0          |
|              |     | 計        | 48        | 82         | 81         | 43         | 43  | 1.7         | 1.9          |
|              | 前 期 | 複雑       | 45        | 205        | 183        | 72         | 58  | 4.6         | 2.5          |
|              |     | 情ア       | 90        | 292        | 272        | 112        | 100 | 3.2         | 2.4          |
|              |     | 計        | 135       | 497        | 455        | 184        | 158 | 3.7         | 2.5          |
|              | 後 期 | 複雑       | 15        | 131        | 56         | 33         | 30  | 8.7         | 1.7          |
|              |     | 情ア       | 30        | 270        | 128        | 32         | 29  | 9.0         | 4.0          |
|              |     | 計        | 45        | 401        | 184        | 65         | 59  | 8.9         | 2.8          |
|              | 合 計 |          | 240       | 1,023      | 763        | 305        | 273 | 4.3         | 2.5          |
| 2006 (平成 18) | A O |          | 12        | 39         | 39         | 23         | 23  | 3.3         | 1.7          |
|              | 推 薦 |          | 48        | 78         | 78         | 51         | 51  | 1.6         | 1.5          |
|              | 前 期 |          | 135       | 321        | 306        | 151        | 133 | 2.4         | 2.0          |
|              | 後 期 |          | 45        | 340        | 151        | 48         | 34  | 7.6         | 3.1          |
|              | 合 計 |          | 240       | 778        | 574        | 273        | 241 | 3.2         | 2.1          |
| 2007 (平成 19) | A O |          | 20        | 45         | 45         | 28         | 28  | 2.3         | 1.6          |
|              | 推 薦 |          | 60        | 71         | 71         | 61         | 61  | 1.2         | 1.2          |
|              | 前 期 |          | 135       | 389        | 366        | 174        | 141 | 2.9         | 2.1          |
|              | 後 期 |          | 25        | 246        | 146        | 51         | 17  | 9.8         | 2.9          |
|              | 合 計 |          | 240       | 751        | 628        | 314        | 247 | 3.1         | 2.0          |
| 2008 (平成 20) | A O |          | 20        | 51         | 51         | 33         | 33  | 2.6         | 1.5          |
|              | 推 薦 |          | 60        | 64         | 64         | 60         | 60  | 1.1         | 1.1          |
|              | 前 期 |          | 135       | 287        | 269        | 157        | 132 | 2.1         | 1.7          |
|              | 後 期 |          | 25        | 152        | 65         | 53         | 20  | 6.1         | 1.2          |
|              | 合 計 |          | 240       | 554        | 449        | 303        | 245 | 2.3         | 1.5          |
| 2009 (平成 21) | A O |          | 20        | 68         | 67         | 38         | 38  | 3.4         | 1.8          |
|              | 推 薦 |          | 60        | 90         | 90         | 69         | 69  | 1.5         | 1.3          |
|              | 前 期 |          | 135       | 454        | 416        | 151        | 126 | 3.4         | 2.8          |
|              | 後 期 |          | 25        | 668        | 403        | 36         | 11  | 26.7        | 11.2         |
|              | 合 計 |          | 240       | 1,280      | 976        | 294        | 244 | 5.3         | 3.3          |
| 2010 (平成 22) | A O |          | 20        | 70         | 69         | 36         | 36  | 3.5         | 1.9          |
|              | 推 薦 | 指定校      | 10        | 8          | 8          | 8          | 8   | 0.8         | 1.0          |
|              |     | 地 域      | 45        | 82         | 82         | 53         | 53  | 1.8         | 1.5          |
|              |     | 全 国      | 5         | 4          | 4          | 3          | 3   | 0.8         | 1.3          |
|              | 前 期 |          | 135       | 658        | 618        | 166        | 136 | 4.9         | 3.7          |
|              | 後 期 |          | 25        | 447        | 299        | 26         | 14  | 17.9        | 11.5         |
|              | 合 計 |          | 240       | 1,269      | 1,080      | 292        | 250 | 5.3         | 3.7          |

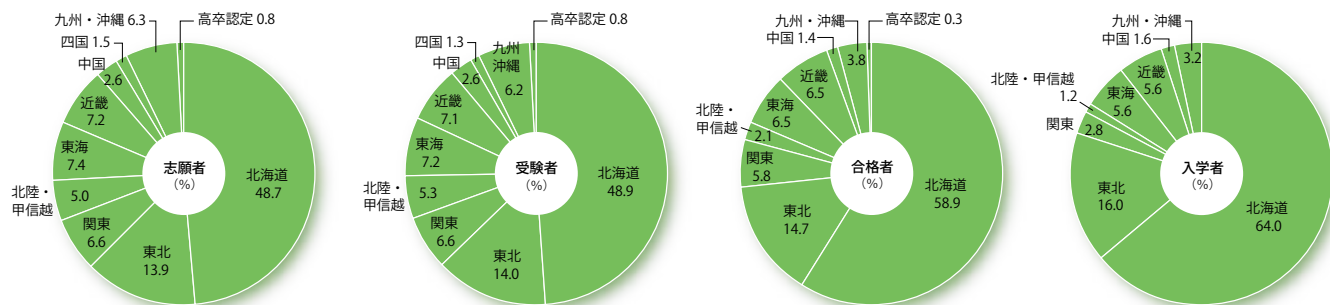
## (2) 都道府県別入学者数の推移

| 都道府県   | 2000 年度 |    |     | 2001 年度 |    |     | 2002 年度 |    |     | 2003 年度 |    |     | 2004 年度 |    |     | 2005 年度 |    |     |
|--------|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|
|        | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   |
| 北海道    | 116     | 42 | 158 | 130     | 39 | 169 | 122     | 53 | 175 | 153     | 23 | 176 | 133     | 28 | 161 | 161     | 37 | 198 |
| 渡島・檜山  | 40      | 16 | 56  | 27      | 15 | 42  | 24      | 21 | 45  | 24      | 6  | 30  | 29      | 7  | 36  | 27      | 12 | 39  |
| その他    | 76      | 26 | 102 | 103     | 24 | 127 | 98      | 32 | 130 | 129     | 17 | 146 | 104     | 21 | 125 | 134     | 25 | 159 |
| 東北     | 26      | 5  | 31  | 20      | 6  | 26  | 20      | 10 | 30  | 14      | 8  | 22  | 20      | 7  | 27  | 13      | 11 | 24  |
| 青森県    | 11      | 3  | 14  | 7       | 4  | 11  | 6       | 7  | 13  | 8       | 3  | 11  | 10      | 6  | 16  | 5       | 7  | 12  |
| 岩手県    | 4       | 1  | 5   | 3       |    | 3   | 3       |    | 3   | 1       | 3  | 4   | 4       |    | 4   | 2       | 1  | 3   |
| 宮城県    | 6       | 1  | 7   | 5       |    | 5   | 3       | 2  | 5   | 2       |    | 2   | 1       | 1  | 2   | 3       | 2  | 5   |
| 秋田県    | 2       |    | 2   | 3       | 1  | 4   | 4       | 1  | 5   |         | 1  | 1   | 2       |    | 2   | 2       | 1  | 3   |
| 山形県    | 1       |    | 1   |         |    |     | 2       |    | 2   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |
| 福島県    | 2       |    | 2   | 2       | 1  | 3   | 2       |    | 2   | 2       | 1  | 3   | 2       |    | 2   | 1       |    | 1   |
| 関東     | 13      | 3  | 16  | 11      | 3  | 14  | 8       | 4  | 12  | 13      | 5  | 18  | 7       | 1  | 8   | 10      | 5  | 15  |
| 茨城県    |         | 1  | 1   | 2       |    | 2   | 1       | 2  | 3   | 2       |    | 2   |         |    |     | 2       | 1  | 3   |
| 栃木県    | 3       |    | 3   |         | 1  | 1   |         |    |     | 5       |    | 5   |         |    |     | 2       | 2  | 4   |
| 群馬県    | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       | 2  | 3   | 2       |    | 2   | 2       |    | 2   |
| 埼玉県    |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |
| 千葉県    | 4       |    | 4   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     | 2       |    | 2   |         |    |     |
| 東京都    | 2       | 2  | 4   | 8       | 1  | 9   | 1       | 1  | 2   | 1       | 2  | 3   |         | 1  | 1   | 1       | 1  | 2   |
| 神奈川県   | 3       |    | 3   |         | 1  | 1   | 3       | 1  | 4   | 3       | 1  | 4   | 2       |    | 2   | 2       | 1  | 3   |
| 北陸・甲信越 | 5       |    | 5   |         | 2  | 2   | 1       | 1  | 2   | 7       | 1  | 8   | 5       | 3  | 8   | 1       | 1  | 2   |
| 新潟県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 3       |    | 3   |         |    |     |         |    |     |
| 富山県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |
| 石川県    | 2       |    | 2   |         | 1  | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         | 1  | 1   |
| 福井県    |         |    |     |         | 1  | 1   |         |    |     | 1       | 1  | 2   | 3       |    | 3   |         |    |     |
| 山梨県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |
| 長野県    | 3       |    | 3   |         |    |     | 1       | 1  | 2   | 1       |    | 1   | 1       | 3  | 4   |         |    |     |
| 東海     | 12      | 3  | 15  | 11      | 2  | 13  | 5       |    | 5   | 10      | 1  | 11  | 17      |    | 17  | 6       | 3  | 9   |
| 岐阜県    | 2       |    | 2   | 3       |    | 3   | 1       |    | 1   | 4       |    | 4   | 4       |    | 4   | 1       |    | 1   |
| 静岡県    | 3       | 1  | 4   | 3       | 1  | 4   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 2       | 1  | 3   |
| 愛知県    | 7       | 2  | 9   | 5       | 1  | 6   | 3       |    | 3   | 5       | 1  | 6   | 11      |    | 11  | 3       | 2  | 5   |
| 近畿     | 18      | 2  | 20  | 13      | 3  | 16  | 14      | 3  | 17  | 5       | 2  | 7   | 14      | 3  | 17  | 11      | 4  | 15  |
| 三重県    | 2       | 1  | 3   | 1       |    | 1   |         | 1  | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       | 1  | 2   |
| 滋賀県    | 3       |    | 3   | 2       | 1  | 3   | 3       |    | 3   | 1       |    | 1   | 3       |    | 3   |         |    |     |
| 京都府    | 1       |    | 1   | 1       | 2  | 3   | 4       |    | 4   | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 2       |    | 2   |
| 大阪府    | 4       |    | 4   | 5       |    | 5   |         | 2  | 2   | 1       | 2  | 3   | 3       | 1  | 4   | 2       |    | 2   |
| 兵庫県    | 7       |    | 7   | 1       |    | 1   | 5       |    | 5   |         |    |     | 4       |    | 4   | 5       | 2  | 7   |
| 奈良県    | 1       |    | 1   | 3       |    | 3   | 2       |    | 2   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |
| 和歌山県   |         | 1  | 1   |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         | 2  | 2   |         | 1  | 1   |
| 中国     | 2       |    | 2   | 3       |    | 3   | 3       | 2  | 5   | 1       | 1  | 2   |         |    | 7   | 2       | 1  | 3   |
| 鳥取県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |
| 島根県    |         |    |     |         |    |     |         | 1  | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |
| 岡山県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 3       |    | 3   | 1       | 1  | 2   |
| 広島県    | 2       |    | 2   | 2       |    | 2   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |
| 山口県    |         |    |     | 1       |    | 1   | 2       | 1  | 3   |         | 1  | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |
| 四国     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       | 1  | 2   | 1       |    | 1   | 2       | 1  | 3   | 2       |    | 2   |
| 徳島県    |         |    |     | 1       |    | 1   |         | 1  | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |
| 香川県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |
| 愛媛県    | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       | 1  | 2   |         |    |     |
| 高知県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 2       |    | 2   |
| 九州・沖縄  | 2       | 1  | 3   | 3       | 1  | 4   | 4       | 1  | 5   | 6       | 1  | 7   | 1       | 1  | 2   | 3       |    | 3   |
| 福岡県    | 1       | 1  | 2   |         |    |     | 1       | 1  | 2   |         | 1  | 1   |         | 1  | 1   |         |    |     |
| 佐賀県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |
| 長崎県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |
| 熊本県    |         |    |     |         | 1  | 1   |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   |
| 大分県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 3       |    | 3   |         |    |     |         |    |     |
| 宮崎県    |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |         |    |     |
| 鹿児島県   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |
| 沖縄県    |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |
| その他    |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 2       |    | 2   | 2       |    | 2   |
| 計      | 195     | 56 | 251 | 193     | 56 | 249 | 178     | 75 | 253 | 210     | 42 | 252 | 208     | 44 | 252 | 211     | 62 | 273 |



| 都道府県   | 2006 年度 |    |     | 2007 年度 |    |     | 2008 年度 |    |     | 2009 年度 |    |     | 2010 年度 |    |     | 総 計   |     |       |
|--------|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|-------|-----|-------|
|        | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男       | 女  | 計   | 男     | 女   | 計     |
| 北海道    | 138     | 32 | 170 | 139     | 36 | 175 | 138     | 36 | 174 | 129     | 28 | 157 | 129     | 31 | 160 | 1,488 | 385 | 1,873 |
| 渡島・檜山  | 29      | 12 | 41  | 25      | 12 | 37  | 21      | 16 | 37  | 33      | 14 | 47  | 34      | 11 | 45  | 313   | 142 | 455   |
| その他    | 109     | 20 | 129 | 114     | 24 | 138 | 117     | 20 | 137 | 96      | 14 | 110 | 95      | 20 | 115 | 1,175 | 243 | 1,418 |
| 東北     | 13      | 1  | 14  | 20      | 8  | 28  | 28      | 6  | 34  | 40      | 7  | 47  | 26      | 14 | 40  | 240   | 83  | 323   |
| 青森県    | 9       |    | 9   | 10      | 6  | 16  | 23      | 5  | 28  | 31      | 4  | 35  | 21      | 12 | 33  | 141   | 57  | 198   |
| 岩手県    | 2       |    | 2   | 2       | 2  | 4   | 3       |    | 3   | 4       | 2  | 6   | 1       | 1  | 2   | 29    | 10  | 39    |
| 宮城県    | 1       |    | 1   | 4       |    | 4   |         |    |     | 2       | 1  | 3   |         |    |     | 27    | 7   | 34    |
| 秋田県    | 1       | 1  | 2   | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 3       |    | 3   |         |    | 2   | 22    | 5   | 27    |
| 山形県    |         |    |     | 3       |    | 3   |         | 1  | 1   |         |    |     | 1       | 1  | 2   | 9     | 2   | 11    |
| 福島県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 12    | 2   | 14    |
| 関東     | 14      | 2  | 16  | 7       | 1  | 8   | 5       | 2  | 7   | 8       | 2  | 10  | 6       | 1  | 7   | 102   | 29  | 131   |
| 茨城県    | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   |         |    |     | 1       |    | 1   | 4       |    | 4   | 15    | 4   | 19    |
| 栃木県    | 5       | 1  | 6   | 4       |    | 4   | 3       |    | 3   | 5       | 1  | 6   |         | 1  | 1   | 27    | 6   | 33    |
| 群馬県    | 3       |    | 3   | 1       |    | 1   |         | 1  | 1   |         |    |     |         |    |     | 11    | 3   | 14    |
| 埼玉県    |         | 1  | 1   |         | 1  | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 5     | 2   | 7     |
| 千葉県    | 1       |    | 1   |         |    |     |         | 1  | 1   | 2       |    | 2   |         |    |     | 11    | 1   | 12    |
| 東京都    | 3       |    | 3   |         |    |     |         |    |     |         | 1  | 1   | 1       |    | 1   | 17    | 9   | 26    |
| 神奈川県   | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   | 16    | 4   | 20    |
| 北陸・甲信越 | 4       |    | 4   | 3       |    | 3   | 1       | 1  | 2   | 4       |    | 4   | 3       |    | 3   | 34    | 9   | 43    |
| 新潟県    | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     | 3       |    | 3   |         |    |     | 8     |     | 8     |
| 富山県    | 2       |    | 2   |         |    |     |         | 1  | 1   |         |    |     |         |    |     | 3     | 1   | 4     |
| 石川県    |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 8     | 2   | 10    |
| 福井県    | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 5     | 2   | 7     |
| 山梨県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 2     |     | 2     |
| 長野県    |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 8     | 4   | 12    |
| 東海     | 9       | 2  | 11  | 8       | 2  | 10  | 12      |    | 12  | 8       | 2  | 10  | 12      | 2  | 14  | 110   | 17  | 127   |
| 岐阜県    | 1       | 1  | 2   | 2       | 1  | 3   | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 2       |    | 2   | 23    | 2   | 25    |
| 静岡県    | 4       |    | 4   | 1       |    | 1   | 3       |    | 3   | 3       | 2  | 5   | 3       |    | 3   | 26    | 5   | 31    |
| 愛知県    | 4       | 1  | 5   | 5       | 1  | 6   | 8       |    | 8   | 3       |    | 3   | 7       | 2  | 9   | 61    | 10  | 71    |
| 近畿     | 13      | 2  | 15  | 14      | 1  | 15  | 8       | 1  | 9   | 5       | 2  | 7   | 11      | 3  | 14  | 126   | 26  | 152   |
| 三重県    |         |    |     | 2       |    | 2   |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 8     | 3   | 11    |
| 滋賀県    | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 14    | 1   | 15    |
| 京都府    | 4       |    | 4   | 5       |    | 5   | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 3       |    | 3   | 26    | 2   | 28    |
| 大阪府    | 4       | 1  | 5   | 2       | 1  | 3   | 2       | 1  | 3   | 1       |    | 1   | 5       |    | 5   | 29    | 8   | 37    |
| 兵庫県    | 1       |    | 1   | 5       |    | 5   | 4       |    | 4   | 1       | 2  | 3   | 3       | 2  | 5   | 36    | 6   | 42    |
| 奈良県    | 1       | 1  | 2   |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 10    | 1   | 11    |
| 和歌山県   | 2       |    | 2   |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         | 1  | 1   | 3     | 5   | 8     |
| 中国     | 3       | 1  | 4   | 3       |    | 3   | 1       |    | 1   | 3       |    | 3   | 2       | 2  | 4   | 30    | 7   | 37    |
| 鳥取県    |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 2     |     | 2     |
| 島根県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 2     | 1   | 3     |
| 岡山県    | 2       | 1  | 3   |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   | 8     | 2   | 10    |
| 広島県    |         |    |     | 2       |    | 2   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         | 2  | 2   | 12    | 2   | 14    |
| 山口県    | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 6     | 2   | 8     |
| 四国     | 1       | 1  | 2   | 1       |    | 1   | 2       |    | 2   | 2       |    | 2   |         |    |     | 14    | 3   | 17    |
| 徳島県    |         | 1  | 1   | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     | 5     | 2   | 7     |
| 香川県    | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     | 3     |     | 3     |
| 愛媛県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 4     | 1   | 5     |
| 高知県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 2     |     | 2     |
| 九州・沖縄  | 5       |    | 5   | 1       | 1  | 2   | 4       |    | 4   | 2       | 1  | 3   | 7       | 1  | 8   | 38    | 8   | 46    |
| 福岡県    | 2       |    | 2   |         |    |     | 2       |    | 2   | 1       |    | 1   |         |    |     | 7     | 4   | 11    |
| 佐賀県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 2       |    | 2   | 3     |     | 3     |
| 長崎県    | 1       |    | 1   |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 2       |    | 2   | 4     |     | 4     |
| 熊本県    | 2       |    | 2   |         | 1  | 1   | 1       |    | 1   | 1       | 1  | 2   |         |    |     | 7     | 3   | 10    |
| 大分県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 3     |     | 3     |
| 宮崎県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 3     |     | 3     |
| 鹿児島県   |         |    |     | 1       |    | 1   | 1       |    | 1   |         |    |     | 1       | 1  | 2   | 7     | 1   | 8     |
| 沖縄県    |         |    |     |         |    |     |         |    |     |         |    |     | 1       |    | 1   | 4     |     | 4     |
| その他    |         |    |     | 2       |    | 2   |         |    |     | 1       |    | 1   |         |    |     | 8     |     | 8     |
| 計      | 200     | 41 | 241 | 198     | 49 | 247 | 199     | 46 | 245 | 202     | 42 | 244 | 196     | 54 | 250 | 2,190 | 567 | 2,757 |

## (3) 2010 年度(平成 22 年度) 地方別志願者・受験者・合格者・入学者の割合



## (4) 卒業生の進路状況

| 区 分            | 卒業生数<br>(3 月卒業) | 民間企業就職者       |             | 大学院進学者    |          | その他      |    |
|----------------|-----------------|---------------|-------------|-----------|----------|----------|----|
|                |                 | 希望者数 (割合)     | 就職者数<br>就職率 | 人数<br>割合  | 割合       | 人数<br>割合 | 割合 |
| 2003 年度 (1 期生) | 211             | 131 (62.1%)   | 128 97.7%   | 47 22.3%  | 33 15.6% |          |    |
| 2004 年度 (2 期生) | 194             | 134 (69.1%)   | 133 99.3%   | 36 18.6%  | 24 12.4% |          |    |
| 2005 年度 (3 期生) | 233             | 189 (81.1%)   | 188 99.5%   | 24 10.3%  | 20 8.6%  |          |    |
| 2006 年度 (4 期生) | 232             | 174 (75.0%)   | 173 99.4%   | 44 19.0%  | 14 6.0%  |          |    |
| 2007 年度 (5 期生) | 214             | 154 (72.0%)   | 153 99.4%   | 49 22.9%  | 11 5.1%  |          |    |
| 2008 年度 (6 期生) | 230             | 159 (69.1%)   | 158 99.4%   | 61 26.5%  | 10 4.3%  |          |    |
| 2009 年度 (7 期生) | 208             | 117 (56.3%)   | 116 99.1%   | 62 29.8%  | 29 13.9% |          |    |
| 合 計            | 1,522           | 1,058 (69.5%) | 1,049 99.1% | 323 21.2% | 141 9.3% |          |    |

※ 1 割合は各々卒業生数に対する割合

※ 2 専門学校進学者および公務員希望者はその他に含む

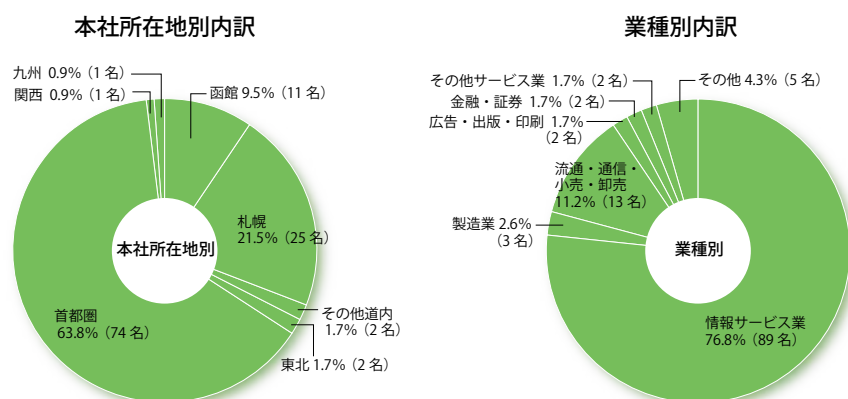
## ① 民間企業就職者の状況／本社所在地別内訳

| 期    | 総数    | 函館          | 札幌           | その他道内      | 東北         | 首都圏          | 中部         | 北陸        | 関西         | 中国        | 四国        | 九州        |
|------|-------|-------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 期生 | 128   | 21<br>16.4% | 25<br>19.5%  |            | 3<br>2.3%  | 67<br>52.3%  | 4<br>3.1%  | 1<br>0.8% | 5<br>3.9%  |           |           | 2<br>1.6% |
| 2 期生 | 133   | 16<br>12.0% | 23<br>17.3%  | 3<br>2.3%  | 3<br>2.3%  | 75<br>56.4%  | 6<br>4.5%  | 1<br>0.8% | 5<br>3.8%  |           |           | 1<br>0.8% |
| 3 期生 | 188   | 16<br>8.5%  | 31<br>16.5%  | 2<br>1.1%  | 3<br>1.6%  | 123<br>65.4% | 7<br>3.7%  |           | 4<br>2.1%  |           | 2<br>1.1% |           |
| 4 期生 | 173   | 6<br>3.5%   | 38<br>22.0%  | 3<br>1.7%  | 3<br>1.7%  | 110<br>63.6% | 5<br>2.9%  | 2<br>1.2% | 5<br>2.9%  |           |           | 1<br>0.6% |
| 5 期生 | 153   | 8<br>5.2%   | 24<br>15.7%  | 5<br>3.3%  | 3<br>2.0%  | 101<br>66.0% | 5<br>3.3%  | 1<br>0.7% | 4<br>2.6%  | 2<br>1.3% |           |           |
| 6 期生 | 158   | 8<br>5.1%   | 31<br>19.6%  | 5<br>3.2%  | 2<br>1.3%  | 103<br>65.2% | 4<br>2.5%  |           | 5<br>3.2%  |           |           |           |
| 7 期生 | 116   | 11<br>9.5%  | 25<br>21.5%  | 2<br>1.7%  | 2<br>1.7%  | 74<br>63.8%  |            |           | 1<br>0.9%  |           |           | 1<br>0.9% |
| 合計   | 1,049 | 86<br>8.2%  | 197<br>18.8% | 20<br>1.9% | 19<br>1.8% | 653<br>62.2% | 31<br>3.0% | 5<br>0.5% | 29<br>2.8% | 2<br>0.2% | 2<br>0.2% | 5<br>0.5% |

## ②民間企業就職者の状況／業種別内訳

| 期   | 総数    | 情報サービス業      | 製造業          | 流通・通信・小売・卸売 | 出版・印刷      | マスコミ・放送・広告 | 金融・証券      | その他サービス業    | その他        |
|-----|-------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|
| 1期生 | 128   | 68<br>53.1%  | 15<br>11.7%  | 5<br>3.9%   | 5<br>3.9%  | 3<br>2.3%  | 3<br>2.3%  | 17<br>13.3% | 12<br>9.4% |
| 2期生 | 133   | 85<br>63.9%  | 13<br>9.8%   | 12<br>9.0%  | 4<br>3.0%  | 2<br>1.5%  | 2<br>1.5%  | 7<br>5.3%   | 8<br>6.0%  |
| 3期生 | 188   | 124<br>66.0% | 20<br>10.6%  | 18<br>9.6%  | 2<br>1.1%  | 2<br>1.1%  | 3<br>1.6%  | 8<br>4.3%   | 11<br>5.9% |
| 4期生 | 173   | 115<br>66.5% | 26<br>15.0%  | 11<br>6.4%  | 7<br>4.0%  |            | 1<br>0.6%  | 9<br>5.2%   | 4<br>2.3%  |
| 5期生 | 153   | 101<br>66.0% | 19<br>12.4%  | 8<br>5.2%   | 8<br>5.2%  |            |            | 11<br>7.2%  | 6<br>3.9%  |
| 6期生 | 158   | 108<br>68.4% | 15<br>9.5%   | 10<br>6.3%  | 3<br>1.9%  | 4<br>2.5%  | 2<br>1.3%  | 10<br>6.3%  | 6<br>3.8%  |
| 7期生 | 116   | 89<br>76.8%  | 3<br>2.6%    | 13<br>11.2% | 2<br>1.7%  |            | 2<br>1.7%  | 2<br>1.7%   | 5<br>4.3%  |
| 合計  | 1,049 | 690<br>65.8% | 111<br>10.6% | 77<br>7.3%  | 31<br>3.0% | 11<br>1.0% | 13<br>1.2% | 64<br>6.1%  | 52<br>5.0% |

### 2010年(平成22年)3月卒業生の進路状況



## ③学部卒業生の主な民間企業就職先一覧 (2007～2009年度)

### ●北海道内企業

i D, アジェンダ, インフォテクノ, エイ・ダブリュ・ソフトウェア, HBA, エイチ・アイ・ディ, エスイーシー, NEC ソフトウェア北海道, 渡島信用金庫, サッポロドラッグストア, JR 北海道, つうけん, つうけんアドバンスシステムズ, ニトリ, ニトリパブリック, 函館中央病院, 富士ゼロックス北海道, 富士通北海道システムズ, ホクレン農業協同組合連合会, 北海道 NS ソリューションズ, 北海道日立情報システムズ, ムトウ, モロオ ほか

### ●北海道外企業

味の素システムテクノ, ALSOK, アルパイン, 内田洋行, ANA コミュニケーションズ, NEC ソフト, NEC 通信システム, NTT データ,

オリンパス, オリンパスイメージング, 鹿島建設, カネボウ化粧品, キヤノン, 近畿日本鉄道, 小糸工業, コニカミノルタテクノロジーセンター, コベルコシステム, サミー, JR 東日本, 新日鉄ソリューションズ, セイコーエプソン, セガ, セコム, ゼブラ, ソニーイーエムシーエス, 第一興商, 第一生命情報システム, 都築電気, デンソーテクノ, トヨタテクニカルディベロップメント, 東京海上日動システムズ, 東芝テック, 日鉄日立システムエンジニアリング, 博報堂アイ・スタジオ, 日立公共システムエンジニアリング, 日立製作所, 日立ソリューションズ, 富士通, 富士電機機器制御, 富士電機リテイルシステムズ, みずほ情報総研, 三菱電機エンジニアリング, 三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー, 明治安田システム・テクノロジー, ヤフー, リコー ほか

## ④大学院への進学状況

### ●国公立大学

公立はこだて未来大学大学院, 北海道大学大学院, お茶の水女子大学大学院, 大阪府立大学大学院, 金沢大学大学院, 九州大学大学院, 京都大学大学院, 埼玉大学大学院, 千葉大学大学院, 筑波大学大学院, 電気通信大学大学院, 名古屋大学大学院, 奈

良先端科学技術大学院大学, 北陸先端科学技術大学院大学

### ●私立大学

慶應義塾大学大学院, 情報セキュリティ大学院大学

## (5) 入学試験制度の変遷

| 全体   |                                                                                                            |                                                                           |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2000 | 募集人員                                                                                                       |                                                                           | 2002                                                                                                                                                                               | 募集人員の変更 (推薦, 前期)                                                                                                                          |
|      | AO 推薦 前期 後期 合計                                                                                             |                                                                           | 2003                                                                                                                                                                               | AO 推薦 前期 後期 合計                                                                                                                            |
|      | 複雑 — 24 40 16 80                                                                                           |                                                                           | 2004                                                                                                                                                                               | 複雑 4 16 45 15 80                                                                                                                          |
|      | 情ア — 48 80 32 160                                                                                          |                                                                           | 2005                                                                                                                                                                               | 情ア 8 32 90 30 160                                                                                                                         |
|      | 合計 — 72 120 48 240                                                                                         |                                                                           |                                                                                                                                                                                    | 合計 12 48 135 45 240                                                                                                                       |
| 2001 | 募集人員の変更 (AO, 推薦)                                                                                           |                                                                           | 2006                                                                                                                                                                               | 学部一括入試 (2年進級時に各学科へ配属)<br>各入試の募集人員は2002年度と同様                                                                                               |
|      | AO 推薦 前期 後期 合計                                                                                             |                                                                           |                                                                                                                                                                                    | AO 推薦 前期 後期 合計                                                                                                                            |
|      | 複雑 4 20 40 16 80                                                                                           |                                                                           |                                                                                                                                                                                    | 学部 12 48 135 45 240                                                                                                                       |
|      | 情ア 8 40 80 32 160                                                                                          |                                                                           |                                                                                                                                                                                    | 高校新課程履修者の入学開始                                                                                                                             |
|      | 合計 12 60 120 48 240                                                                                        |                                                                           | 2007                                                                                                                                                                               | 募集人員の変更 (前期以外)                                                                                                                            |
|      |                                                                                                            |                                                                           | 2008                                                                                                                                                                               | AO 推薦 前期 後期 合計                                                                                                                            |
|      |                                                                                                            |                                                                           | 2009                                                                                                                                                                               | 学部 20 60 135 25 240                                                                                                                       |
|      |                                                                                                            |                                                                           | 2010                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                           |
| 年度   | AO                                                                                                         | 推薦                                                                        | 一般前期                                                                                                                                                                               | 一般後期                                                                                                                                      |
| 2000 | 実施なし                                                                                                       | 出願資格：北海道および青森地域広域事務組合構成体内の高等学校<br>試験科目：小論文、面接<br>試験日数：1日                  | 試験科目等<br>・ センター試験：課さない<br>・ 個別学力検査：数学、英語、選択（数学、物理、生物、デザイン実技、科学一般から1科目）<br>・ 配点：300点（各100）<br>・ 時間：各90分                                                                             | 試験科目等<br>・ センター試験：課さない<br>・ 個別学力検査：数学、英語、選択（デザイン実技、小論文から1科目）<br>・ 配点：350点（数100、英100、選150）<br>・ 時間：数90分、英90分、選120分                         |
| 2001 | 選抜方法<br>・ 第一次選考：書類審査（ビデオまたは小論文、志望理由書等）<br>・ 第二次選考：面接<br>・ 試験日数：1日                                          |                                                                           | 試験科目等<br>・ センター試験[2教科3科目]：数学①（数学Ⅰ・Ⅱ）、数学②（数学Ⅱ・Ⅲ）、英語<br>・ 個別学力検査：「科学一般」が「小論文（科学一般）」へ名称変更<br>・ 配点：セ試：300点（各100）<br>個別：600点（各200）<br>・ 時間：各90分                                         | 試験科目等<br>・ センター試験[2教科3科目]：数学①（数学Ⅰ・Ⅱ）、数学②（数学Ⅱ・Ⅲ）、英語<br>・ 個別学力検査：2000年度と同様<br>・ 配点：セ試：300点（各100）<br>個別：600点（各200）<br>・ 時間：各90分              |
| 2002 | 選抜方法<br>・ 第一次選考：2001年度と同様<br>・ 第二次選考：基礎学力検査（数学、英語）、面接<br>試験日：2日に変更                                         | 試験科目等<br>・ 基礎学力検査（数学、英語）<br>・ 面接                                          |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |
| 2003 |                                                                                                            | 試験日数：2日に変更                                                                |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |
| 2004 |                                                                                                            |                                                                           |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |
| 2005 | 選抜方法<br>・ 第一次選考：書類審査（ビデオ（小論文廃止））<br>・ 第二次選考：2002年度と同様                                                      |                                                                           | 試験科目等<br>・ 「小論文（科学一般）」が「科学一般」へ名称変更                                                                                                                                                 |                                                                                                                                           |
| 2006 |                                                                                                            | 出願資格：北海道および青森県内の高等学校へ拡大                                                   | 試験科目等<br>・ センター試験：英語（リスニングを課す）                                                                                                                                                     | 試験科目等<br>・ センター試験：英語（リスニングを課す）                                                                                                            |
| 2007 |                                                                                                            |                                                                           | 試験科目等<br>・ 個別学力検査：「科学一般」の廃止                                                                                                                                                        | 試験科目等<br>・ 個別学力検査を課さない                                                                                                                    |
| 2008 |                                                                                                            |                                                                           |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |
| 2009 | 選抜方法<br>・ 志願者多数の場合、第一次選考実施<br>・ 基礎学力検査：英語、選択（数学、情報科学、デザインから1科目）<br>・ 面接：自己推薦資料（ビデオ資料またはプレゼンテーション資料）の説明等を含む |                                                                           | 試験科目等<br>・ センター試験[4教科5科目]：国語（近代以降の文章のみ）、数学①（数学Ⅰ・Ⅱ）、数学②（数学Ⅱ・Ⅲまたは情報関係基礎から1科目）、理科（物理、化学、生物、地から1科目）、英語<br>・ 個別学力検査：数学、英語<br>・ 配点：セ試：300点（各60）<br>個別：500点（数300、英200）<br>・ 時間：数120分、英90分 | 試験科目等<br>・ センター試験[4教科5科目]：国語（近代以降の文章のみ）、数学①（数学Ⅰ・Ⅱ）、数学②（数学Ⅱ・Ⅲまたは情報関係基礎から1科目）、理科（物理、化学、生物、地から1科目）、英語<br>・ 個別学力検査を課さない<br>・ 配点：セ試：500点（各100） |
| 2010 |                                                                                                            | 推薦入試の3区分化（指定校、全国枠を追加）<br>指定校 地域枠 全国枠 合計<br>学部 10 45 5 60<br>地域枠：北海道および青森県 |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                           |

## (6) プロジェクト学習\* のテーマ一覧 (\* 正式名称：システム情報科学実習)

## 2002 年度 (平成 14 年度)

- 1 自律移動ロボットの開発  
(担当教員：大澤英一, 三上貞芳, 秋田純一)
- 2 生体信号を利用したゲームの開発  
(担当教員：塚原保夫, 櫻沢繁, 沼田寛)
- 3 日本の製品を北米で売るためのインターネットストア  
(担当教員：岡本誠, 美馬のゆり, 小西修)
- 4 函館病院に於ける, コミュニケーションシステムの評価  
(担当教員：宮本衛市, 岩田州夫)
- 5 JAVA 応用技術を用いたソリューションビジネス技術と専門知識の獲得  
(担当教員：鈴木恵二, 伊藤恵, 齊藤朝輝)
- 6 教育と企業におけるコミュニケーションデザインの開発プロジェクト  
(担当教員：ロバート・セベリイ, 戸田真志, 刑部育子, 柳英克)
- 7 道南圏経済モデリング及び実態調査  
(担当教員：川越敏司, 小野瞭, 鈴木克也)
- 8 プロジェクト操作卓 UI 改善プロジェクト  
(担当教員：美馬義亮, 八木大彦)
- 9 XML 援用協調文書作成システムの作成 (システム), およびそれを用いた C&D 教室使用方法に関する日英 FAQ の作成 (コンテンツ) プロジェクト  
(担当教員：宮西洋太郎, ラリー・デービス)
- 10 熱伝導の微分方程式をめぐって  
(担当教員：上見練太郎, 小西啓治)
- 11 非線形現象の可視化表現の開発  
(担当教員：上田皖亮, 石井宏一)
- 12 恒星や惑星からの電波信号の解析  
(担当教員：ウラジミール・リヤボフ, 長谷川義孝)
- 13 ネットワーク上での音声信号処理  
(担当教員：三木信弘, 高橋信行)
- 14 携帯端末における「気持ち」を伝えるインタフェースの提案と開発  
(担当教員：山本敏雄, 鈴木昭二)
- 15 公立はこだて未来大学の訪問者へのモバイル・ガイド  
(担当教員：イアン・フランク, 小野哲雄, 伊藤精英)
- 17 ミステリアスブースとトークング PC—学内のマルチメディアコミュニケーション環境の構築—  
(担当教員：川嶋稔夫, 長崎健, リアン・ラムゼイ)
- 18 心を科学する  
(担当教員：松原仁, 積山薫)
- 19 風の道を探す  
(担当教員：ヒレル・ワイントラウブ, 三浦守, 木村健一)

## 2003 年度 (平成 15 年度)

- 1 高品質ビジネスソフトウェアのプロジェクト型開発手法の実践  
(担当教員：鈴木恵二, 伊藤恵, 齊藤朝輝, 横山美紀)
- 2 ウェブベースの作業工程管理システムの開発  
(担当教員：鈴木昭二, 小西修, 新美礼彦)
- 3 学生向けキャンパスライフ支援 Web システムの開発  
(担当教員：宮本衛市, 小西啓治)
- 4 ネットに使われている音声信号処理を理解する  
(担当教員：三木信弘, 高橋信行)
- 5 ビジネス・ゲームの開発を通じたビジネス・モデルと企業情報システムの学習  
(担当教員：宮西洋太郎, 川越敏司, 迎山和司)
- 6 小学生を対象としたエデュテイメントソフトウェア開発  
(担当教員：戸田真志, 刑部育子)
- 7 エンタテインメントコンピューティング  
(担当教員：松原仁, 柳英克)
- 8 ゲームのデザイン  
(担当教員：イアン・フランク, 岡本誠, 伊藤精英)
- 9 自律ロボットの開発  
(担当教員：大澤英一, 加藤浩仁)
- 10 自然環境に組み込まれたコンピュータネットワークの設計—センシングとインタラクション—  
(担当教員：川嶋稔夫, 山本敏雄)
- 11 生体信号を利用したゲームの開発  
(担当教員：塚原保夫, 櫻沢繁)
- 12 非線形現象の可視化表現の開発  
(担当教員：上田皖亮, 石井宏一)
- 13 Fourier 級数とその熱波動方程式への応用  
(担当教員：上見練太郎, 齊藤郁夫)
- 14 大規模病院における患者と病院の新しいコミュニケーションシステムの提案  
(担当教員：岩田州夫, 八木大彦)
- 15 函館市内のバス利用改善案を考える  
(担当教員：山崎晶子, 前川禎男)
- 16 「風の道を探る」：風力発電をテーマの重点においたグループ  
(担当教員：三浦守)
- 17 「風の道を探る」：地域環境の観測とその可視化に重点をおいたグループ  
(担当教員：木村健一, 秋田純一)
- 18 Visual Basic プログラミングを用いた心理実験  
(担当教員：積山薫, ウラジミール・リヤボフ)
- 19 自給のレストランを作る (Growing a Self-Sustaining Restaurant)  
(担当教員：リアン・ラムゼイ, 三上貞芳, 沼田寛)
- 20 道南圏経済モデリング調査  
(担当教員：小野瞭, 鈴木克也)



## 2004 年度（平成 16 年度）

- 1 ヴァーチャル音響録音システムの開発  
(担当教員：三木信弘，高橋信行)
- 2 心を科学する  
(担当教員：積山薫，花田光彦)
- 3 宇宙の神秘を探る  
(担当教員：齊藤郁夫，ウラジミール・リヤボフ，川口聡)
- 4 小型人工衛星の設計・製作と打ち上げ・運用  
(担当教員：大澤英一，加藤浩二)
- 5 大規模病院に於ける，患者と病院とのコミュニケーションシステム：パート3  
(担当教員：岩田州夫，八木大彦，山本敏雄)
- 6 道南圏経済社会の活性化のための基礎的研究  
(担当教員：鈴木克也，小野暁)
- 7 エンタテインメントコンピューティング  
(担当教員：松原仁，小野哲雄)
- 8 学内情報化プロジェクト (担当教員：三上貞芳)
- 9 地域密着型エンターティメントを題材とした Web データベースのデザインと開発  
(担当教員：鈴木昭二，小西修，新美礼彦)
- 10 高校と大学における数学の違いとその教育を考える  
(担当教員：上見練太郎，高村博之)
- 11 小学生を対象としたエデュテインメントソフトウェアとそれを用いた教育カリキュラム開発  
(担当教員：刑部育子，戸田真志)
- 12 ユーザ視点でのソフトウェア仕様策定とその効果  
(担当教員：伊藤恵，横山美紀)
- 13 『使われる』ソフトウェアの開発  
(担当教員：鈴木恵二，齊藤朝輝)
- 14 ネットワーク防災システムの構築  
(担当教員：木村健一，美馬義亮)
- 15 松井はどのようにして 100 マイルの速球を打てたか？  
(担当教員：塚原保夫，櫻沢繁)
- 16 Life after College Graduation: What are our Choices?  
(担当教員：ヒレル・ワイントラウブ，デーヴィット・ライト)
- 17 Virtual Wardrobe, as part of "My Life" Project  
(担当教員：イアン・フランク)
- 18 自然環境に組み込まれたコンピュータネットワークの設計 (PartII 海洋編) —センシングとインタラクション—  
(担当教員：川嶋稔夫，岡本誠)
- 19 アドホックネットワークを用いた新しい授業形態の提案・システムの開発  
(担当教員：宮本衛市，高橋修)
- 20 都市と漁村 (担当教員：長野章，三浦守)
- 21 大学の情報システムの改良について  
(担当教員：長崎健，伊藤精英)
- 22 驚きと発見の外国語学習  
(担当教員：川越敏司，沼田寛)
- 23 非線形現象の可視化表現  
(担当教員：上田皖亮)

## 2005 年度（平成 17 年度）

- 1 FUN-based Future Films and Globally Distributed Television Program Prototype  
(担当教員：デーヴィット・ライト，岡本誠)
- 2 FUN in the Real World 現実世界の中の未来大学 (FUN)  
(担当教員：イアン・フランク，マルコム・フィールド，沼田寛)
- 3 学生のための学内情報サービスの開発  
(担当教員：三上貞芳，齊藤朝輝)
- 4 木星からの電波信号解析  
(担当教員：齊藤郁夫，ウラジミール・リヤボフ)
- 5 Zope と Plone を利用したグループワークによる Web コンテンツの作成と運用  
(担当教員：鈴木昭二，奥野拓)
- 6 高校数学の問題点と大学数学の教育を考える  
(担当教員：高村博之，上見練太郎，上野嘉夫)
- 7 デジタル画像を用いたエデュテインメントシステムの製作プロジェクト  
(担当教員：戸田真志，柳英克，山崎晶子，寺沢秀雄)
- 8 UI 仕様書に基づくソフトウェア開発とその効果  
(担当教員：伊藤恵，八木大彦，伊藤（横山）美紀，山本敏雄)
- 9 感性の探索 (担当教員：積山薫，花田光彦)
- 10 地域医療のためのコミュニケーションシステム構築プロジェクト  
(担当教員：岩田州夫，美馬義亮)
- 11 モバイル環境における Web アプリケーションの開発  
(担当教員：高橋修，宮本衛市，小西修，新美礼彦，高木剛)
- 12 生涯学習を支援する放送大学学習センター・サテライトスペース—未来大学と放送大学との連携可能性に関する調査研究—  
(担当教員：三浦守，川越敏司)
- 13 バーチャル音空間を創る (担当教員：三木信弘，高橋信行)
- 14 観光情報システム (担当教員：松原仁，小野哲雄)
- 15 ギガピクセルフォト作成プロジェクト—函館の風景を一枚の巨大画像にデジタル化する—  
(担当教員：川嶋稔夫，ピトヨ・ハルトノ)
- 16 超小型人工衛星の設計・製作と打ち上げ・運用  
(担当教員：大澤英一，加藤浩二，和田雅昭)
- 17 渋井陽子はいかにして女子マラソン日本最高記録をベルリンで出したのか？  
(担当教員：塚原保夫，櫻沢繁，川口聡)
- 18 函館ルミナート  
(担当教員：木村健一，伊藤精英，迎山和司，アドバイザー：秋田純一（金沢大学）)
- 19 道南経済社会の活性化のための基礎研究  
(担当教員：鈴木克也，小野暁)
- 20 市町村合併と水産業 (担当教員：長野章)
- 21 モノを動かすソフトウェア—組み込みシステム開発技術の習得と応用  
(担当教員：鈴木恵二，長崎健)
- 22 非線形現象の可視化表現  
(担当教員：上田皖亮，由良文孝)

## 2006 年度（平成 18 年度）

- 1 役に立つビジネス・ゲームの提案と開発  
（担当教員：川越敏司，鈴木恵二）
- 2 情報デザイン的手法を用いた地域医療システムの構築  
（担当教員：岩田州夫，美馬義亮）
- 3 都市と漁村（担当教員：長野章）
- 4 『使い物になる』ソフトウェアの開発  
（担当教員：伊藤恵，八木大彦，伊藤（横山）美紀）
- 5 超小型人工衛星の設計・製作と打ち上げ・運用  
（担当教員：大澤英一，加藤浩仁，和田雅昭）
- 6 函館ルミナート（担当教員：木村健一，伊藤精英，迎山和司，アドバイザー：秋田純一（金沢大学），森脇裕之（多摩美術大学））
- 7 小中学生を対象とするロボティクス技術教育開発  
（担当教員：ピトヨ・ハルトノ，沼田寛）
- 8 高校から大学への数学教育の接続を考える  
（担当教員：高村博之，上見練太郎，上野嘉夫）
- 9 非線形現象の可視化表現  
（担当教員：由良文孝，上田皖亮）
- 10 函館バスを再生するための「ハコバス新メディア」作戦  
（担当教員：山本敏雄，山崎晶子，花田光彦）
- 11 Catching radio signals from Sun and Jupiter  
（担当教員：ウラジミール・リヤボフ，齊藤郁夫）
- 12 ロボットイベント企画コンテンツ制作運営プロジェクト  
（担当教員：松原仁，片桐恭弘）
- 13 モノを動かすソフトウェア - 組み込みシステム開発技術の習得と応用（担当教員：鈴木恵二，長崎健）
- 14 Creative City, Future Films  
（担当教員：デーヴィット・ライト，岡本誠）
- 15 セキュリティパラダイムの革命—ペアリング暗号—  
（担当教員：高木剛，宮本衛市，小西修）
- 16 複数の携帯電話キャリアを融合する新世代アプリケーションの開発（担当教員：高橋修，新美礼彦）
- 17 道南経済社会の活性化のための基礎研究  
（担当教員：鈴木克也，小野瞭）
- 18 室内音響空間のモデル化と立体音響システムの構築  
（担当教員：三木信弘，高橋信行）
- 19 コンテンツマネジメントシステムを利用した Web アプリケーションサーバの構築  
（担当教員：鈴木昭二，奥野拓）
- 20 マルチプロジェクション—超—モザイクディスプレイ  
（担当教員：川嶋稔夫，戸田真志，松山克胤）
- 21 Real-world Creative Thinking 現実世界における創造的思考  
（担当教員：イアン・フランク，マルコム・フィールド）
- 22 デジタル画像を用いたエデュテインメントシステムの製作プロジェクト（担当教員：戸田真志，柳英克）
- 23 植物と動物のコミュニケーションインターフェイスの開発  
（担当教員：櫻沢繁，塚原保夫，川口聡）
- 24 サイバーフィッシュリープロジェクト（水産物の流通等を支援する IT システムの開発）  
（担当教員：三上貞芳，齊藤朝輝）
- 25 「さわれる！」ソーシャルネット：未来流コミュニティシステム提案（担当教員：寺沢秀雄，小野哲雄，南部美砂子）

## 2007 年度（平成 19 年度）

- 1 セキュリティパラダイムの革命—ペアリング暗号—  
（担当教員：高木剛，宮本衛市，小西修）
- 2 道南経済社会の活性化のための基礎調査  
（担当教員：鈴木克也，小野瞭，川越敏司）
- 3 Catching radio signals from Sun and Jupiter  
（担当教員：ウラジミール・リヤボフ，村重淳）
- 4 都市と漁村（担当教員：長野章，三浦守）
- 5 函館観光用ロボット制作運営プロジェクト  
（担当教員：松原仁，柳英克）
- 6 CanSat 人工衛星の製作と運用  
（担当教員：大澤英一，和田雅昭，加藤浩仁）
- 7 大学生の食生活改善のための教材開発  
（担当教員：美馬のゆり，木村健一）
- 8 ソラリス・プロジェクト（担当教員：齊藤郁夫，ホセ・ナチュル）
- 9 使い物になるソフトウェア開発プロジェクト  
（担当教員：伊藤恵，南部美砂子，伊藤（横山）美紀）
- 10 実践！サイト構築のプロセス—SNS 型授業情報サイトの実現  
（担当教員：奥野拓，鈴木昭二，寺沢秀雄）
- 11 スーパースケールプリンタ  
（担当教員：迎山和司，美馬義亮）
- 12 インタラクティブ広告の試作と評価  
（担当教員：山本敏雄，山崎晶子）
- 13 各携帯電話キャリアの特性を生かしたケータイアプリの提案と開発（担当教員：高橋修，新美礼彦）
- 14 心理学のための学習教材，ツールの作成  
（担当教員：花田光彦，中田隆行）
- 15 大学の数学やその教育をデザインする  
（担当教員：高村博之，上見練太郎，上野嘉夫，川口聡）
- 16 モノを動かすソフトウェア—組み込みシステム開発技術の習得と応用（担当教員：鈴木恵二，長崎健）
- 17 Perception Design 知覚デザイン  
（担当教員：岡本誠，小野哲雄，伊藤精英，櫻沢繁，ピトヨ・ハルトノ）
- 18 3D Cubic System—3D マルチカメラと 3D グラフィックスを用いた 3D マルチプロジェクトによるリアリティ通信環境  
（担当教員：川嶋稔夫，戸田真志，光藤雄一）
- 19 医療現場における患者を中心とした情報環境構築—患者と患者を支える人との社会コミュニケーションシステムの開発  
（担当教員：岩田州夫，姜南圭）
- 20 小学生を対象としたエデュテインメントシステムの開発プロジェクト  
（担当教員：戸田真志，片桐恭弘）
- 21 新サイバーフィッシュリープロジェクト（水産物の流通等を支援する IT システムの開発と改善）  
（担当教員：三上貞芳，齊藤朝輝）
- 22 音声合成システムとバーチャル音空間の構築  
（担当教員：三木信弘，高橋信行）

## 2008 年度（平成 20 年度）

- 1 セキュリティパラダイムの革命—ペアリング暗号—  
（担当教員：高木剛，宮本衛市，小西修）
- 2 知覚デザイン（担当教員：岡本誠，小野哲雄，伊藤精英，ビトヨ・ハルトノ）
- 3 音声合成システムの構築（担当教員：三木信弘，高橋信行）
- 4 拡張現実インタフェースプロジェクト  
（担当教員：ビトヨ・ハルトノ，加藤浩仁，三浦守）
- 5 コンペティション方式による携帯電話キャリアを意識せずとも使えるケータイサービスの提案と開発  
（担当教員：高橋修，新美礼彦）
- 6 Digital system for catching radio signals from Jupiter  
（担当教員：ウラジミール・リヤボフ，村重淳，櫻沢繁）
- 7 インタラクティブ広告システムの改良試作と評価  
（担当教員：山本敏雄，美馬義亮）
- 8 ソラリス・プロジェクトⅡ（担当教員：齊藤郁夫，ホセ・ナチュエル，松山克胤）
- 9 マルチユニット仮想生物ロボットの開発  
（担当教員：大澤英一，和田雅昭，加藤浩仁）
- 10 表現豊かな歌唱・発話の支援—認知科学とコンピューター・サイエンスの融合  
（担当教員：中田隆行，花田光彦）
- 11 使い物になる Web サイト構築：デザイン×プログラミング  
（担当教員：伊藤恵，奥野拓，鈴木昭二，寺沢秀雄）
- 12 食のリテラシー「生産者と消費者をつなぐ食の情報システムの開発」  
（担当教員：三上貞芳，齊藤朝輝，美馬のゆり）
- 13 数学の世界を探検する  
（担当教員：高村博之，上野嘉夫，川口聡）
- 14 医療のための環境再構築プロジェクト  
（担当教員：美馬義亮，南部美砂子，姜南圭，岩田州夫）
- 15 モノを動かすソフトウェア-組み込みシステム開発技術の習得と応用  
（担当教員：長崎健，佐藤仁樹，戸田真志，光藤雄一）
- 16 小学生を対象としたエデュテインメントシステムの製作プロジェクト  
（担当教員：戸田真志，由良文孝）
- 17 函館ルミナート—R（アール）  
（担当教員：迎山和司，木村健一）
- 18 函館観光用ロボット制作運営プロジェクト  
（担当教員：松原仁，片桐恭弘）
- 19 浮遊感や没入感を誘発する情報メディア—インタラクティブフロアディスプレイ—  
（担当教員：川嶋稔夫，柳英克，松山克胤）
- 20 道南経済活性化の基礎調査  
（担当教員：鈴木克也，小野暁，川越敏司）
- 21 FUTURE-ZINE: A Futures-Oriented Virtual 'Magazine'  
（担当教員：デーヴィット・ライト，マイケル・ヴァランス）

## 2009 年度（平成 21 年度）

- 1 インターネットの安全性を検証する  
（担当教員：高木剛，宮本衛市，小西修，白勢政明）
- 2 地域医療におけるサービス・イノベーション・デザイン  
（担当教員：美馬義亮，姜南圭，南部美砂子，岩田州夫）
- 3 学内音響環境の改善のための音響設計  
（担当教員：三木信弘，高橋信行）
- 4 ケータイプロジェクト  
（担当教員：高橋修，三浦守，白石陽，新美礼彦）
- 5 The Long Now Challenge（担当教員：イアン・ブランク）
- 6 マイクロコンピュータを用いた自律型ロボットの開発  
（担当教員：大澤英一，加藤浩仁，和田雅昭）
- 7 函館ルミナート - S[es]（担当教員：迎山和司，木村健一）
- 8 はこだての人にもっとロボットに親しんでもらおうプロジェクト  
（担当教員：松原仁，柳英克）
- 9 小学生のためのエデュテインメントシステム製作プロジェクト  
（担当教員：戸田真志，山本敏雄）
- 10 Catching signals from Jupiter with software radio  
（担当教員：ウラジミール・リヤボフ，村重淳，櫻沢繁）
- 11 函館観光情報サイト“はこぶら”アップグレード  
（担当教員：奥野拓，鈴木昭二，寺沢秀雄）
- 12 数理学における学習支援コンテンツの開発  
（担当教員：高村博之，上野嘉夫，デーヴィット・ライト）
- 13 サイエンス・コミュニケーション手法のデザイナー—イベントと情報システム構築—  
（担当教員：木村健一，伊藤恵，美馬のゆり）
- 14 モノを動かすソフトウェア  
（担当教員：長崎健，佐藤仁樹，戸田真志）
- 15 小学校・中学校・高校で効果的に運用可能な e-learning システム  
（担当教員：沼田寛，アンドリュー・ジョンソン）
- 16 表現豊かな音楽表現—認知科学とコンピューター・サイエンスの融合—  
（担当教員：中田隆行，花田光彦，川口聡）
- 17 農水産生産者のための食のブランド情報発信支援システム  
（担当教員：三上貞芳，齊藤朝輝，木村健一）
- 18（函館開港 150 周年） デジタルアーカイブスへの眼—あらたな見かたの発見—  
（担当教員：川嶋稔夫，寺沢憲吾，木村健一，岡本誠，松山克胤）
- 19 知覚デザイン Perception Design —主観の可視化—  
（担当教員：岡本誠，小野哲雄，伊藤精英，ビトヨ・ハルトノ，佐藤直行）
- 20 ソラリス-R（自然よりリアルな 2D の自然，応える自然）  
（担当教員：齊藤郁夫，ホセ・ナチュエル）
- 21 言語グリッドを用いた函館観光案内サービス  
（担当教員：片桐恭弘，松原仁，藤田篤）
- 22（道南経済活性化の基礎調査）函館開港プロジェクト  
（担当教員：鈴木克也，川越敏司）

## (1) 入学志願者数・受験者数・合格者数・入学者数の推移

## ① 博士（前期）課程

| 年 度                | 入 試    |       |    | 定員  | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|--------------------|--------|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2003 (平成15)        | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | —   | —   | —   | —   |
|                    |        | 学外    | 4  |     | 4   | 3   | 2   |     |
|                    | 在学期間短縮 | 社会人   | 6  |     | 6   | 6   | 6   |     |
|                    |        | 計     | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        |       | 11 |     | 11  | 10  | 9   |     |
| 2004(平成16)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 49  | 48  | 43  | 42  |
|                    |        | 学外    | 1  |     |     |     |     |     |
|                    | 在学期間短縮 | 社会人   | 2  |     | 2   | 2   | 2   |     |
|                    |        | 計     | 52 |     | 50  | 45  | 44  |     |
|                    |        |       |    |     |     |     |     |     |
| 2005(平成17)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 37  | 36  | 33  | 31  |
|                    |        | 学外    | 3  |     |     |     |     |     |
|                    | 在学期間短縮 | 社会人   | 2  |     | 2   | 2   | 1   |     |
|                    |        | 計     | 42 |     | 38  | 35  | 32  |     |
|                    |        |       |    |     |     |     |     |     |
| 2006(平成18)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 24  | 20  | 17  | 14  |
|                    |        | 学外    | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    | 特別選抜   | 社会人   | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        | 学内    | 3  |     | 3   | 3   | 3   |     |
|                    | 在学期間短縮 | 学外    | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        | 計     | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        |       | 31 |     | 27  | 24  | 21  |     |
| 2007(平成19)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 29  | 29  | 27  | 26  |
|                    |        | 学外    | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    | 特別選抜   | 社会人   | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        | 学内    | 10 |     | 10  | 10  | 10  |     |
|                    | 在学期間短縮 | 学外    | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        | 計     | 2  |     | 2   | 2   | 2   |     |
|                    |        |       | 44 |     | 44  | 42  | 41  |     |
| 2008(平成20)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 43  | 43  | 43  | 42  |
|                    |        | 学外    |    |     |     |     |     |     |
|                    | 特別選抜   | 社会人   |    |     |     |     |     |     |
|                    |        | 学内    |    |     |     |     |     |     |
|                    | 在学期間短縮 | 学外    | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    |        | 44    | 44 | 44  | 43  |     |     |     |
| 2009(平成21)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 57  | 57  | 54  | 50  |
|                    |        | 学外    | 1  |     | 1   |     |     |     |
|                    | 特別選抜   | 社会人   |    |     |     |     |     |     |
|                    |        | 学内    | 1  |     | 1   | 1   | 1   |     |
|                    | 在学期間短縮 | 学外    |    |     |     |     |     |     |
|                    |        | 59    | 59 | 55  | 51  |     |     |     |
| 2009(平成21)<br>後期入学 | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 若干名 | 2   | 2   | 2   | 2   |
|                    |        | 学外    |    |     |     |     |     |     |
|                    | 特別選抜   | 社会人   |    |     |     |     |     |     |
|                    |        | 学内    |    |     |     |     |     |     |
|                    | 在学期間短縮 | 学外    |    |     |     |     |     |     |
|                    |        | 2     | 2  | 2   | 2   |     |     |     |
| 2010(平成22)         | 一般選抜   | 社会人以外 | 学内 | 50  | 62  | 60  | 53  | 45  |
|                    |        | 学外    |    |     |     |     |     |     |
|                    | 特別選抜   | 社会人   | 2  |     | 2   | 2   | 2   |     |
|                    |        | 学内    | 3  |     | 3   | 3   | 3   |     |
|                    | 在学期間短縮 | 学外    |    |     |     |     |     |     |
|                    |        | 67    | 65 | 58  | 50  |     |     |     |

## ② 博士（後期）課程

| 年 度        | 入 試 | 定員 | 志願者   | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|------------|-----|----|-------|-----|-----|-----|
| 2003(平成15) | 選考  | 10 | 社会人以外 |     |     |     |
|            |     |    | 社会人   | 7   | 7   | 6   |
|            |     |    | 計     | 7   | 7   | 6   |
| 2004(平成16) | 選考  | 10 | 社会人以外 |     |     |     |
|            |     |    | 社会人   | 3   | 3   | 2   |
|            |     |    | 計     | 3   | 3   | 2   |
| 2005(平成17) | 選考  | 10 | 社会人以外 | 1   | 1   | 1   |
|            |     |    | 社会人   | 5   | 5   | 5   |
|            |     |    | 計     | 6   | 6   | 6   |
| 2006(平成18) | 選考  | 10 | 社会人以外 | 8   | 7   | 7   |
|            |     |    | 社会人   | 8   | 8   | 8   |
|            |     |    | 計     | 16  | 15  | 15  |
| 2007(平成19) | 選考  | 10 | 社会人以外 | 6   | 6   | 5   |
|            |     |    | 社会人   | 2   | 2   | 2   |
|            |     |    | 計     | 8   | 8   | 7   |
| 2008(平成20) | 選考  | 10 | 社会人以外 | 1   | 1   | 1   |
|            |     |    | 社会人   | 4   | 4   | 4   |
|            |     |    | 計     | 5   | 5   | 5   |
| 2009(平成21) | 選考  | 10 | 社会人以外 | 1   | 1   | 1   |
|            |     |    | 社会人   | 2   | 2   | 2   |
|            |     |    | 計     | 3   | 3   | 3   |
| 2010(平成22) | 選考  | 10 | 社会人以外 | 1   | 1   | 1   |
|            |     |    | 社会人   |     |     |     |
|            |     |    | 計     | 1   | 1   | 1   |



## (2) 博士（前期）課程修了生の進路状況

| 年 度           | 修了者数<br>(3月修了) | 民間企業就職者     |      |        | 大学院進学者 |       | その他 |       |
|---------------|----------------|-------------|------|--------|--------|-------|-----|-------|
|               |                | 希望者数 (割合)   | 就職者数 | 就職率    | 人数     | 割合    | 人数  | 割合    |
| 2004 年度（1 期生） | 5              | 2 (40.0%)   | 2    | 100.0% |        |       | 3   | 60.0% |
| 2005 年度（2 期生） | 36             | 24 (66.7%)  | 24   | 100.0% | 8      | 22.2% | 4   | 11.1% |
| 2006 年度（3 期生） | 31             | 26 (83.9%)  | 26   | 100.0% | 5      | 16.1% |     |       |
| 2007 年度（4 期生） | 17             | 14 (82.4%)  | 14   | 100.0% | 1      | 5.9%  | 2   | 11.8% |
| 2008 年度（5 期生） | 33             | 31 (93.9%)  | 31   | 100.0% | 1      | 3.0%  | 1   | 3.0%  |
| 2009 年度（6 期生） | 41             | 36 (87.8%)  | 36   | 100.0% | 1      | 2.4%  | 4   | 9.8%  |
| 合 計           | 163            | 133 (81.6%) | 133  | 100.0% | 16     | 9.8%  | 14  | 8.6%  |

※ 1 割合は各々修了者数に対する割合

※ 2 大学院以外の進学者（専門学校・研究生等）および公務員希望者はその他に含む

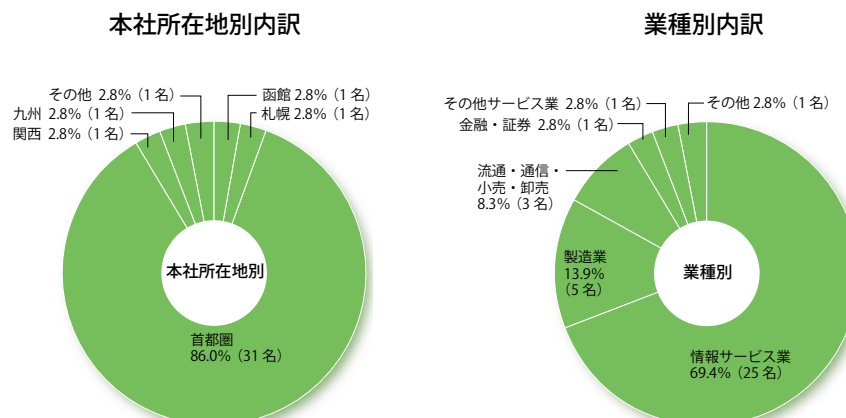
### ① 民間企業就職者の状況／本社所在地別内訳

| 期    | 総数  | 函館   | 札幌    | その他道内 | 東北   | 首都圏   | 中部 | 北陸 | 関西    | 中国   | 四国   | 九州   | その他  |
|------|-----|------|-------|-------|------|-------|----|----|-------|------|------|------|------|
| 1 期生 | 2   |      |       |       |      | 1     |    |    | 1     |      |      |      |      |
|      |     |      |       |       |      | 50.0% |    |    | 50.0% |      |      |      |      |
| 2 期生 | 24  | 1    | 3     |       | 1    | 17    |    |    | 2     |      |      |      |      |
|      |     | 4.2% | 12.5% |       | 4.2% | 70.8% |    |    | 8.3%  |      |      |      |      |
| 3 期生 | 26  |      | 6     | 1     | 1    | 16    |    |    | 2     |      |      |      |      |
|      |     |      | 23.1% | 3.8%  | 3.8% | 61.5% |    |    | 7.7%  |      |      |      |      |
| 4 期生 | 14  | 1    | 1     |       | 1    | 8     |    |    | 1     | 1    | 1    |      |      |
|      |     | 7.1% | 7.1%  |       | 7.1% | 57.1% |    |    | 7.1%  | 7.1% | 7.1% |      |      |
| 5 期生 | 31  | 2    | 2     |       |      | 24    |    |    | 1     |      |      | 2    |      |
|      |     | 6.5% | 6.5%  |       |      | 77.4% |    |    | 3.2%  |      |      | 6.5% |      |
| 6 期生 | 36  | 1    | 1     |       |      | 31    |    |    | 1     |      |      | 1    | 1    |
|      |     | 2.8% | 2.8%  |       |      | 86.0% |    |    | 2.8%  |      |      | 2.8% | 2.8% |
| 合計   | 133 | 5    | 13    | 1     | 3    | 97    |    |    | 8     | 1    | 1    | 3    | 1    |
|      |     | 3.8% | 9.8%  | 0.8%  | 2.3% | 72.9% |    |    | 6.0%  | 0.8% | 0.8% | 2.3% | 0.8% |

### ② 民間企業就職者の状況／業種別内訳

| 期    | 総数  | 情報<br>サービス業 | 製造業   | 流通・通信・<br>小売・卸売 | 出版・印刷 | マスコミ・<br>放送・広告 | 金融・証券 | その他<br>サービス業 | その他  |
|------|-----|-------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|--------------|------|
| 1 期生 | 2   | 2           |       |                 |       |                |       |              |      |
|      |     | 100.0%      |       |                 |       |                |       |              |      |
| 2 期生 | 24  | 14          | 9     | 1               |       |                |       |              |      |
|      |     | 58.3%       | 37.5% | 4.2%            |       |                |       |              |      |
| 3 期生 | 26  | 14          | 6     | 2               |       |                |       | 2            | 2    |
|      |     | 53.8%       | 23.1% | 7.7%            |       |                |       | 7.7%         | 7.7% |
| 4 期生 | 14  | 10          | 1     | 2               |       |                |       |              | 1    |
|      |     | 71.4%       | 7.1%  | 14.3%           |       |                |       |              | 7.1% |
| 5 期生 | 31  | 11          | 12    | 4               | 1     |                |       | 3            |      |
|      |     | 35.5%       | 38.7% | 12.9%           | 3.2%  |                |       | 9.7%         |      |
| 6 期生 | 36  | 25          | 5     | 3               |       |                | 1     | 1            | 1    |
|      |     | 69.4%       | 13.9% | 8.3%            |       |                | 2.8%  | 2.8%         | 2.8% |
| 合計   | 133 | 76          | 33    | 12              | 1     |                | 1     | 6            | 4    |
|      |     | 57.1%       | 24.8% | 9.0%            | 0.8%  |                | 0.8%  | 4.5%         | 3.0% |

### 2010 年 (平成 22 年) 3 月 博士 (前期) 課程修了生の 進路状況



### ③ 博士 (前期) 課程修了生の主な民間企業就職先一覧 (2007～2009 年度)

アルパイン, N E C ソフト, NTT アドバンステクノロジー, NTT データ, NTT ドコモ, KDDI, サイバーエージェント, JRA システムサービス, JR 東日本情報システム, シャープ, ジャストシステム, セガ, ゼンリン, ソネットエンタテインメント, 東芝, 東芝ソリューション, ドコモ・テクノロジー, 日鉄日立システムエンジニアリング, 日本ヒューレット・

パッカード, 野村総合研究所, パナソニック システムソリューションズ ジャパン, 日立ソリューションズ, 日立メディコ, 日立製作所, 富士通, 富士通デザイン, 本田技研工業, 三菱電機, 安川電機 ほか

### ④ 大学院への進学状況

公立はこだて未来大学大学院博士 (後期) 課程, 九州大学大学院博士 (後期) 課程

### (3) 博士 (後期) 課程修了者数

| 年 度          | 修了者数 |
|--------------|------|
| 2005 (平成 17) | 1    |
| 2006 (平成 18) | 1    |
| 2007 (平成 19) | 7    |
| 2008 (平成 20) | 2    |
| 2009 (平成 21) | 4    |
| 合計           | 15   |

## (1) 学術交流協定等

| 年 度                   | 締結日       | 提携先団体および締結内容                                 | 備 考                    |
|-----------------------|-----------|----------------------------------------------|------------------------|
| 2003 年度<br>(平成 15 年度) | 4 月 17 日  | 日本科学未来館と学術交流協定を締結                            |                        |
| 2004 年度<br>(平成 16 年度) | 10 月 1 日  | チューリッヒ・アート・デザイン大学（現チューリッヒ芸術大学，スイス）と交換留学協定を締結 | 2009 年 8 月 9 日<br>協定延長 |
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 6 月 30 日  | ダルハウジー大学（カナダ）と学術交流協定を締結                      |                        |
| 2006 年度<br>(平成 18 年度) | 6 月 2 日   | 電気通信大学と学術交流協定を締結                             |                        |
|                       | 9 月 14 日  | ユトレヒト大学（オランダ）と学術交流協定を締結                      |                        |
| 2007 年度<br>(平成 19 年度) | 5 月 29 日  | 北陸先端科学技術大学院大学と学術交流協定を締結                      |                        |
|                       | 11 月 8 日  | 国立雲林科技大学（台湾）と学術交流協定を締結                       |                        |
|                       | 12 月 11 日 | 国立交通大学（台湾）と学術交流協定を締結                         |                        |
|                       | 2 月 19 日  | 国立高雄大学（台湾）と学術交流協定を締結                         |                        |
| 2008 年度<br>(平成 20 年度) | 5 月 19 日  | 東西大学（韓国）と学術交流協定を締結                           |                        |
|                       | 8 月 1 日   | スラバヤ工科大学（インドネシア）と学術交流協定を締結                   |                        |
|                       | 9 月 12 日  | 札幌医科大学と連携協定を締結                               |                        |
|                       | 3 月 26 日  | グルノーブル理科大学（フランス）と学術交流協定を締結                   |                        |
| 2009 年度<br>(平成 21 年度) | 11 月 12 日 | 国立高雄大学（台湾）と交換留学協定を締結                         |                        |
|                       | 2 月 5 日   | 壇国大学（韓国）と学術交流協定を締結                           |                        |
|                       | 2 月 17 日  | 日本アイ・ピー・エム株式会社と連携と協力の推進に関する協定を締結             |                        |

## (2) 学術交流協定校との学生の派遣・受入の状況

| 年 度     | 学生の派遣                                     | 学生の受入                                   |
|---------|-------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 2002 年度 |                                           | チューリッヒ・アート・デザイン大学 学部生 1 名 (2002.7 ~ 10) |
| 2003 年度 |                                           | チューリッヒ・アート・デザイン大学 学部生 1 名 (2004.3 ~ 6)  |
| 2004 年度 | チューリッヒ・アート・デザイン大学 学部生 1 名<br>(2005.3 ~ 8) |                                         |
| 2006 年度 |                                           | チューリッヒ・アート・デザイン大学 学部生 1 名 (2006.4 ~ 9)  |
|         |                                           | ユトレヒト大学 大学院生 2 名 (2006.10 ~ 2007.3)     |
| 2007 年度 | 電気通信大学 大学院生 1 名 (2007.4 ~ 6)              | チューリッヒ・アート・デザイン大学 学部生 1 名 (2007.4 ~ 7)  |
|         | ダルハウジー大学 大学院生 1 名 (2007.12 ~ 2008.7)      |                                         |
| 2008 年度 | ダルハウジー大学 大学院生 1 名 (2009.2 ~ 5)            | 国立交通大学 大学院生 1 名 (2008.7 ~ 9)            |
|         | ダルハウジー大学 大学院生 1 名 (2009.2 ~ 12)           |                                         |
| 2009 年度 | グルノーブル理科大学 大学院生 1 名 (2009.9 ~ 11)         |                                         |
|         | チューリッヒ芸術大学 大学院生 1 名 (2010.2 ~ 7)          |                                         |
|         | チューリッヒ芸術大学 学部生 1 名 (2010.2 ~ 2011.1)      |                                         |

## 研究資金の獲得実績

(単位：千円)

| 区 分     | 共同研究 |         | 受託研究 |         | 研究費助成 |        | 科学研究費補助金 |         | 奨学寄附金 |        | 合 計 |           |
|---------|------|---------|------|---------|-------|--------|----------|---------|-------|--------|-----|-----------|
|         | 件数   | 金額      | 件数   | 金額      | 件数    | 金額     | 件数       | 金額      | 件数    | 金額     | 件数  | 金額        |
| 2000 年度 | 2    | 2,000   | 3    | 2,452   | 4     | 2,200  | 5        | 16,600  | 3     | 3,000  | 17  | 26,252    |
| 2001 年度 | 5    | 6,289   | 3    | 2,000   | 3     | 1,900  | 13       | 29,500  | 6     | 5,500  | 30  | 45,189    |
| 2002 年度 | 3    | 800     | 3    | 2,400   | 3     | 1,900  | 14       | 20,600  | 10    | 5,750  | 33  | 31,450    |
| 2003 年度 | 8    | 8,600   | 5    | 95,626  | 4     | 2,000  | 19       | 31,000  | 12    | 8,499  | 48  | 145,725   |
| 2004 年度 | 7    | 9,400   | 17   | 64,089  | 5     | 2,900  | 16       | 18,400  | 6     | 3,400  | 51  | 98,189    |
| 2005 年度 | 17   | 21,857  | 18   | 76,420  | 5     | 2,600  | 17       | 28,500  | 7     | 9,554  | 64  | 138,931   |
| 2006 年度 | 17   | 26,714  | 14   | 83,842  | 9     | 9,710  | 25       | 54,720  | 6     | 4,250  | 71  | 179,236   |
| 2007 年度 | 14   | 22,222  | 18   | 77,334  | 6     | 7,940  | 20       | 45,150  | 4     | 4,340  | 62  | 156,986   |
| 2008 年度 | 13   | 14,704  | 14   | 56,152  | 4     | 5,150  | 14       | 33,330  | 5     | 5,500  | 50  | 114,836   |
| 2009 年度 | 12   | 12,102  | 26   | 123,410 | 4     | 3,040  | 13       | 28,540  | 6     | 6,073  | 61  | 173,165   |
| 総合計     | 98   | 124,688 | 121  | 583,725 | 47    | 39,340 | 156      | 306,340 | 65    | 55,866 | 487 | 1,109,959 |

(単位：千円)

| 区 分     | 受託事業等 |        | 総合計 |           |
|---------|-------|--------|-----|-----------|
|         | 件数    | 金 額    | 件数  | 金 額       |
| 2000 年度 | —     | —      | 17  | 26,252    |
| 2001 年度 | —     | —      | 30  | 45,189    |
| 2002 年度 | —     | —      | 33  | 31,450    |
| 2003 年度 | —     | —      | 48  | 145,725   |
| 2004 年度 | —     | —      | 51  | 98,189    |
| 2005 年度 | —     | —      | 64  | 138,931   |
| 2006 年度 | —     | —      | 71  | 179,236   |
| 2007 年度 | —     | —      | 62  | 156,986   |
| 2008 年度 | 2     | 19,439 | 52  | 134,275   |
| 2009 年度 | 5     | 33,915 | 66  | 207,080   |
| 総合計     | 7     | 53,354 | 494 | 1,163,313 |

## 特別講演会開催実績

| 年 度                   | 開催日       | 講 演 テ ー マ                                                        | 講 師                                            | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|------|
| 2000 年度<br>(平成 12 年度) | 6 月 22 日  | 問われる研究者の役割 (大学のナレッジ・マネジメント)                                      | 佐々木信夫 (北海道大学先端科学技術<br>共同研究センター客員教授)            | 60   |
|                       | 7 月 28 日  | 社会の見方としての複雑系                                                     | 大澤真幸 (京都大学大学院人間・環境<br>学研究科助教授)                 | —    |
|                       | 10 月 6 日  | IT と国づくり—ある壮大で実験的に国づくりに参加して—                                     | 加 藤 斉 (KATO TECHNO & CREATIVE<br>株式会社取締役)      | —    |
|                       | 11 月 21 日 | JICA の仕事と 21 世紀を語る—ボランティア国際年に向けて—                                | 清水健二 (国際協力開発事業団国際協<br>力専門員)                    | —    |
| 2001 年度<br>(平成 13 年度) | 10 月 5 日  | 情報と人間—「情報」は生きているか?—                                              | 養老孟司 (北里大学大学院医療系研究<br>科教授)                     | 250  |
|                       | 10 月 12 日 | ヒューマノイドの研究と将来展望                                                  | 井上博允 (東京大学教授)                                  | 120  |
|                       | 10 月 19 日 | 大学評価について考える                                                      | 東 市郎 (函館工業高等専門学校長)                             | —    |
|                       | 2 月 1 日   | 21 世紀の大学教育—新しい教育文化・評価文化の形成に向<br>けて—                              | 大塚雄作 (大学評価・学位授与機構教授)                           | 80   |
|                       | 2 月 22 日  | 科学技術関連政策の動向と大学への期待                                               | 平澤 冷 (東京大学教授)                                  | 50   |
| 2002 年度<br>(平成 14 年度) | 6 月 27 日  | マレーシア・マルチメディア大学 (MMU) について                                       | 加 藤 斉 (KATO TECHNO & CREATIVE<br>株式会社取締役)      | 40   |
|                       | 7 月 12 日  | 脳と現実                                                             | 養老孟司 (北里大学大学院医療系研究<br>科教授)                     | 250  |
|                       | 7 月 24 日  | Making Art For a Changing World—絵画を描く人工知能の<br>実現・変革の時代における芸術の創造— | ハロルド・コーエン (カリフォルニア<br>大サンディエゴ校教授)              | 150  |
|                       | 11 月 22 日 | IT 社会の進展と地域経済の活性化                                                | 荒川弘熙 (㈱ NTT データ常務取締役ビジネス・<br>インキュベーションセンター本部長) | 42   |
|                       | 11 月 29 日 | 信号処理の新しい方法—カクテルパーティー効果や脳の信<br>号の分離をコンピュータで実現する—                  | 甘利俊一 (理化学研究所脳科学総合研<br>究センター領域ディレクター)           | 105  |
|                       | 12 月 16 日 | 需要創造の戦略とイノベーション                                                  | 大星公二 (株式会社エヌ・ティ・ティ・<br>ドコモ相談役)                 | 252  |
| 2003 年度<br>(平成 15 年度) | 4 月 28 日  | フラクタルが切り開く複雑さの科学                                                 | ブノワ・マンデルブロー (エール大名<br>誉教授)                     | 280  |
|                       | 6 月 6 日   | 脳と数学                                                             | 甘利俊一 (理化学研究所脳科学総合研<br>究センター領域ディレクター)           | 125  |
|                       | 6 月 13 日  | 公立大学法人化について                                                      | 森 正人 (愛知県立大学学長)                                | —    |
|                       | 6 月 27 日  | テクノロジー輪廻転生とチャレンジャー通信, AV 分野で自分<br>が見つけたもの—                       | 加 藤 斉 (KATO TECHNO & CREATIVE<br>株式会社取締役)      | 30   |
|                       | 7 月 25 日  | 日本と世間                                                            | 養老孟司 (北里大学大学院医療系研究<br>科教授)                     | 150  |
|                       | 10 月 3 日  | プログラムの証明                                                         | 和田英一 (㈱インターネットイニシア<br>ティブ技術研究所 所長)             | 75   |
|                       | 11 月 14 日 | 最近の IT 技術・ビジネスの話題                                                | 村上仁己 (KDDI 株式会社執行役員ネッ<br>トワーク事業本部長)            | 60   |
| 2004 年度<br>(平成 16 年度) | 7 月 9 日   | 音の“資源化”について                                                      | 加 藤 斉 (KATO TECHNO & CREATIVE<br>株式会社取締役)      | 70   |
|                       | 7 月 16 日  | プログラムの美学                                                         | 和田英一 (㈱インターネットイニシア<br>ティブ技術研究所 所長)             | 40   |
|                       | 9 月 29 日  | 未来の壁                                                             | 養老孟司 (北里大学大学院医療系研究<br>科教授)                     | 280  |
|                       | 10 月 22 日 | 最近の IT 技術・ビジネスの話題 (Ⅱ)—BB・ケータイから<br>どこでもドアへ, はほんとか!—              | 村上仁己 (KDDI 株式会社執行役員技<br>術開発本部長)                | 50   |
|                       | 12 月 3 日  | 21 世紀の脳科学—脳の数理の解明へ—                                              | 甘利俊一 (独立行政法人理化学研究所<br>脳科学総合研究センター長)            | 50   |
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 6 月 3 日   | カオス革命その 2—パラダイム・シフトについての個人的見解                                    | ラルフ・エイブラハム (カリフォルニ<br>ア大サンタクルーズ校名誉教授)          | 50   |



| 年 度                          | 開催日       | 講 演 テ ー マ                          | 講 師                                         | 参加者数 |
|------------------------------|-----------|------------------------------------|---------------------------------------------|------|
| <b>2006 年度</b><br>(平成 18 年度) | 7 月 28 日  | さらば、哀しみの青春—今、私たちにできること、しなければならぬこと— | 水谷 修 (元横浜市立横浜総合高校教諭, 教育家・児童福祉運動家)           | 700  |
|                              | 9 月 13 日  | 科学・技術・藝術の融合を目指して—宇宙を教育に活用する—       | 吉田 武 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙教育センター参事)          | 60   |
|                              | 10 月 27 日 | モバイル／ユビキタス時代のユーザーインタフェース           | 増井俊之 (Apple Inc.)                           | 160  |
|                              | 11 月 17 日 | 光データベースを用いた全光型超高速画像関連システムと顔認証への応用  | 小舘香椎子 (日本女子大学理学部数物科学科教授)                    | 30   |
| <b>2007 年度</b><br>(平成 19 年度) | 5 月 11 日  | 文理融合について                           | 元村有希子 (毎日新聞記者)                              | 70   |
|                              | 7 月 20 日  | 観光業は、ビジネスよりライフスタイルに近い…チャンス、好機の使い方  | ロス・フィンドレー (㈱ニセコアドベンチャー代表取締役)                | 50   |
|                              | 10 月 2 日  | 宇宙教育：21 世紀の全人教育—数学からのアプローチ—        | 吉田 武 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙教育センター参事)          | 50   |
|                              | 10 月 31 日 | モバイル／ユビキタス時代のユーザーインタフェース           | 増井俊之 (Apple Inc.)                           | 100  |
|                              | 11 月 2 日  | ユビキタス社会における情報セキュリティ—理系女性の育成を目指して—  | 小舘香椎子 (日本女子大学理学部数物科学科教授)                    | 20   |
|                              | 11 月 13 日 | インタラクションデザイン                       | 小川俊二 (有限会社カイデザイン取締役)                        | 70   |
| <b>2008 年度</b><br>(平成 20 年度) | 10 月 24 日 | 計算機と数学の懐かしい風景—基礎教育の原点“再帰”—         | 吉田 武 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構・宇宙教育センター参事)          | 34   |
|                              | 11 月 10 日 | モバイル／ユビキタス時代のユーザーインタフェース           | 増井俊之 (Apple Inc.)                           | 90   |
|                              | 11 月 11 日 | 経験をデザインする                          | 小川俊二 (有限会社カイデザイン取締役)                        | 100  |
| <b>2009 年度</b><br>(平成 21 年度) | 7 月 10 日  | 脳と創造性と「喜び」                         | 茂木健一郎 (ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー)          | 280  |
|                              | 9 月 8 日   | 函館から未来を創る                          | 新井 満 (作家・作詞作曲家 etc), 西尾正範 (函館市長), 中島秀之 (学長) | 170  |
|                              | 10 月 11 日 | 空からの眺め 未来へのまなざし 翼を広げて 100 年先を考える   | 瀬名秀明 (SF 作家)                                | 120  |
|                              | 10 月 13 日 | 情報社会における将棋の未来                      | 羽生善治 (将棋プロ棋士)                               | 200  |
|                              | 11 月 6 日  | 欧州 (バチカン) から日本を考える                 | 上野景文 (駐バチカン特命全権大使)                          | 40   |

## 公開講座開催実績

| 年 度        | 開催日       | テ ー マ                                       | 講 師                                     | 参加者数 |
|------------|-----------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|------|
| 2000 年度    | 11 月 19 日 | 多文化コミュニケーション講座（3 回連続講座）                     | 森重行敏（現代邦楽研究所主任講師）                       | 20   |
| (平成 12 年度) | 12 月 3 日  | 多文化コミュニケーション講座（3 回連続講座）                     | 寺田麗子（函館大学非常勤講師），高橋かつ子（函館日本語教育研究会）       | 20   |
|            | 12 月 10 日 | 多文化コミュニケーション講座（3 回連続講座）                     | 呉起東助手，北海道教育大学留学生 3 名                    | 20   |
| 2001 年度    | 7 月 1 日   | コミュニケーションウィーク オーシャンズー（～6 日）                 | ヒレル・ワイントラップ教授ほか 9 名                     | 201  |
| (平成 13 年度) | 7 月 7 日   | IT フォーラム「私たちの暮らしと IT」                       | 吉崎正弘（総務省情報通信政策局情報通信利用促進課長）ほか 4 名        | 90   |
|            | 9 月 28 日  | 複雑系科学講座「物理」（サテライトオフィス）                      | ウラジミール・リヤボフ助教授                          | 84   |
|            | 10 月 5 日  | 複雑系科学講座「数理」（サテライトオフィス）                      | 沼田 寛講師                                  |      |
|            | 10 月 12 日 | 複雑系科学講座「生命」（サテライトオフィス）                      | 櫻沢 繁講師                                  |      |
|            | 10 月 19 日 | 複雑系科学講座「経済」（サテライトオフィス）                      | 小野 瞭教授                                  |      |
| 2002 年度    | 8 月 12 日  | コミュニケーションウィーク（～16 日）                        | ヒレル・ワイントラップ教授ほか 8 名                     | 282  |
| (平成 14 年度) | 10 月 12 日 | 情報アーキテクチャ講座「恋するロボットを創る」                     | 小野哲雄助教授                                 | 50   |
|            | 10 月 18 日 | 複雑系科学講座「工学現象から複雑系科学へ」（序論）                   | 高橋信行教授                                  | 50   |
|            | 11 月 1 日  | 複雑系科学講座「工学現象から複雑系科学へ」（基礎）                   | 上田皖亮教授                                  | 50   |
|            | 11 月 8 日  | 複雑系科学講座「工学現象から複雑系科学へ」（応用）                   | 小西啓治助教授                                 | 50   |
| 2003 年度    | 4 月 25 日  | 起業家から学ぶ（第 1 回）                              | 鈴木克也教授                                  | 485  |
| (平成 15 年度) | 5 月 16 日  | 起業家から学ぶ（第 2 回）                              | 若山 直（株式会社五島軒社長）                         |      |
|            | 6 月 13 日  | 起業家から学ぶ（第 3 回）                              | 柳沢 勝（株式会社魚長食品社長）                        |      |
|            | 7 月 11 日  | 起業家から学ぶ（第 4 回）                              | 川村 乃（アネカムジャパン株式会社社長）                    |      |
|            | 8 月 8 日   | 起業家から学ぶ（第 5 回）                              | 高野元宏（株式会社道水社長）                          |      |
|            | 9 月 12 日  | 起業家から学ぶ（第 6 回）                              | 西崎康博（株式会社ツルハ社長）                         |      |
|            | 9 月 19 日  | 起業家から学ぶ（第 7 回）                              | 鈴木克也教授                                  |      |
|            | 7 月 26 日  | 紙芝居ワークショップ（第 1 回）                           | ロバート・セベリイ教授，堀田 穰（京都学園大学助教授），渡辺享子（紙芝居作家） | 40   |
|            | 10 月 3 日  | 紙芝居ワークショップ（第 2 回）                           | ロバート・セベリイ教授，佐々木淑子（人見保育園保育士）             |      |
|            | 10 月 11 日 | 情報アーキテクチャ講座「絵を描くことの秘密をさぐる」                  | 美馬義亮講師                                  | 35   |
|            | 10 月 24 日 | 複雑系科学講座「パターン形成の数理科学」（第 1 回）                 | 川口 聡講師                                  | 25   |
|            | 10 月 31 日 | 複雑系科学講座「カオス・フラクタルから複雑系へ」（第 2 回）             | 齊藤朝輝講師                                  |      |
| 2004 年度    | 10 月 2 日  | コミュニケーション講座「コミュニケーション・ワークショップ」              | ロバート・セベリイ教授，西橋 健（文弥人形遣い）                | 18   |
| (平成 16 年度) | 11 月 19 日 | コミュニケーション講座「コミュニケーション・ワークショップ講演会」           | チカupp美恵子（アイヌ文様刺繍家）                      | 50   |
|            | 11 月 26 日 | コミュニケーション講座「コミュニケーション・ワークショップ講演会」           | 大和田龍夫（NTT 出版株式会社法人営業本部長）                | 60   |
|            | 11 月 19 日 | 複雑系科学講座「単純なルールから生み出される複雑な形」                 | 元池育子助手                                  | 40   |
|            | 11 月 26 日 | 複雑系科学講座「心電図診断学についての講義」                      | 上田皖亮教授，大学院生                             |      |
|            | 12 月 9 日  | コミュニケーション講座「コミュニケーション・ワークショップ講演会」           | 竹中 健（シマフクロウ環境研究会代表）                     | 70   |
|            | 12 月 12 日 | 情報アーキテクチャ講座「参加者によるロボット制作」                   | 日本科学未来館職員 3 名                           | 20   |
| 2005 年度    | 6 月 7 日   | フューチャー・サイエンス講座「Science Alliance ー地域における大学ー」 | 中島秀之学長ほか 5 名                            | 90   |
| (平成 17 年度) |           |                                             |                                         |      |

| 年 度                   | 開催日       | テ ー マ                                                | 講 師                                                              | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 7 月 5 日   | フューチャー・サイエンス講座「Difference and Diversity — 相違点と多様性 —」 | 大和田龍夫 (NTT 出版株式会社情報デザイン企画室)                                      | 80   |
|                       | 10 月 9 日  | フューチャー・サイエンス講座「Co-Creative — 共に創り出す未来 —」             | 中島秀之学長ほか 5 名                                                     | 30   |
|                       | 10 月 24 日 | フューチャー・サイエンス講座「研究と教育の未来」                             | 広中平祐 (京都大学名誉教授),<br>長尾 真 (独立行政法人情報通信研究機構理事長, 京都大学元総長),<br>中島秀之学長 | 120  |
|                       | 1 月 24 日  | フューチャー・サイエンス講座「21 世紀デザインのテーマ」                        | 河野 豊 (人間環境大学非常勤講師)                                               | 90   |
|                       | 2 月 9 日   | フューチャー・サイエンス講座「科学とアートの未来」                            | 三木信弘教授ほか 4 名                                                     | 20   |
| 2006 年度<br>(平成 18 年度) | 5 月 18 日  | プロ棋士はどう考えているか                                        | 羽生善治 (将棋プロ棋士)                                                    | 220  |
|                       | 6 月 24 日  | I ～コミュニケーション・ワークショップ (～ 25 日)                        | マルコム・フィールド助教授                                                    | 17   |
|                       | 7 月 1 日   | II ～コミュニケーション・ワークショップ                                | マイケル・ヴァランス助教授                                                    | 16   |

## 学会・研究会等の開催実績

| 年 度                   | 開催日       | 学会・研究会等の名称                                                     | 担当教員等             | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|----------------------------------------------------------------|-------------------|------|
| 2000 年度<br>(平成 12 年度) | 5 月 19 日  | 文部省科学研究費特定領域研究 (B)「視覚情報メディア」研究会                                | 川嶋稔夫教授            | 15   |
|                       | 7 月 6 日   | ヒューマンインターフェースワークショップ (～ 7 日)                                   | 美馬義亮講師            | 80   |
|                       | 7 月 19 日  | マルチメディアシステム研究会                                                 | 美馬のゆり教授           | 20   |
|                       | 8 月 21 日  | 日本音響学会 騒音・振動研究委員会 (～ 22 日)                                     | 三木信弘教授            | 100  |
|                       | 10 月 20 日 | 北太平洋海洋科学機関 (パイセス) 第 9 回年次会合 (～ 28 日)                           | 函館市               | 520  |
|                       | 10 月 23 日 | 土木学会・建設コンサルタント委員会                                              | 宮西洋太郎教授           | 30   |
|                       | 10 月 27 日 | 文部省科学研究費特定領域研究 (B)「高信頼性情報通信システム」研究会                            | 鈴木恵二助教授           | 12   |
|                       | 11 月 16 日 | 情報処理学会プログラミング研究会 (～ 18 日)                                      | 大澤英一教授            | 30   |
|                       | 12 月 4 日  | 電子情報通信学会 思考と言語研究会                                              | 松原仁教授             | 50   |
|                       | 12 月 23 日 | クリスマス科学ワークショップ                                                 | 川嶋稔夫教授            | 150  |
|                       | 12 月 27 日 | 文部省科学研究費特定領域研究 (B)「視覚情報メディア」研究会                                | 川嶋稔夫教授            | 30   |
|                       | 1 月 9 日   | マルチエージェント経済における標準問題研究会                                         | 鈴木恵二助教授           | 15   |
|                       | 1 月 10 日  | 情報処理学会 知能と複雑系研究会・電子情報通信学会 人工知能と知識処理研究会 合同研究会 (～ 11 日)          | 松原仁教授             | 100  |
|                       | 3 月 8 日   | 第 134 回計算機アーキテクチャ研究会・第 85 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会合同研究会 (～ 9 日)  | 美馬義亮講師            | 250  |
| 2001 年度<br>(平成 13 年度) | 4 月 27 日  | 情報処理学会 北海道支部主催講演会                                              | 大澤英一教授            | 30   |
|                       | 6 月 7 日   | 情報処理学会 ゲーム情報学研究会                                               | 松原仁教授             | 40   |
|                       | 6 月 8 日   | 日本認知科学会 第 18 回大会 (～ 10 日)                                      | 松原仁教授             | 300  |
|                       | 6 月 11 日  | 日本認知科学会 学習と対話研究分科会                                             | 松原仁教授             | 100  |
|                       | 6 月 28 日  | 情報処理学会 OS 研究会 (～ 29 日)                                         | 松原仁教授             | 60   |
|                       | 7 月 16 日  | 情報処理学会 自然言語処理研究会 (～ 17 日)                                      | 大澤英一教授            | 100  |
|                       | 7 月 18 日  | 電子情報通信学会研究会 (～ 19 日)                                           | 川嶋稔夫教授            | 100  |
|                       | 7 月 26 日  | 電子情報通信学会 非線形問題研究会 (～ 27 日)                                     | 上田暁亮教授            | 50   |
|                       | 8 月 9 日   | 祝祭・国際モーツァルト in 北海道 2001                                        | 三木信弘教授            | 200  |
|                       | 8 月 24 日  | 自治体学会全国大会                                                      | 函館市               | 600  |
|                       | 8 月 29 日  | 日本実験経済学会                                                       | 川越敏司講師            | 40   |
|                       | 9 月 6 日   | 情報処理学会 ITS 研究会 モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会 (～ 7 日)                | 宮西洋太郎教授           | 60   |
|                       | 9 月 17 日  | 日本ソフトウェア科学会大会 (～ 20 日)                                         | 宮本衛市教授            | 220  |
|                       | 10 月 13 日 | 日本発達心理学学会 北海道地区シンポジウム                                          | 刑部育子講師            | 100  |
|                       | 10 月 27 日 | 日本デザイン学会秋季大会 (～ 28 日)                                          | 岩田州夫教授            | 500  |
|                       | 11 月 10 日 | ACM 国際大学対抗プログラミングコンテストアジア地区予選 (～ 11 日)                         | 宮本衛市教授、<br>美馬義亮講師 | 150  |
|                       | 11 月 12 日 | 人工知能学会 人工知能基礎論研究会 (～ 13 日)                                     | 松原仁教授             | 50   |
|                       | 11 月 15 日 | 電子情報通信学会 情報ネットワーク研究会 (～ 16 日)                                  | 高安美佐子助教授          | 50   |
|                       | 12 月 9 日  | クリスマス科学ワークショップ                                                 | 川嶋稔夫教授            | 120  |
| 2002 年度<br>(平成 14 年度) | 5 月 23 日  | 情報処理学会 グループウェアとネットワークサービス研究会 (～ 24 日)                          | 美馬義亮講師            | 50   |
|                       | 6 月 13 日  | 電子情報通信学会 ソフトウェアインタプライズモデル研究会                                   | 宮西洋太郎教授           | 50   |
|                       | 6 月 29 日  | “デジスタ@函館～BS デジタルスタジアム in 函館～”(NHK 公開録画), デジタル・ワークショップ (～ 30 日) | 柳英克助教授            | 150  |
|                       | 7 月 11 日  | 情報処理学会会 (～ 12 日)                                               | 宮本衛市教授            | 50   |
|                       | 8 月 22 日  | 電子情報通信学会 集積回路研究会 (～ 23 日)                                      | 秋田純一講師            | 80   |

## 12… 学会・研究会等の開催実績

| 年 度                   | 開催日       | 学会・研究会等の名称                                         | 担当教員等            | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|----------------------------------------------------|------------------|------|
| 2002 年度<br>(平成 14 年度) | 9 月 5 日   | 人工知能学会 人工知能基礎論研究会 (～ 6 日)                          | 小野哲雄助教授          | 50   |
|                       | 9 月 10 日  | 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 平成 14 年度秋季研究発表会 (～ 13 日)        | 鈴木恵二助教授          | 300  |
|                       | 9 月 17 日  | 情報処理学会 (～ 20 日)                                    | 前川禎男教授           | 100  |
|                       | 11 月 14 日 | 電子情報通信学会 モバイルマルチメディア通信研究会 (～ 15 日)                 | 川嶋稔夫教授           | 60   |
| 2003 年度<br>(平成 15 年度) | 5 月 15 日  | 電子情報通信学会 VLSI 設計技術研究会 他 (～ 16 日)                   | 秋田純一講師           | 70   |
|                       |           | 電子情報通信学会 テレコミュニケーションマネジメント研究会 (～ 16 日)             | 川嶋稔夫教授           | 50   |
|                       | 5 月 23 日  | ロボティクス・メカトロニクス講演会 '03 (～ 25 日)                     | 三上貞芳教授           | 900  |
|                       | 7 月 10 日  | 電子情報通信学会 研究会 (～ 11 日)                              | 佐藤仁樹助教授          | 70   |
|                       | 7 月 14 日  | 電子情報通信学会 非線形問題研究会 (～ 15 日)                         | 小西啓治助教授          | 50   |
|                       | 7 月 17 日  | 情報ネットワーク研究会 (～ 18 日)                               | 川嶋稔夫教授           | 40   |
|                       |           | 情報センシング研究会・メディア工学研究会 (～ 18 日)                      | 秋田純一講師           | 50   |
|                       | 8 月 21 日  | 電子情報通信学会 音声研究会 (～ 22 日)                            | 三木信弘教授           | 40   |
|                       | 12 月 6 日  | 第 13 回インテリジェントシステム・シンポジウム (～ 7 日)                  | 三上貞芳教授           | 200  |
|                       | 1 月 13 日  | ワークショップ「ダイナミックコミュニティによる知識共創に関する研究」(～ 14 日)         | 川嶋稔夫教授           | 7    |
| 2004 年度<br>(平成 16 年度) | 4 月 17 日  | ロボカップジュニア函館競技会                                     | 松原仁教授            | 31   |
|                       | 5 月 29 日  | 札幌 IT カロツツェリア ユーザビリティ研究プロジェクト                      | 八木大彦教授           | 14   |
|                       | 6 月 9 日   | シンポジウム「50 年後の函館を設計するー情報処理が描く 50 年後の世界像ー」           | 中島秀之学長<br>ほか 4 名 | —    |
|                       | 6 月 24 日  | 電気学会・電子回路研究会 (～ 25 日)                              | 三浦守教授            | 40   |
|                       | 7 月 13 日  | 経済・経営学研究会「スポーツマーケティングとは？」                          | 川越敏司講師           | 100  |
|                       | 7 月 15 日  | 電子情報通信学会・情報ネットワーク研究会 (～ 16 日)                      | 高橋修教授            | 50   |
|                       | 7 月 23 日  | 画像の認識・理解シンポジウム MIRU2004 (～ 25 日)                   | 川嶋稔夫教授           | 400  |
|                       | 8 月 2 日   | ペルーガ会議                                             | 戸田真志講師           | 40   |
|                       | 8 月 2 日   | 電子情報通信学会・ソフトウェアサイエンス研究会 (～ 3 日)                    | 宮本衛市教授           | 30   |
|                       | 8 月 19 日  | 未来開拓研究推進プロジェクト研究会 in 函館                            | 川嶋稔夫教授           | 25   |
|                       | 8 月 20 日  | 第 2 回エンタテインメントコンピューティングワークショップ(～ 22 日)             | 松原仁教授            | 100  |
|                       | 8 月 31 日  | 認知哲学研究会                                            | 積山薫教授            | 15   |
|                       | 9 月 13 日  | U-Mart サマースクール (～ 17 日)                            | 鈴木恵二教授           | 23   |
|                       | 9 月 25 日  | 平成 16 年度人間工学会北海道支部大会                               | 山本敏雄教授           | 40   |
|                       |           | 公立はこだて未来大学・慶応義塾大学合同ゼミ                              | 松原仁教授            | 60   |
|                       | 10 月 19 日 | QRIO 講演会                                           | 松原仁教授            | 100  |
|                       | 10 月 23 日 | 平成 16 年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会 (～ 24 日)                | 鈴木恵二教授           | 300  |
|                       | 10 月 28 日 | アート・コンピューティング・ワークショップ (～ 30 日)                     | 迎山和司講師           | 21   |
|                       | 10 月 30 日 | African Drum Workshop (～ 31 日)                     | ヒレル・ワイントラヴ教授     | 10   |
|                       | 11 月 13 日 | 日本音響学会聴覚研究会 11 月研究会                                | 積山薫教授            | 20   |
|                       | 11 月 28 日 | 地域デジタルアーカイブ推進フォーラム                                 | 小野哲雄教授           | 100  |
|                       | 12 月 2 日  | 科学研究費補助金基盤研究 (C)「多系間相互作用における設計原理の確立のための調査研究」に関する会議 | 小野哲雄教授           | 10   |
|                       | 1 月 17 日  | U-Mart 研究会「人工市場シンポジウム」(～ 19 日)                     | 川越敏司講師           | 30   |
|                       | 1 月 19 日  | はこだて観光情報学研究会                                       | 松原仁教授            | 30   |
|                       | 2 月 11 日  | NEDO プロトタイプロボット着せ替えロボットプロジェクト会合 (～ 13 日)           | 松原仁教授            | 20   |
|                       | 3 月 24 日  | はこだて観光情報学研究会                                       | 小野哲雄教授           | 15   |
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 4 月 19 日  | はこだて観光情報学研究会                                       | 松原仁教授            | 30   |
|                       | 7 月 23 日  | 日本化学会北海道支部 2005 年夏季研究発表会 (～ 24 日)                  | 櫻沢繁講師            | 300  |

| 年 度                   | 開催日       | 学会・研究会等の名称                                                                              | 担当教員等                | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------|
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 7 月 25 日  | 電子情報通信学会・非線形問題研究会                                                                       | 小西啓治助教授              | 50   |
|                       | 8 月 2 日   | ベルーガ会議                                                                                  | 和田雅昭講師               | 30   |
|                       | 8 月 5 日   | 理工系情報学科協議会総会                                                                            | 大澤英一教授               | 100  |
|                       | 8 月 6 日   | 公立はこだて未来大学学術講演会「経済学における新しい流れ」                                                           | 川越敏司講師               | 50   |
|                       | 9 月 1 日   | 電子情報通信学会・MVE 研究会, 日本 VR 学会・MR 研究会, 情報処理学会・サイバースペースと仮想都市研究会 共催 (～2 日)                    | 高橋修教授                | 70   |
|                       | 10 月 17 日 | 日本人間工学会・JIS 原案作成検討委員会 第 2 分科会 第 2 回委員会                                                  | 山本敏雄教授               | 8    |
|                       | 10 月 28 日 | 公開フォーラム「地域に根づくサイエンス・コミュニケーションの創出を」                                                      | 沼田寛講師                | 30   |
|                       | 11 月 2 日  | 研究会「量子情報空間上のダイナミクスとその周辺」(～4 日)                                                          | 上野嘉夫教授               | 30   |
|                       | 11 月 12 日 | Instant en suspens: クロノ・インタラクティブによる点と線(～13 日)                                           | 迎山和司講師               | 20   |
|                       | 11 月 19 日 | 自律飛行船舶制御技術研究会「AFO 05 in Hakodate」                                                       | 鈴木恵二教授               | 20   |
|                       |           | 2005 Japan-Austraria Workshop on Intelligent and Evolutionary Systems (～20 日)           | 鈴木恵二教授               | 50   |
|                       | 11 月 29 日 | 札幌 IT カロツツェリア ユーザビリティ研究開発プロジェクト                                                         | 八木大彦教授               | 9    |
|                       | 12 月 1 日  | 「50 年後の函館」を考えるシンポジウム                                                                    | 中島秀之学長ほか8名           | —    |
|                       | 12 月 17 日 | International Workshop on Artificial Computational Economics and Social Simulation 2005 | 川越敏司講師               | 20   |
|                       |           | シナリオエクステンジ ワークショップ(～19 日)                                                               | 岡本誠教授                | 35   |
|                       | 2 月 16 日  | 第 36 回モバイルコンピューティングとユビキタス通信, 第 10 回ユビキタスコンピューティング 合同研究会 (～17 日)                         | 戸田真志助教授              | 100  |
|                       | 2 月 18 日  | IT クラフトマンシップ「英語によるロボット教室」成果報告会                                                          | 松原仁教授                | 30   |
|                       | 3 月 25 日  | 函館英語教員研究会                                                                               | ピーター・ルースベン・スチュアート助教授 | 20   |
| 2006 年度<br>(平成 18 年度) | 4 月 22 日  | 函館英語教員研究会                                                                               | ピーター・ルースベン・スチュアート助教授 | 24   |
|                       | 4 月 25 日  | はこだて観光情報学研究会                                                                            | 松原仁教授                | 60   |
|                       | 5 月 8 日   | AAMAS2006 (自律エージェントとマルチエージェント国際合同会議)(～12 日)                                             | 大澤英一教授               | 600  |
|                       | 6 月 22 日  | 電子情報通信学会・情報ネットワーク (IN) 研究会 (～23 日)                                                      | 高橋修教授                | 50   |
|                       | 6 月 30 日  | 日本音響学会聴覚研究会                                                                             | 積山薫教授                | 30   |
|                       | 7 月 1 日   | 日本沿岸域学会                                                                                 | 長野章教授                | 200  |
|                       | 7 月 13 日  | 電子情報通信学会・コミュニケーションクオリティ(CQ)研究会 (～14 日)                                                  | 高橋修教授                | 50   |
|                       | 7 月 27 日  | 情報処理学会 NL 研 電子情報通信学会 NLC 研 (～28 日)                                                      | 大澤英一教授               | 50   |
|                       | 8 月 2 日   | ベルーガ会議                                                                                  | 和田雅昭講師               | 25   |
|                       | 8 月 22 日  | 情報通信学会 ナチュラルコンピューティング研究部会 (～24 日)                                                       | 元池育子助手               | 30   |
|                       | 8 月 30 日  | 電子情報通信学会・音声研究会 (～31 日)                                                                  | 三木信弘教授               | 20   |
|                       | 9 月 9 日   | 発達心理学研究会                                                                                | 南部美砂子講師              | 10   |
|                       | 9 月 14 日  | 情報処理学会・マルチメディア通信と分散処理研究会, グループウェアとネットワークサービス研究会, 電子化知的財産・社会基盤研究会 (～15 日)                | 高橋修教授                | 70   |
|                       | 9 月 28 日  | 情報処理学会・高度情報システム研究会 (～29 日)                                                              | 高橋修教授                | 50   |
|                       | 10 月 12 日 | 電子情報通信学会福祉情報工学会 (～13 日)                                                                 | 川嶋稔夫教授               | 50   |
|                       |           | 情報処理北海道シンポジウム 2006 (～13 日)                                                              | 伊藤恵講師                | 100  |
|                       | 10 月 14 日 | 福祉工学会                                                                                   | 伊藤精英助教授              | 10   |
|                       | 11 月 8 日  | 研究集会「常微分方程式の数値解法とその周辺」(～10 日)                                                           | 齊藤郁夫教授               | 20   |
|                       | 11 月 13 日 | 情報処理学会 システム評価研究会 (EVA 研究会)                                                              | 小野哲雄教授               | 40   |



## 12… 学会・研究会等の開催実績

| 年 度                   | 開催日       | 学会・研究会等の名称                                                | 担当教員等                | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|-----------------------------------------------------------|----------------------|------|
| 2006 年度<br>(平成 18 年度) | 11 月 22 日 | CRX プロジェクト (キャノン株式会社, 株式会社リコー, 富士ゼロックス株式会社, セイコーエプソン株式会社) | 寺沢秀雄教授               | 10   |
|                       | 1 月 27 日  | 函館英語教員研究会                                                 | ピーター・ルースベン・スチュアート助教  | 20   |
|                       | 2 月 4 日   | 楽しい科学講座                                                   | 上野嘉夫教授               | 20   |
| 2007 年度<br>(平成 19 年度) | 6 月 11 日  | 第 2 回北海道大学情報科学研究科一公立はこだて未来大学研究交流会                         | 川嶋稔夫教授               | 20   |
|                       | 6 月 21 日  | 電子情報通信学会・情報ネットワーク (IN) 研究会 (～ 22 日)                       | 高橋修教授                | 50   |
|                       | 7 月 23 日  | 開発と障害研究会                                                  | 川越敏司准教授              | 20   |
|                       | 7 月 24 日  | 観光情報学研究プロジェクト会議                                           | 松原仁教授                | 11   |
|                       | 7 月 26 日  | 情報処理学会デジタルドキュメント研究会 (～ 27 日)                              | 鈴木恵二教授               | 80   |
|                       | 8 月 2 日   | ベルーガ会議                                                    | 和田雅昭准教授              | 25   |
|                       | 8 月 3 日   | 情報セキュリティ日韓合同ワークショップ (～ 4 日)                               | 高木剛准教授               | 50   |
|                       | 8 月 13 日  | 平成 19 年度国立情報学研究所共同研究                                      | 森山徹助教                | 6    |
|                       | 9 月 13 日  | 第 10 回バイオ情報学研究会 (～ 14 日)                                  | ホセ・ナチュル講師            | 40   |
|                       | 10 月 26 日 | アジャイルマインド勉強会 (～ 27 日)                                     | 伊藤恵講師                | 30   |
|                       | 1 月 15 日  | 開発と障害研究会                                                  | 川越敏司准教授              | 60   |
|                       | 2 月 5 日   | KKR セミナー                                                  | ホセ・ナチュル講師            | 30   |
| 2008 年度<br>(平成 20 年度) | 4 月 10 日  | 北海道障害学研究会                                                 | 川越敏司准教授              | 40   |
|                       | 5 月 15 日  | 北海道障害学研究会                                                 | 川越敏司准教授              | 50   |
|                       |           | 電子情報通信学会・ネットワークシステム研究会 (～ 16 日)                           | 高橋修教授                | 50   |
|                       | 6 月 4 日   | 北海道障害学研究会                                                 | 川越敏司准教授              | 60   |
|                       | 7 月 2 日   | 北海道障害学研究会                                                 | 川越敏司准教授              | 60   |
|                       | 7 月 17 日  | 情報処理学会 NL 研 電子情報通信学会 NLC 研 (～ 18 日)                       | 片桐恭弘教授               | 80   |
|                       | 7 月 19 日  | 人工知能学会 SLUD 研                                             | 片桐恭弘教授               | 80   |
|                       | 8 月 2 日   | ベルーガ会議                                                    | 和田雅昭准教授              | 20   |
|                       | 8 月 7 日   | 触覚インタラクション & アクセシビリティおよび一般 (～ 8 日)                        | 山本敏雄教授               | 50   |
|                       | 8 月 19 日  | 平成 20 年度電気学会電子・情報・システム部会 (～ 22 日)                         | 三上貞芳教授               | 500  |
|                       | 8 月 29 日  | 北海道障害学研究会 (～ 30 日)                                        | 川越敏司准教授              | 100  |
|                       | 10 月 25 日 | 日本地域学会第 45 回年次大会 (～ 26 日)                                 | 長野章教授                | 350  |
|                       | 1 月 29 日  | 情報処理学会 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 (～ 30 日)                  | 高橋修教授                | 40   |
|                       | 2 月 15 日  | Moodlemoot Hakodate 2009 (～ 16 日)                         | ピーター・ルースベン・スチュアート准教授 | 40   |
|                       | 3 月 9 日   | 電子情報通信学会・情報理論, 情報セキュリティ, WBS 合同研究会                        | 佐藤仁樹教授               | 120  |
|                       | 3 月 20 日  | 情報処理学会 知能と複雑系研究会 (～ 21 日)                                 | 大澤英一教授               | 15   |
| 2009 年度<br>(平成 21 年度) | 5 月 22 日  | 日韓合同ワークショップ (～ 23 日)                                      | 松原仁教授                | 50   |
|                       | 8 月 3 日   | HI-FUN SUMMER DESIGN WORKSHOP                             | 姜南圭講師                | 30   |
|                       | 8 月 5 日   | HI-FUN SUMMER DESIGN WORKSHOP (～ 8 日)                     | 姜南圭講師                | 27   |
|                       | 8 月 5 日   | はこだて未来大 - 京都大 フィールド情報学セミナー                                | 松原仁教授                | 40   |
|                       | 8 月 10 日  | RIMS 共同研究集会 (～ 12 日)                                      | 由良文孝准教授              | 100  |
|                       | 9 月 19 日  | 日本デザイン学会第一支部大会                                            | 岡本誠教授                | 70   |
|                       | 9 月 29 日  | はこだて観光情報学研究会                                              | 松原仁教授                | 13   |
|                       | 11 月 21 日 | 科学研究費補助金基盤研究 (S)「非線形現象解明に向けた計算機援用解析学の構築」に関する会議 (～ 23 日)   | 村重淳教授                | 20   |
|                       | 2 月 13 日  | ムードル・ムート函館 2010 (～ 14 日)                                  | ピーター・ルースベン・スチュアート准教授 | 40   |
|                       | 3 月 15 日  | 第 25 回生命の起源および進化学会                                        | 櫻沢繁准教授               | 45   |
|                       | 3 月 17 日  | 空間情報科学に関する研究ワークショップ                                       | 白石陽助教                | 6    |

## (1) 財団法人北海道学術振興財団主催

| 年 度                   | 開催日       | 講演会等の内容                                       | 講 師                                  | 参加者数 |
|-----------------------|-----------|-----------------------------------------------|--------------------------------------|------|
| 2000 年度<br>(平成 12 年度) | 6 月 25 日  | 講演「ロボカップがめざすもの」                               | 北野宏明（ソニーコンピュータサイエンス研究所<br>シニアリサーチャー） | 332  |
|                       |           | 講演「ロボカップ実機リーグの現状と今後の課題」                       | 浅田稔（大阪大学大学院工学研究科教授）                  |      |
|                       |           | 講演「ロボカップにおけるチーム戦術の変遷」                         | 野田五十樹（電子技術総合研究所情報科学部主任研究官）           |      |
|                       |           | 講演「ロボカップレスキュー」～緊急災害対応課題へのロボティクスと人工知能の挑戦～      | 田所諭（神戸大学工学部情報知能工学科助教授）               |      |
|                       |           | 講演「ロボカップから教育への展開」                             | 美馬のゆり教授                              |      |
|                       |           | 講演「カオス現象とは？」～非線形の確定系に生じる不規則現象～                | 上田皖亮教授                               |      |
|                       |           | 講演「インタラクティブなメディアを用いた表現」                       | 藤幡正樹（東京芸術大学美術学部先端芸術表現科教授・慶應義塾大学客員教授） |      |
|                       | 10 月 8 日  | 講習「小学生のためのパソコン教室」                             | 田中完爾助手                               | 90   |
| 2001 年度<br>(平成 13 年度) | 6 月 10 日  | 講習「小・中学生のためのパソコン入門教室」                         | 吉川英一助手, 田中完爾助手                       | 60   |
|                       | 10 月 20 日 | 講演「科学と物語の新しい関係」                               | 瀬名秀明（作家・日本医科大学講師）                    | 120  |
| 2002 年度<br>(平成 14 年度) | 6 月 29 日  | 講習「小・中学生のためのパソコン入門教室」                         | 戸田真志講師, 田中完爾助手                       | 60   |
|                       | 10 月 13 日 | 講演「本物をどう伝達するかー結晶成長の可視化をめぐるー」                  | 平松和彦（北海道旭川西高等学校教諭）                   | 46   |
| 2003 年度<br>(平成 15 年度) | 8 月 9 日   | 講習「小・中学生のためのパソコン入門教室」                         | 戸田真志講師                               | 43   |
|                       | 10 月 12 日 | 講演「鉄腕アトム・ドラえもん・ガンダムはどこまで実現できたか？ー 21 世紀のロボットー」 | 松原仁教授                                | 39   |
| 2004 年度<br>(平成 16 年度) | 10 月 9 日  | 講習「パソコンプログラミング入門教室」                           | 戸田真志講師                               | 23   |
|                       | 10 月 10 日 | 講演「実験を通じた科学の世界～ミクロの視点とマクロの発想～」                | 渡辺儀輝（北海道函館東高等学校教諭）                   | 80   |
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 10 月 8 日  | 講習「パソコンプログラミング入門教室」                           | 戸田真志助教授                              | 16   |
|                       | 10 月 9 日  | 講演「相方はロボット～ロボットの普及に今必要なもの～」                   | ぜんじろう（吉本興業(株)所属タレント）                 | 160  |
| 2006 年度<br>(平成 18 年度) | 10 月 7 日  | 講演「携帯電話で道案内？～なんでケータイで地図がわかるの？～」               | 土井美和子（㈱東芝研究開発センター技監）                 | 66   |
|                       | 10 月 21 日 | 講習「パソコンプログラミング入門教室」                           | 戸田真志助教授                              | 16   |
| 2007 年度<br>(平成 19 年度) | 8 月 9 日   | 講習「パソコンプログラミング入門教室」                           | 戸田真志准教授                              | 16   |
|                       | 10 月 22 日 | 講演「脳の活動とクオリア～脳はいかにしてクオリアを生み出すのか？～」            | 茂木健一郎（ソニーコンピュータサイエンス研究所）             | 316  |
| 2008 年度<br>(平成 20 年度) | 11 月 20 日 | 講演「渋滞のサイエンス」                                  | 西成活裕（東京大学大学院工学系研究科准教授）               | 100  |

## (2) その他の団体主催

| 年 度                   | 開催日       | 講演会等の内容                                           | 主催者等                         | 参加者数   |
|-----------------------|-----------|---------------------------------------------------|------------------------------|--------|
| 2000 年度<br>(平成 12 年度) | 6 月 23 日  | ロボカップジャパンオープン 2000<br>(～ 25 日)                    | ロボカップ日本委員会など                 | 2,120  |
|                       | 8 月 14 日  | 「翔け 21 世紀へジュニア夢づくり隊」事業<br>(函館市内外の小学年生が科学実験や講義の体験) | 函館青年会議所                      | 260    |
|                       | 8 月 25 日  | はこだて・みらい・産業展 (～ 27 日)                             | 函館商工会議所                      | 18,434 |
|                       | 12 月 8 日  | 自然エネルギーフォーラム「21 世紀の風」                             | 環境学習グループ「ウインド・キャッチャーズ」       | 70     |
| 2001 年度<br>(平成 13 年度) | 6 月 2 日   | IT は世代を超えるフォーラム                                   | 日本青年会議所                      | 200    |
|                       | 7 月 20 日  | みんなの森づくりフォーラム                                     | みんなの森づくりフォーラム実行委員会           | 300    |
|                       | 7 月 27 日  | 「ジュニア函館体験隊」事業 (函館市内の小学生が模擬講義を体験)                  | 函館青年会議所                      | 60     |
|                       | 9 月 22 日  | 第 5 回三都市 (函館・旭川・帯広) デザイン交流会議                      | 函館デザイン協議会                    | 60     |
|                       | 2 月 16 日  | 道南地域の大学未来フォーラム                                    | 北海道高等教育機関整備促進期成会             | 300    |
| 2002 年度<br>(平成 14 年度) | 9 月 8 日   | 市民憲章運動普及啓発「たこあげ大会」                                | 函館市民憲章推進協議会                  | 200    |
|                       | 11 月 6 日  | 第 1 回はこだて未来青少年書道展 (～ 9 日)                         | 函館教育書道連盟                     | —      |
| 2003 年度<br>(平成 15 年度) | 6 月 29 日  | はこだて新発見野外ライブ                                      | はこだて新発見野外ライブ実行委員会            | 2,000  |
|                       | 9 月 24 日  | 第 2 回はこだて未来青少年書道展 (～ 27 日)                        | 函館教育書道連盟                     | —      |
| 2004 年度<br>(平成 16 年度) | 8 月 11 日  | 第 25 回数理の翼夏季セミナー特別講義「宇宙の誕生, 宇宙の未来」                | NPO 法人数理の翼                   | 100    |
|                       | 9 月 20 日  | 空の日フェスティバル                                        | 函館・青少年の夢と未来を育む会              | 300    |
| 2005 年度<br>(平成 17 年度) | 11 月 12 日 | ロボット実習授業<br>(全 5 回 11/19, 26, 12/10, 17)          | NPO 法人北海道 SOHO・マイクロビジネス推進協議会 | 150    |
|                       | 2 月 18 日  | 講演会「『未来』を拓く先端情報科学とマリンサイエンスの展開」                    | 日本学術会議北海道地区会議                | 90     |
| 2006 年度<br>(平成 18 年度) | 8 月 25 日  | 文化交流講演会「アメリカでの新たなインターネットブームー Web2.0 とその影響」        | 在札幌米国総領事館・札幌アメリカンセンター        | 50     |
|                       | 12 月 17 日 | セキュリティキャンプ・キャラバンー函館ー                              | 経済産業省・財団法人日本情報処理開発協会         | 30     |
|                       | 3 月 10 日  | インターネット安全教室                                       | 経済産業省・NPO 法人日本ネットワークセキュリティ協会 | 70     |
| 2007 年度<br>(平成 19 年度) | 9 月 17 日  | 空の日フェスティバル                                        | 函館・青少年の夢と未来を育む会              | 150    |
|                       | 11 月 17 日 | 函館市教育フォーラム                                        | 函館市教育委員会                     | 180    |
| 2008 年度<br>(平成 20 年度) | 5 月 24 日  | JAL 地球環境講座                                        | 日本航空                         | 130    |
|                       | 9 月 9 日   | 平成 20 年度函館・渡島地区教育経営研究会                            | 函館市小学校校長会                    | 170    |
|                       | 11 月 15 日 | 科学と市民社会をつなぐ人材育成講座 (～ 16 日)                        | 北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット      | 20     |
| 2009 年度<br>(平成 21 年度) | 11 月 7 日  | 講演会「北海道から地球の未来を考える」                               | 日本学術会議北海道地区会議                | 37     |